docomo NEXT series

GALAXY S III α

SC-03E
取扱説明書

はじめに

「SC-03E」をお買い上げいただきまして誠にありがとうございます。

ご使用の前やご利用中に、この取扱説明書をお読みいただき、正しくお使いください。

取扱説明書について

■「クイックスタートガイド」（本体付属品）

画面の表示内容や基本的な機能の操作について説明しています。

■「取扱説明書」（本端末のアプリケーション）

機能の詳しい案内や操作について説明しています。

- ホーム画面で ⊞ →「取扱説明書」をタップします。項目によっては、記載内容をタップして、説明ページよりダイレクトに内容の参照や機能の起動を行うことができます。
- 初めてご利用される際には、画面の指示に従って本アプリケーションのダウンロードとインストールをする必要があります。
- 「取扱説明書」アプリを削除した場合、再度インストールするには、ホーム画面で ⊞ →「Samsung Apps」→ 👤 →「ダウンロード」から本端末の「取扱説明書」アプリをダウンロードしてください。

■「取扱説明書」（PDF ファイル）

機能の詳しい案内や操作について説明しています。

- ドコモのホームページでダウンロード
  http://www.nttdocomo.co.jp/support/trouble/manual/download/index.html

※「クイックスタートガイド」の最新情報もダウンロードできます。なお、URLおよび掲載内容については、将来予告なしに変更することがあります。

操作手順の表記について

本書では、メニュー操作など連続する操作手順を省略して以下のように記載しています。

- タップとは、本端末のディスプレイを指で軽く触れて行う操作です（P.72）。

（例）ディスプレイのホーム画面から、（アプリアイコン）、（Googleアイコン）を続けてタップする場合は、以下のように記載しています。

1 ホーム画面で → 「Google」

- 本書の操作手順や画面は、主にお買い上げ時の状態に従って記載しています。本端末は、お客様が利用するサービスやインストールするアプリケーションによって、メニューの操作手順や画面の表示内容などが変わる場合があります。
- 本書はホームアプリが「docomo Palette UI」の場合で説明しています。ホームアプリは、ホーム画面で「ホーム切替」をタップして切り替えられます。
- 本書に記載している画面およびイラストはイメージです。実際の製品とは異なる場合があります。
- 本書では、複数の操作方法が可能な機能や設定は、主に操作手順がわかりやすい方法について説明しています。
- 本書では、「SC-03E」を「本端末」と表記させていただいております。あらかじめご了承ください。
- 本書の内容の一部または全部を無断転載することは禁止されています。
- 本書の内容に関して、将来予告なしに変更することがあります。

本体付属品／試供品および主なオプション品

■ 本体付属品

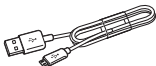
SC-03E
（保証書含む）

リアカバー SC09

クイックスタートガイド

電池パック SC07

USB接続ケーブル SC02

■ 試供品

microSDカード（2GB）

マイク付ステレオヘッドセット

■ 主なオプション品

HDMI変換ケーブルSC03（取扱説明書付き）

その他のオプション品について → P.418

目次

はじめに

付録／索引

本端末のご利用について

- 本端末は、LTE・W-CDMA・GSM ／ GPRS・無線LAN方式に対応しています。
- 本端末は無線を利用しているため、トンネル・地下・建物の中などで電波の届かない所、屋外でも電波の弱い所、XiサービスエリアおよびFOMAサービスエリア外ではご使用になれません。また、高層ビル・マンションなどの高層階で見晴らしのよい場所であってもご使用になれない場合があります。なお、電波が強くアンテナマークが4本たっている状態で、移動せずに使用している場合でも通話が切れる場合がありますので、ご了承ください。
- 本端末は電波を利用している関係上、第三者により通話を傍受されるケースもないとはいえません。しかし、LTE・W-CDMA・GSM ／ GPRS方式では秘話機能をすべての通話について自動的にサポートしますので、第三者が受信機で傍受したとしても、ただの雑音としか聞きとれません。
- 本端末は、音声をデジタル信号に変換して無線による通信を行っていることから、電波状態の悪い所へ移動するなど送信されてきたデジタル信号を正確に復元することができない場合には、実際の音声と異なって聞こえる場合があります。
- 本端末は、Xiエリア、FOMAプラスエリアおよびFOMAハイスピードエリアに対応しております。
- お客様ご自身で本端末に登録された情報内容は、別にメモを取るなどして保管してくださるようお願いします。本端末の故障や修理、機種変更やその他の取り扱いなどによって、万が一、登録された情報内容が消失してしまうことがあっても、当社としては責任を負いかねますのであらかじめご了承ください。
- 大切なデータはmicroSDカードに保存することをおすすめします。

- 本端末はパソコンなどと同様に、お客様がインストールを行うアプリケーションなどによっては、動作が不安定になったり、お客様の位置情報や本端末に登録された個人情報などがインターネットを経由して外部に発信され、不正に利用されたりする可能性があります。このため、ご利用になるアプリケーションなどの提供元および動作状況について十分にご確認の上、ご利用ください。
- 本端末では、ドコモminiUIMカードのみご利用できます。ドコモUIMカード、FOMAカードをお持ちの場合には、ドコモショップ窓口にてお取り替えください。
- 本端末は、iモードのサイト（番組）への接続やiアプリなどには対応しておりません。
- 本端末は、データの同期や最新のソフトウェアバージョンをチェックするための通信、サーバーとの接続を維持するための通信など一部自動的に通信を行う仕様となっています。また、アプリケーションのダウンロードや動画の視聴などデータ量の大きい通信を行うと、パケット通信料が高額になりますので、パケット定額サービスのご利用を強くおすすめします。
- お客様がご利用のアプリケーションやサービスによっては、Wi-Fi通信中であってもパケット通信料が発生する場合があります。
- 公共モード（ドライブモード）には対応しておりません。
- 本端末では、マナーモード中（サイレント、バイブ）でも、着信音や各種通知音を除く音（動画再生、音楽の再生、シャッター音など）は消音されません。
- お客様の電話番号（自局電話番号）は以下の手順で確認できます。
  ホーム画面で [メニュー] →「本体設定」→「端末情報」→「ステータス」をタップします。
- 本端末のソフトウエアを最新の状態にすることができます（P.446）。
- 本端末は、オペレーティングシステム（OS）のバージョンアップにより機能が追加されたり、操作方法が変更になったりすることがあります。機能の追加や操作方法の変更などに関する最新情報は、ドコモのホームページでご確認ください。

- OSをバージョンアップすると、古いバージョンのOSで使用していたアプリケーションが使えなくなる場合や意図しない不具合が発生する場合があります。
- Googleアプリケーションおよびサービス内容は、将来予告なく変更される場合があります。
- Googleが提供するサービスについては、Google Inc.の利用規約をお読みください。また、そのほかのウェブサービスについては、それぞれの利用規約をお読みください。
- 紛失に備え、画面ロックを設定し端末のセキュリティを確保してください。
- 万が一紛失した場合は、Googleトーク、Gmail、Google PlayなどのGoogleサービスやFacebookなどを他の人に利用されないように、パソコンより各種サービスアカウントのパスワードを変更してください。
- spモード、mopera UおよびビジネスmoperaインターネットI以外のプロバイダはサポートしておりません。
- テザリングのご利用には、spモードのご契約が必要となります。
- ご利用の料金プランにより、テザリング利用時のパケット通信料が異なります。パケット定額サービスのご利用を強くおすすめします。
- ご利用時の料金など詳細については、http://www.nttdocomo.co.jp/をご覧ください。

安全上のご注意（必ずお守りください）

■ ご使用の前に、この「安全上のご注意」をよくお読みの上、正しくお使いください。また、お読みになった後は大切に保管してください。

■ ここに示した注意事項は、お使いになる人や、他の人への危害、財産への損害を未然に防ぐための内容を記載していますので、必ずお守りください。

■ 次の表示の区分は、表示内容を守らず、誤った使用をした場合に生じる危害や損害の程度を説明しています。

⚠ 危険	この表示は、取り扱いを誤った場合、「死亡または重傷を負う危険が切迫して生じることが想定される」内容です。
⚠ 警告	この表示は、取り扱いを誤った場合、「死亡または重傷を負う可能性が想定される」内容です。
⚠ 注意	この表示は、取り扱いを誤った場合、「軽傷を負う可能性が想定される場合および物的損害の発生が想定される」内容です。

■ 次の絵の表示の区分は、お守りいただく内容を説明しています。

	禁止（してはいけないこと）を示します。
	分解してはいけないことを示す記号です。
	水がかかる場所で使用したり、水に濡らしたりしてはいけないことを示す記号です。
	濡れた手で扱ってはいけないことを示す記号です。
	指示に基づく行為の強制（必ず実行していただくこと）を示します。
	電源プラグをコンセントから抜いていただくことを示す記号です。

■「安全上のご注意」は、下記の項目に分けて説明しています。

1.本端末、電池パック、アダプタ、USB接続ケーブル、ドコモminiUIMカードの取り扱いについて（共通）

⚠ 危険

禁止

高温になる場所（火のそば、暖房器具のそば、こたつの中、直射日光の当たる場所、炎天下の車内など）で使用、保管、放置しないでください。
火災、やけど、けがの原因となります。

禁止

電子レンジなどの加熱調理機器や高圧容器に入れないでください。
火災、やけど、けが、感電の原因となります。

分解禁止

分解、改造をしないでください。
火災、やけど、けが、感電の原因となります。

水濡れ禁止

水や飲料水、ペットの尿などで濡らさないでください。
火災、やけど、けが、感電の原因となります。

指示

本端末に使用する電池パックおよびアダプタは、NTTドコモが指定したものを使用してください。
火災、やけど、けが、感電の原因となります。

⚠ 警告

禁止

強い力や衝撃を与えたり、投げ付けたりしないでください。

火災、やけど、けが、感電の原因となります。

禁止

外部接続端子やヘッドホン接続端子に導電性異物（金属片、鉛筆の芯など）を接触させないでください。また、内部に入れないでください。

火災、やけど、けが、感電の原因となります。

禁止

使用中や充電中に、布団などで覆ったり、包んだりしないでください。

火災、やけどの原因となります。

指示

ガソリンスタンドなど引火性ガスが発生する場所に立ち入る場合は必ず事前に本端末の電源を切り、充電をしている場合は中止してください。

ガスに引火する恐れがあります。
ガソリンスタンド構内などでおサイフケータイをご使用になる際は必ず事前に電源を切った状態で使用してください。（おサイフケータイ ロックを設定されている場合にはロックを解除した上で電源をお切りください。）

指示

使用中、充電中、保管時に、異臭、発熱、変色、変形など、いままでと異なるときは、直ちに次の作業を行ってください。

- **電源プラグをコンセントやシガーライターソケットから抜く。**
- **本端末の電源を切る。**
- **電池パックを本端末から取り外す。**

火災、やけど、けが、感電の原因となります。

⚠ 注意

禁止

ぐらついた台の上や傾いた場所など、不安定な場所には置かないでください。
落下して、けがの原因となります。

禁止

湿気やほこりの多い場所や高温になる場所には、保管しないでください。
火災、やけど、感電の原因となります。

指示

子供が使用する場合は、保護者が取り扱いの方法を教えてください。また、使用中においても、指示どおりに使用しているかをご確認ください。
けがなどの原因となります。

指示

乳幼児の手の届かない場所に保管してください。
誤って飲み込んだり、けがなどの原因となったりします。

本端末をアダプタに接続した状態で長時間連続使用される場合には特にご注意ください。

充電しながらゲームやワンセグ視聴などを長時間行うと本端末や電池パック・アダプタの温度が高くなることがあります。
温度の高い部分に直接長時間触れるとお客様の体質や体調によっては肌に赤みやかゆみ、かぶれなどが生じたり、低温やけどの原因となったりする恐れがあります。

2. 本端末の取り扱いについて

⚠ 警告

禁止

ライトの発光部を人の目に近づけて点灯発光させないでください。特に、乳幼児を撮影するときは、1m以上離れてください。
視力障害の原因となります。また、目がくらんだり驚いたりしてけがなどの事故の原因となります。

禁止

本端末内のドコモminiUIMカードスロットやmicroSDカードスロットに水などの液体や金属片、燃えやすいものなどの異物を入れないでください。
火災、やけど、けが、感電の原因となります。

禁止

自動車などの運転者に向けてライトを点灯しないでください。
運転の妨げとなり、事故の原因となります。

指示

航空機内や病院など、使用を禁止された区域では、本端末の電源を切ってください。
電子機器や医用電気機器に悪影響を及ぼす原因となります。 医療機関内における使用については各医療機関の指示に従ってください。航空機内での使用などの禁止行為をした場合、法令により罰せられます。
ただし、電波を出さない設定にすることなどで、機内で本端末が使用できる場合には、航空会社の指示に従ってご使用ください。

ハンズフリーに設定して通話する際や、着信音が鳴っているときなどは、必ず本端末を耳から離してください。また、イヤホンマイクなどを本端末に装着し、ゲームや音楽再生などをする場合は、適度なボリュームに調節してください。

音量が大きすぎると難聴の原因となります。また、周囲の音が聞こえにくいと、事故の原因となります。

心臓の弱い方は、着信バイブレータ（振動）や着信音量の設定に注意してください。

心臓に悪影響を及ぼす原因となります。

医用電気機器などを装着している場合は、医用電気機器メーカもしくは販売業者に、電波による影響についてご確認の上ご使用ください。

医用電気機器などに悪影響を及ぼす原因となります。

高精度な制御や微弱な信号を取り扱う電子機器の近くでは、本端末の電源を切ってください。

電子機器が誤動作するなどの悪影響を及ぼす原因となります。

※ご注意いただきたい電子機器の例

補聴器、植込み型心臓ペースメーカおよび植込み型除細動器、その他の医用電気機器、火災報知器、自動ドア、その他の自動制御機器など。植込み型心臓ペースメーカおよび植込み型除細動器、その他の医用電気機器をご使用される方は、当該の各医用電気機器メーカもしくは販売業者に電波による影響についてご確認ください。

万が一、ディスプレイ部やカメラのレンズを破損した際には、割れたガラスや露出した本端末の内部にご注意ください。

ディスプレイ内部には耐衝撃性の樹脂、カメラのレンズの表面にはアクリル部品を使用し、ガラスが飛び散りにくい構造となっておりますが、誤って割れた破損部や露出部に触れますと、けがの原因となります。

⚠ 注意

禁止

アンテナなどを持って本端末を振り回さないでください。

本人や他の人に当たり、けがなどの事故の原因となります。

禁止

本端末が破損したまま使用しないでください。

火災、やけど、けが、感電の原因となります。

禁止

モーションセンサーのご使用にあたっては、必ず周囲の安全を確認し、本端末をしっかりと握り、必要以上に振り回さないでください。

けがなどの事故の原因となります。

禁止

誤ってディスプレイを破損し、内部物質が漏れた場合には、顔や手などの皮膚につけないでください。

失明や皮膚に傷害を起こす原因となります。内部物質が目や口に入った場合には、すぐにきれいな水で洗い流し、直ちに医師の診断を受けてください。また、皮膚や衣類に付着した場合は、すぐにアルコールなどで拭き取り、石鹸で水洗いしてください。

自動車内で使用する場合、自動車メーカもしくは販売業者に、電波による影響についてご確認の上ご使用ください。

車種によっては、まれに車載電子機器に悪影響を及ぼす原因となりますので、その場合は直ちに使用を中止してください。

お客様の体質や体調によっては、かゆみ、かぶれ、湿疹などが生じることがあります。異状が生じた場合は、直ちに使用をやめ、医師の診療を受けてください。

各箇所の材質について → P.32「材質一覧」

ディスプレイを見る際は、十分明るい場所で、画面からある程度の距離をとってご使用ください。

視力低下の原因となります。

3. 電池パックの取り扱いについて

■ 電池パックのラベルに記載されている表示により、電池の種類をご確認ください。

表示	電池の種類
Li-ion 00	リチウムイオン電池

⚠ 危険

禁止

端子に針金などの金属類を接触させないでください。また、金属製ネックレスなどと一緒に持ち運んだり、保管したりしないでください。
電池パックの発火、破裂、発熱、漏液の原因となります。

禁止

電池パックを本端末に取り付けるときは、電池パックの向きを確かめ、うまく取り付けできない場合は、無理に取り付けないでください。
電池パックの発火、破裂、発熱、漏液の原因となります。

禁止

火の中に投下しないでください。
電池パックの発火、破裂、発熱、漏液の原因となります。

禁止

釘を刺したり、ハンマーで叩いたり、踏みつけたりしないでください。
電池パックの発火、破裂、発熱、漏液の原因となります。

指示

電池パック内部の液体などが目の中に入ったときは、こすらず、すぐにきれいな水で洗った後、直ちに医師の診療を受けてください。
失明の原因となります。

⚠ 警告

禁止

落下による変形や傷などの異常が見られた場合は、絶対に使用しないでください。
電池パックの発火、破裂、発熱、漏液の原因となります。

指示

電池パックが漏液したり、異臭がしたりするときは、直ちに使用をやめて火気から遠ざけてください。
漏液した液体に引火し、発火、破裂の原因となります。

指示

ペットが電池パックに噛みつかないようご注意ください。
電池パックの発火、破裂、発熱、漏液の原因となります。

⚠ 注意

禁止

一般のゴミと一緒に捨てないでください。
発火、環境破壊の原因となります。不要となった電池パックは、端子にテープなどを貼り、絶縁してからドコモショップなど窓口にお持ちいただくか、回収を行っている市町村の指示に従ってください。

禁止

濡れた電池パックを使用したり充電したりしないでください。
電池パックの発火、破裂、発熱、漏液の原因となります。

指示

電池パック内部の液体などが漏れた場合は、顔や手などの皮膚につけないでください。
失明や皮膚に傷害を起こす原因となります。液体などが目や口に入った場合や、皮膚や衣類に付着した場合は、すぐにきれいな水で洗い流してください。また、目や口に入った場合は、洗浄後直ちに医師の診断を受けてください。

4. アダプタの取り扱いについて

⚠ 警告

アダプタのコードが傷んだら使用しないでください。
火災、やけど、感電の原因となります。

ACアダプタは、風呂場などの湿気の多い場所では使用しないでください。
火災、やけど、感電の原因となります。

DCアダプタはマイナスアース車専用です。プラスアース車には使用しないでください。
火災、やけど、感電の原因となります。

雷が鳴り出したら、アダプタには触れないでください。
感電の原因となります。

コンセントやシガーライターソケットにつないだ状態で充電端子をショートさせないでください。また、充電端子に手や指など、身体の一部を触れさせないでください。
火災、やけど、感電の原因となります。

アダプタのコードの上に重いものをのせないでください。
火災、やけど、感電の原因となります。

禁止

コンセントにACアダプタを抜き差しするときは、金属製ストラップなどの金属類を接触させないでください。

火災、やけど、感電の原因となります。

濡れ手禁止

濡れた手でアダプタのコード、コンセントに触れないでください。

火災、やけど、感電の原因となります。

指示

指定の電源、電圧で使用してください。また、海外で充電する場合は、海外で使用可能なACアダプタで充電してください。

誤った電圧で使用すると火災、やけど、感電の原因となります。
ACアダプタ：AC100 V
DCアダプタ：DC12 V・24 V（マイナスアース車専用）
海外で使用可能なACアダプタ：AC100 V～240 V（家庭用交流コンセントのみに接続すること）

指示

DCアダプタのヒューズが万が一切れた場合は、必ず指定のヒューズを使用してください。

火災、やけど、感電の原因となります。指定ヒューズに関しては、個別の取扱説明書でご確認ください。

指示

電源プラグについたほこりは、拭き取ってください。

火災、やけど、感電の原因となります。

指示

ACアダプタをコンセントに差し込むときは、確実に差し込んでください。
火災、やけど、感電の原因となります。

指示

電源プラグをコンセントやシガーライターソケットから抜く場合は、アダプタのコードを無理に引っ張らず、アダプタを持って抜いてください。
火災、やけど、感電の原因となります。

長時間使用しない場合は、電源プラグをコンセントやシガーライターソケットから抜いてください。
火災、やけど、感電の原因となります。

万が一、水などの液体が入った場合は、直ちにコンセントやシガーライターソケットから電源プラグを抜いてください。
火災、やけど、感電の原因となります。

お手入れの際は、電源プラグをコンセントやシガーライターソケットから抜いて行ってください。
火災、やけど、感電の原因となります。

5. ドコモminiUIMカードの取り扱いについて

⚠ 注意

指示

ドコモminiUIMカードを取り外す際は切断面にご注意ください。
けがの原因となります。

6. 医用電気機器近くでの取り扱いについて

■ 本記載の内容は「医用電気機器への電波の影響を防止するための携帯電話端末等の使用に関する指針」（電波環境協議会）に準ずる。

⚠ 警告

医療機関の屋内では次のことを守って使用してください。

- 手術室、集中治療室（ICU）、冠状動脈疾患監視病室（CCU）には本端末を持ち込まないでください。
- 病棟内では、本端末の電源を切ってください。
- ロビーなどであっても付近に医用電気機器がある場合は、本端末の電源を切ってください。
- 医療機関が個々に使用禁止、持ち込み禁止などの場所を定めている場合は、その医療機関の指示に従ってください。

満員電車の中など混雑した場所では、付近に植込み型心臓ペースメーカおよび植込み型除細動器を装着している方がいる可能性がありますので、本端末の電源を切ってください。

電波により植込み型心臓ペースメーカおよび植込み型除細動器の作動に悪影響を及ぼす原因となります。

植込み型心臓ペースメーカおよび植込み型除細動器などの医用電気機器を装着されている場合は、装着部から本端末は22cm以上離して携行および使用してください。

電波により医用電気機器の作動に悪影響を及ぼす原因となります。

自宅療養などにより医療機関の外で、植込み型心臓ペースメーカおよび植込み型除細動器以外の医用電気機器を使用される場合には、電波による影響について個別に医用電気機器メーカなどにご確認ください。

電波により医用電気機器の作動に悪影響を及ぼす原因となります。

7.材質一覧

<table>
<tr><th colspan="2">使用箇所</th><th>使用材質</th><th>表面処理</th></tr>
<tr><td colspan="2">ディスプレイパネル</td><td>ガラス</td><td>—</td></tr>
<tr><td rowspan="3">外装ケース（周囲）</td><td>フロント</td><td>PC</td><td>錫蒸着</td></tr>
<tr><td>リアカバー（Titanium Gray）</td><td>PC</td><td>Multi蒸着</td></tr>
<tr><td>リアカバー（Sapphire Black）</td><td>PC</td><td>UVコーティング</td></tr>
<tr><td colspan="2">サイドキー（音量キー、電源／画面ロックキー）</td><td>PC</td><td>錫蒸着</td></tr>
<tr><td colspan="2">ホームキー</td><td>アルミニウムCNC加工</td><td>アルマイト</td></tr>
<tr><td colspan="2">カメラレンズパネル</td><td>強化ガラス</td><td>—</td></tr>
<tr><td colspan="2">カメラレンズ周囲部分</td><td>PC</td><td>錫蒸着</td></tr>
<tr><td colspan="2">ワンセグアンテナ先端部（Titanium Gray）</td><td>PC</td><td>Multi蒸着</td></tr>
<tr><td colspan="2">ワンセグアンテナ先端部（Sapphire Black）</td><td>PC</td><td>UVコーティング</td></tr>
</table>

<table>
<tr><th colspan="2">使用箇所</th><th>使用材質</th><th>表面処理</th></tr>
<tr><td colspan="2">ライトパネル</td><td>アクリル</td><td>―</td></tr>
<tr><td colspan="2">スピーカー</td><td>ステンレス鋼</td><td>―</td></tr>
<tr><td colspan="2">受話口周囲部分</td><td>ステンレス鋼</td><td>研磨加工</td></tr>
<tr><td rowspan="3">電池パック</td><td>端子部分</td><td>銅合金</td><td>ニッケル下地メッキ／金メッキ</td></tr>
<tr><td>本体</td><td>PC</td><td>―</td></tr>
<tr><td>ラベル</td><td>PET</td><td>コーティング（UVマット有機PV）</td></tr>
</table>

8. 試供品（microSDカード（2GB）、マイク付ステレオヘッドセット）の取り扱いについて

⚠ 危険

■ microSDカード／マイク付ステレオヘッドセット（共通）

禁止

電子レンジなどの加熱調理機器や高圧容器に入れないでください。
火災、やけど、けが、感電の原因となります。

■ マイク付ステレオヘッドセット

禁止

高温になる場所（火のそば､暖房器具のそば、こたつの中、直射日光の当たる場所、炎天下の車内など）で使用、保管、放置しないでください。
火災、やけど、けがの原因となります。

分解禁止

分解、改造をしないでください。
火災、やけど、けが、感電の原因となります。

水濡れ禁止

水や飲料水、ペットの尿などで濡らさないでください。
火災、やけど、けが、感電の原因となります。

⚠ 警告

■ microSDカード／マイク付ステレオヘッドセット（共通）

禁止

強い力や衝撃を与えたり、投げ付けたりしないでください。
火災、やけど、けが、感電の原因となります。

■ マイク付ステレオヘッドセット

禁止

端子に導電性異物（金属片、鉛筆の芯など）を接触させないでください。また、内部に入れないでください。
火災、やけど、けが、感電の原因となります。

禁止

自動車などを運転中にマイク付ステレオヘッドセットを使用しないでください。
事故の原因となります。

禁止

歩行中は、周囲の音が聞こえなくなるほど、マイク付ステレオヘッドセットの音量を上げないでください。また、周囲の交通、路面状態には気を付けてください。
事故の原因となります。

⚠ 注意

■ microSDカード／マイク付ステレオヘッドセット（共通）

禁止

湿気やほこりの多い場所や高温になる場所には、保管しないでください。
火災、やけど、感電の原因となります。

指示

子供が使用する場合は、保護者が取り扱いの方法を教えてください。また、使用中においても、指示どおりに使用しているかをご確認ください。
けがなどの原因となります。

指示

乳幼児の手の届かない場所に保管してください。
誤って飲み込んだり、けがなどの原因となったりします。

■ microSDカード

禁止

高温になる場所（火のそば、暖房器具のそば、こたつの中、直射日光の当たる場所、炎天下の車内など）で使用、保管、放置しないでください。
機器の変形やデータの消失、故障の原因となります。

禁止

曲げたり、重いものをのせたりしないでください。
故障の原因となります。

禁止

金属端子部分に手や導電性異物（金属片、鉛筆の芯など）で触れたり、ショートさせたりしないでください。
データの消失、故障の原因となります。

禁止

microSDカードへのデータの書き込み／読み出し中に、振動／衝撃を与えたり、電源を切ったり、機器から取り外したりしないでください。
データの消失、故障の原因となります。

分解禁止

分解、改造をしないでください。
データの消失、故障の原因となります。

水濡れ禁止

水や飲料水、ペットの尿などで濡らさないでください。
火災、やけど、けが、感電の原因となります。

■ マイク付ステレオヘッドセット

禁止

マイク付ステレオヘッドセットのコードを持って本端末を振り回さないでください。
本人や他の人に当たったり、コードが外れたりするなど、けがなどの事故、故障、破損の原因となります。

禁止

マイク付ステレオヘッドセットを使用するときは、音量に気を付けてください。
長時間使用して難聴になったり、突然大きな音が出て耳をいためたりする原因となります。

取り扱い上のご注意

共通のお願い

■ 水をかけないでください。

本端末、電池パック、アダプタ、USB接続ケーブル、ドコモminiUIMカードは防水性能を有しておりません。風呂場などの湿気の多い場所でのご使用や、雨などがかかることはおやめください。また身に付けている場合、汗による湿気により内部が腐食し故障の原因となります。調査の結果、これらの水濡れによる故障と判明した場合、保証対象外となり修理できないことがありますので、あらかじめご了承ください。なお、保証対象外ですので修理を実施できる場合でも有料修理となります。

■ お手入れは乾いた柔らかい布（めがね拭きなど）で拭いてください。

- 乾いた布などで強く擦ると、ディスプレイに傷がつく場合があります。
- ディスプレイに水滴や汚れなどが付着したまま放置すると、シミになることがあります。
- アルコール、シンナー、ベンジン、洗剤などで拭くと、印刷が消えたり、色があせたりすることがあります。

■ 端子は時々乾いた綿棒などで清掃してください。

端子が汚れていると接触が悪くなり、電源が切れたり充電不十分の原因となったりしますので、端子を乾いた綿棒などで拭いてください。また、清掃する際には端子の破損に十分ご注意ください。

■ エアコンの吹き出し口の近くに置かないでください。

急激な温度の変化により結露し、内部が腐食し故障の原因となります。

■ **本端末や電池パックなどに無理な力がかからないように使用してください。**
多くのものが詰まった荷物の中に入れたり、衣類のポケットに入れて座ったりするとディスプレイ、内部基板、電池パックなどの破損、故障の原因となります。
また、外部接続機器を外部接続端子やヘッドホン接続端子に差した状態の場合、コネクタ破損、故障の原因となります。

■ **ディスプレイは金属などで擦ったり引っかいたりしないでください。**
傷つくことがあり故障、破損の原因となります。

■ **オプション品に添付されている個別の取扱説明書をよくお読みください。**

本端末についてのお願い

■ **ディスプレイの表面を強く押したり、爪やボールペン、ピンなど先の尖ったもので操作したりしないでください。**
ディスプレイが破損する原因となります。

■ **極端な高温、低温は避けてください。**
温度は5℃～35℃、湿度は45%～85%の範囲でご使用ください。

■ **一般の電話機やテレビ・ラジオなどをお使いになっている近くで使用すると、悪影響を及ぼす原因となりますので、なるべく離れた場所でご使用ください。**

■ **お客様ご自身で本端末に登録された情報内容は、別にメモを取るなどして保管してくださるようお願いします。**
万が一登録された情報内容が消失してしまうことがあっても、当社としては責任を負いかねますのであらかじめご了承ください。

■ 本端末を落としたり、衝撃を与えたりしないでください。
故障、破損の原因となります。
■ 外部接続端子やヘッドホン接続端子に外部接続機器を接続する際に斜めに差したり、差した状態で引っ張ったりしないでください。
故障、破損の原因となります。
■ 使用中、充電中、本端末は温かくなりますが、異常ではありません。そのままご使用ください。
■ カメラを直射日光の当たる場所に放置しないでください。
素子の退色・焼付きを起こす場合があります。
■ リアカバーを外したまま使用しないでください。
電池パックが外れたり、故障、破損の原因となったりします。
■ microSD カードの使用中は、microSD カードを取り外したり、本端末の電源を切ったりしないでください。
データの消失、故障の原因となります。
■ 磁気カードなどを本端末に近づけないでください。
キャッシュカード、クレジットカード、テレホンカード、フロッピーディスクなどの磁気データが消えてしまうことがあります。
■ 本端末に磁気を帯びたものを近づけないでください。
強い磁気を近づけると誤動作の原因となります。
■ 本端末をデコレーションしたり、ペインティングしたりしないでください。
誤動作の原因となります。

電池パックについてのお願い

■ **電池パックは消耗品です。**
使用状態などによって異なりますが、十分に充電しても使用時間が極端に短くなったときは電池パックの交換時期です。指定の新しい電池パックをお買い求めください。

■ **充電は、適正な周囲温度（5℃～35℃）の場所で行ってください。**

■ **電池パックの使用時間は、使用環境や電池パックの劣化度により異なります。**

■ **電池パックの使用条件により、寿命が近づくにつれて電池パックが膨れる場合がありますが問題ありません。**

■ **電池パックを保管される場合は、次の点にご注意ください。**
- フル充電状態（充電完了後すぐの状態）での保管
- 電池残量なしの状態（本端末の電源が入らない程消費している状態）での保管

電池パックの性能や寿命を低下させる原因となります。
保管に適した電池残量は、目安として電池残量が40パーセント程度の状態をお勧めします。

アダプタについてのお願い

■ **充電は、適正な周囲温度(5℃〜35℃)の場所で行ってください。**

■ **次のような場所では、充電しないでください。**
- 湿気、ほこり、振動の多い場所
- 一般の電話機やテレビ・ラジオなどの近く

■ **充電中、アダプタが温かくなることがありますが、異常ではありません。そのままご使用ください。**

■ **DCアダプタを使用して充電する場合は、自動車のエンジンを切ったまま使用しないでください。**
自動車のバッテリーを消耗させる原因となります。

■ **抜け防止機構のあるコンセントをご使用の場合、そのコンセントの取扱説明書に従ってください。**

■ **強い衝撃を与えないでください。また、充電端子を変形させないでください。**
故障の原因となります。

ドコモminiUIMカードについてのお願い

■ ドコモminiUIMカードの取り付け／取り外しには、必要以上に力を入れないでください。

■ 他のICカードリーダー／ライターなどにドコモminiUIMカードを挿入して使用した結果として故障した場合は、お客様の責任となりますので、ご注意ください。

■ IC部分はいつもきれいな状態でご使用ください。

■ お手入れは、乾いた柔らかい布（めがね拭きなど）で拭いてください。

■ お客様ご自身で、ドコモminiUIMカードに登録された情報内容は、別にメモを取るなどして保管してくださるようお願いします。
万が一登録された情報内容が消失してしまうことがあっても、当社としては責任を負いかねますのであらかじめご了承ください。

■ 環境保全のため、不要になったドコモminiUIMカードはドコモショップなど窓口にお持ちください。

■ ICを傷つけたり、不用意に触れたり、ショートさせたりしないでください。
データの消失、故障の原因となります。

■ ドコモminiUIMカードを落としたり、衝撃を与えたりしないでください。
故障の原因となります。

■ ドコモminiUIMカードを曲げたり、重いものをのせたりしないでください。
故障の原因となります。

■ ドコモminiUIMカードにラベルやシールなどを貼った状態で、本端末に取り付けないでください。
故障の原因となります。

Bluetooth機能を使用する場合のお願い

■ 本端末は、Bluetooth機能を使用した通信時のセキュリティとして、Bluetooth標準規格に準拠したセキュリティ機能に対応しておりますが、設定内容などによってセキュリティが十分でない場合があります。Bluetooth機能を使用した通信を行う際にはご注意ください。

■ Bluetooth機能を使用した通信時にデータや情報の漏洩が発生しましても、責任を負いかねますので、あらかじめご了承ください。

■ 周波数帯について
本端末のBluetooth機能／無線LAN機能が使用する周波数帯は、端末本体の電池パック挿入部に記載されています。ラベルの見かたは次のとおりです。

2.4 FH1 / DS4 / OF4 / XX8

2.4：	2400MHz帯を使用する無線設備を表します。
FH／DS／OF／XX：	変調方式がFH-SS、DS-SS、OFDM、その他であることを示します。
1：	想定される与干渉距離が10m以下であることを示します。
4：	想定される与干渉距離が40m以下であることを示します。
8：	想定される与干渉距離が80m以下であることを示します。
：	2400MHz～2483.5MHzの全帯域を使用し、かつ移動体識別装置の帯域を回避不可であることを意味します。

利用可能なチャンネルは国により異なります。航空機内の使用は、事前に各航空会社へご確認ください。

■ Bluetoothデバイス使用上の注意事項

本端末の使用周波数帯では、電子レンジなどの家電製品や産業・科学・医療用機器のほか、工場の製造ラインなどで使用される免許を要する移動体識別用構内無線局、免許を要しない特定小電力無線局、アマチュア無線局など（以下「他の無線局」と略します）が運用されています。

1. 本端末を使用する前に、近くで「他の無線局」が運用されていないことを確認してください。
2. 万が一、本端末と「他の無線局」との間に電波干渉が発生した場合には、速やかに使用場所を変えるか、「電源を切る」など電波干渉を避けてください。
3. その他、ご不明な点につきましては、裏表紙の「総合お問い合わせ先」までお問い合わせください。

無線LAN（WLAN）についてのお願い

■ 無線LAN（WLAN）は、電波を利用して情報のやり取りを行うため、電波の届く範囲であれば自由にLAN接続できる利点があります。その反面、セキュリティの設定を行っていないときは、悪意ある第三者に通信内容を盗み見られたり、不正に侵入されてしまう可能性があります。お客様の判断と責任において、セキュリティの設定を行い、使用することを推奨します。

■ 無線LANについて
電気製品・AV・OA機器などの磁気を帯びているところや電磁波が発生しているところで使用しないでください。
- 磁気や電気雑音の影響を受けると雑音が大きくなったり、通信ができなくなることがあります（特に電子レンジ使用時には影響を受けることがあります）。
- テレビ、ラジオなどに近いと受信障害の原因となったり、テレビ画面が乱れることがあります。
- 近くに複数の無線LANアクセスポイントが存在し、同じチャンネルを使用していると、正しく検索できない場合があります。
- WLANを海外で利用する場合、ご利用の国によっては使用場所などが制限されている場合があります。その場合は、その国の使用可能周波数、法規制などの条件を確認の上、ご利用ください。

■ 2.4GHz機器使用上の注意事項

WLAN搭載機器の使用周波数帯では、電子レンジなどの家電製品や産業・科学・医療用機器のほか、工場の製造ラインなどで使用されている移動体識別用の構内無線局（免許を要する無線局）および特定小電力無線局（免許を要しない無線局）ならびにアマチュア無線局（免許を要する無線局）が運用されています。

1. この機器を使用する前に、近くで移動体識別用の構内無線局および特定小電力無線局ならびにアマチュア無線局が運用されていないことを確認してください。
2. 万が一、この機器から移動体識別用の構内無線局に対して有害な電波干渉の事例が発生した場合には、速やかに使用周波数を変更するかご利用を中断していただいた上で、裏表紙の「総合お問い合わせ先」までお問い合わせいただき、混信回避のための処置など（例えば、パーティションの設置など）についてご相談ください。
3. その他、この機器から移動体識別用の特定小電力無線局あるいはアマチュア無線局に対して電波干渉の事例が発生した場合など何かお困りのことが起きたときは、裏表紙の「総合お問い合わせ先」までお問い合わせください。

■ 本端末の5GHz帯の使用チャンネルについて

本端末は、5GHzの周波数帯において、W52、W53、W56の3種類のチャンネルを使用できます。

IEEE802.11b/g/n			

IEEE802.11a/n			
J52	W52	W53	W56

・ 5.2GHz ／ 5.3GHz帯無線LAN（W52 ／ W53）の屋外使用は電波法で禁止されています。

FeliCa リーダー／ライター機能についてのお願い

- 本端末のFeliCaリーダー／ライター機能は、無線局の免許を要しない微弱電波を使用しています。
- 使用周波数は13.56MHz帯です。周囲で他のリーダー／ライターをご使用の場合、十分に離してお使いください。
  また、他の同一周波数帯を使用の無線局が近くにないことを確認してお使いください。

試供品（microSDカード（2GB）、マイク付ステレオヘッドセット）についてのお願い

■ microSDカード／マイク付ステレオヘッドセット（共通）

● 水をかけないでください。

microSDカード、マイク付ステレオヘッドセットは防水性能を有しておりません。風呂場などの湿気の多い場所でのご使用や、雨などがかかることはおやめください。また、身に付けている場合、汗による湿気により内部が腐食し故障の原因となります。

● 端子は時々乾いた綿棒などで清掃してください。

端子が汚れていると接触が悪くなり、電源が切れたり充電不十分の原因となったりしますので、端子を乾いた綿棒などで拭いてください。また、清掃する際には端子の破損に十分ご注意ください。

● エアコンの吹き出し口の近くに置かないでください。

急激な温度の変化により結露し、内部が腐食し故障の原因となります。

■ マイク付ステレオヘッドセット

● **携帯電話からマイク付ステレオヘッドセットを取り外すときは、必ずマイク付ステレオヘッドセットのプラグ部分を持って携帯電話から水平に引き抜いてください。**
無理に引き抜こうとすると故障の原因となります。

注意

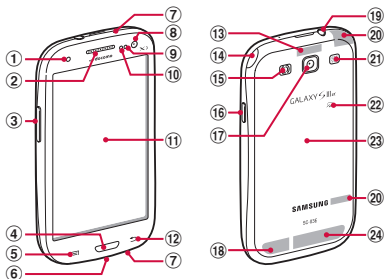
■ **改造された本端末は絶対に使用しないでください。改造した機器を使用した場合は電波法に抵触します。**
本端末は、電波法に基づく特定無線設備の技術基準適合証明などを受けており、その証として「技適マーク〒」が本端末の銘版シールに表示されております。
本端末のネジを外して内部の改造を行った場合、技術基準適合証明などが無効となります。
技術基準適合証明などが無効となった状態で使用すると、電波法に抵触しますので、絶対に使用されないようにお願いいたします。

■ **自動車などを運転中の使用にはご注意ください。**
運転中の携帯電話を手で保持しての使用は罰則の対象となります。
ただし、傷病者の救護または公共の安全の維持など、やむを得ない場合は対象外となります。

■ **FeliCaリーダー／ライター機能は日本国内で使用してください。**
本端末のFeliCaリーダー／ライター機能は日本国内での無線規格に準拠しています。
海外でご使用になると罰せられることがあります。

■ **基本ソフトウェアを不正に変更しないでください。**
ソフトウェアの改造とみなし故障修理をお断りする場合があります。

ご使用前の確認と設定

各部の名称と機能

① **通知LED** → P.107

② **受話口**

- 相手からの音声が聞こえます。

③ **音量キー** → P.255

④ **ホームキー**

- 操作中の画面をホーム画面に戻します。
- 1秒以上押すと、最近使用したアプリケーションの一覧（P.118）が表示されます。

⑤ **メニューキー**

- メニューが表示されます。

⑥ **外部接続端子**

⑦ **送話口／マイク**
- 上部の送話口／マイクは、動画撮影時に動作します。
- 下部の送話口／マイクは、通話時、音声認識時、ボイスレコーダー録音時、動画撮影時などに動作します。

⑧ **内側カメラ**

⑨ **近接・照度センサー**
- 顔などの接近や周囲の明るさを検知し、ディスプレイの表示を消したり、明るさの自動調整を行います。

⑩ **近接センサー**
- 通話中に顔などの接近を検知して、ディスプレイの表示を消します。

⑪ **ディスプレイ（タッチスクリーン）→ P.71**

⑫ **[⮌] バックキー**
- メニュー表示などをキー操作の一段階前の状態に戻します。

⑬ **GPSアンテナ※**

⑭ **ワンセグアンテナ**

⑮ **ライト**
- 静止画や動画撮影時に点灯します。

⑯ **電源／画面ロックキー**
- 2秒以上押して、本端末の電源を入れます（P.69）。
- 手動で画面ロックを設定できます（P.70）。

⑰ **外側カメラ**
- 静止画や動画を撮影します（P.355、P.356）。

⑱ **Bluetooth ／ Wi-Fiアンテナ※**

⑲ **ヘッドホン接続端子**
- マイク付ステレオヘッドセット（試供品）などを接続する直径3.5mmの接続端子です。

⑳ **Xiアンテナ※**

㉑ **スピーカー**
- 着信音が鳴ります。
- ハンズフリー通話時に相手からの音声が聞こえます。

㉒ **マーク**

㉓ **リアカバー**

㉔ FOMA ／ Xiアンテナ※

※ アンテナは、本体に内蔵されています。アンテナ付近を手で覆うと品質に影響を及ぼす場合があります。

ドコモminiUIMカード

ドコモminiUIMカードは、お客様の電話番号などの情報が記録されているIC カードです。

- 本端末では、ドコモminiUIMカードのみご利用できます。ドコモUIMカード、FOMA カードをお持ちの場合には、ドコモショップ窓口にてお取り替えください。
- ドコモminiUIMカードが取り付けられていないと、本端末で電話の発着信やメールの送受信、データ通信などの通信が利用できません。
- 日本国内では、ドコモminiUIMカードを取り付けないと緊急通報番号（110番、119番、118番）に発信できません。
- ドコモminiUIMカードは、対応端末以外ではご利用いただけないほか、ドコモUIMカードからのご変更の場合は、ご利用のサイトやデータなどの一部がご利用いただけなくなる場合があります。
- ドコモminiUIMカードの詳しい取り扱いについては、ドコモminiUIMカードの取扱説明書をご覧ください。

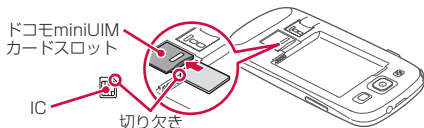
ドコモminiUIMカードの暗証番号について

ドコモminiUIMカードには、PINコードという暗証番号が設定されています（P.277）。

ドコモminiUIMカードの取り付け／取り外し

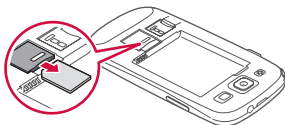
ドコモminiUIMカードを取り付ける

1 ドコモminiUIMカードのIC面を下にして、矢印の向きにドコモminiUIMカードスロットの奥まで差し込む

- 正しい向きに差し込むと、まずドコモminiUIMカードスロット内のガイドに軽く当たります。そのまま、「カチッ」と音がするまで、奥に差し込んでください。

ドコモminiUIMカードを取り外す

1 本端末に取り付けられているドコモminiUIMカードを軽く押し込む

- ドコモminiUIMカードが少し出ます。

2 ドコモminiUIMカードを矢印の向きにまっすぐ引き出す

お知らせ

- ドコモminiUIMカードを取り扱うときは、IC面に触れたり、傷つけないようにご注意ください。
- ドコモminiUIMカードを無理に取り付けたり取り外したりしようとすると、ドコモminiUIMカードが破損することがありますのでご注意ください。
- 取り外したドコモminiUIMカードはなくさないようご注意ください。

microSDカード

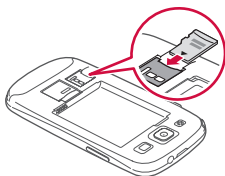
本端末は、microSDカード（microSDHCカード、microSDXCカードを含む）を取り付けて使用することができます。

- 本端末は、2GBまでのmicroSDカードと32GBまでのmicroSDHCカードおよび64GBまでのmicroSDXCカードに対応しています（2012年11月現在）。ただし、市販されているすべてのmicroSDカードの動作を保証するものではありません。
  対応のmicroSDカードは各microSDカードメーカーへお問い合わせください。
- microSDXCカードは、SDXC対応機器でのみご利用いただけます。SDXC非対応の機器にmicroSDXCカードを差し込むと、microSDXCカードに保存されているデータが破損することなどがあるため、差し込まないでください。
- データが破損したmicroSDXCカードを再度利用するためには、SDXC対応機器にてmicroSDXCカードの初期化をする必要があります（データはすべて削除されます）。
- SDXC非対応機器とのデータコピーについては、microSDHCカードもしくはmicroSDカードなど、コピー先／コピー元の機器の規格に準拠したカードをご利用ください。

microSDカードの取り付け／取り外し

microSDカードを取り付ける

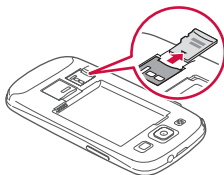
1 **microSDカードの金属端子面を下にして、矢印の向きにmicroSDカードスロットへmicroSDカードが固定されるまで奥に差し込む**

- 正しい向きに差し込むと、まずmicroSDカードスロット内のガイドに軽く当たります。そのまま、「カチッ」と音がするまで、奥に差し込んでください。

microSDカードを取り外す

microSDカードを取り外すときは、あらかじめ「外部SDカードのマウント解除」（P.261）を行ってください。

1 **本端末に取り付けられているmicroSDカードを軽く押し込む**

- microSDカードが少し出ます。

2 **microSDカードを矢印の向きにまっすぐ引き出す**

お知らせ

- microSDカードを取り外すとき、microSDカードが本端末から飛び出す場合がありますのでご注意ください。

microSDカードを初期化する

microSDカードを初期化すると、microSDカードの内容がすべて消去されますのでご注意ください。

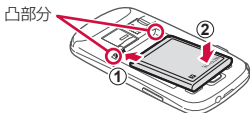
1. ホーム画面で [メニュー] →「本体設定」→「ストレージ」
2. 「外部SDカードを初期化」→「外部SDカードを初期化」→「全て削除」

電池パック

- 電池パックの取り付け／取り外しは、電源を切ってから行ってください。
- リアカバーの取り付け／取り外しは、本端末のディスプレイなどが傷つかないよう、手に持って行ってください。また、指や手で を押さないようにご注意ください。
- リアカバーの取り付け／取り外しは、無理な力を入れて曲げたり、ねじったりしないでください。
  リアカバーが破損することがあります。
- 本端末専用の電池パックSC07をご利用ください。

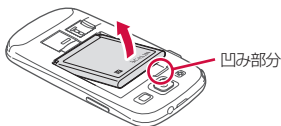
電池パックを取り付ける

1 **リアカバーの①の部分に指先をかけて、②の方向へ少し持ち上げ、③の方向に向けてリアカバーを取り外す**

2 電池パックの Ａ マークを上にして、本端末の凸部分を電池パックの凹みに確実に合わせ、① の方向へ押し付けながら、② の方向へ押し込む

3 リアカバーの向きを確認して本端末に合わせるように装着し、しっかりと押しながらすき間がないように取り付ける

電池パックを取り外す

1 リアカバーを取り外す（P.60）

2 本端末の凹み部分を利用して電池パックに指先をかけて、矢印の方向へ持ち上げて取り外す

充電

本端末専用の電池パックSC07を使用してください。

■ 電池パックの寿命について

- 電池パックは消耗品です。充電を繰り返すごとに1回で使える時間が、次第に短くなっていきます。
- 1回で使える時間がお買い上げ時に比べて半分程度になったら、電池パックの寿命が近づいていますので、早めに交換することをおすすめします。また、電池パックの使用条件により、寿命が近づくにつれて電池パックが膨れる場合がありますが問題ありません。

■ 充電について

- FOMA ACアダプタ02（別売）、ACアダプタ03（別売）、FOMA海外兼用ACアダプタ01（別売）、FOMA DCアダプタ01／02（別売）、DCアダプタ03（別売）について、詳しくは該当の取扱説明書をご覧ください。
- FOMA ACアダプタ02、ACアダプタ03およびFOMA海外兼用ACアダプタ01はAC100Vから240Vまで対応しています。
- ACアダプタのプラグ形状はAC100V用（国内仕様）です。AC100Vから240V対応のACアダプタを海外で使用する場合は、渡航先に適合した変換プラグアダプタが必要です。なお、海外旅行用の変圧器を使用しての充電は行わないでください。
- 充電中でも本端末の電源を入れておけば、電話を受けることができます。ただし、その間は充電量が減るため、充電の時間が長くなります。

- コネクタを抜き差しする際は、無理な力がかからないようゆっくり確実に行ってください。
- 充電中に電池パックを外さないでください。

■ 電源を入れたままでの長時間（数日間）充電はおやめください。

- 充電中に本端末の電源を入れたままで長時間おくと、充電が終わったあと本端末は電池パックから電源が供給されるようになるため、実際に使うと短い時間しか使えず、すぐに電池切れの警告が表示されてしまうことがあります。このようなときは、再度正しい方法で充電を行ってください。再充電の際は、本端末を一度ACアダプタ、DCアダプタから外して再度セットし直してください。

■ 電池パックの使用時間の目安

- 電池パックの使用時間は、充電時間や電池パックの劣化度で異なります。

<table>
<tr><td rowspan="3">連続待受時間</td><td>FOMA／3G</td><td>静止時（自動）：約490時間</td></tr>
<tr><td>LTE</td><td>静止時（自動）：約430時間</td></tr>
<tr><td>GSM</td><td>静止時（自動）：約420時間</td></tr>
<tr><td rowspan="2">連続通話時間</td><td>FOMA／3G</td><td>約560分</td></tr>
<tr><td>GSM</td><td>約520分</td></tr>
</table>

- 連続通話時間とは、電波を正常に送受信できる状態で通話に使用できる時間の目安です。
- 連続待受時間とは、電波を正常に受信できる状態での時間の目安です。なお、電池パックの充電状態、機能設定状況、気温などの使用環境、利用場所の電波状態（電波が届かない、または弱い）などにより、通話や通信、待受時間が約半分程度になる場合があります。インターネットなどで通信を行うと通話（通信）・待受時間は短くなります。また、通話や通信をしなくても、メールの作成、ダウンロードしたアプリケーションの起動、データ通信、カメラの使用、動画の再生、音楽の再生、Bluetooth接続などを使用すると通話（通信）・待受時間は短くなります。
- 滞在国のネットワーク状況によっては、連続通話時間、連続待受時間が短くなることがあります。
- 静止時の連続待受時間とは、電波を正常に受信できる静止状態での平均的な利用時間です。

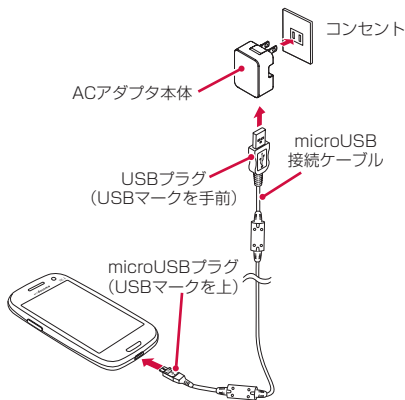
■ 電池パックの充電時間の目安

ACアダプタ03（別売）	約170分
DCアダプタ03（別売）	約190分

- 充電時間の目安は、本端末の電源を切って、電池パックが空の状態から充電したときの時間です。本端末の電源を入れて充電した場合、充電時間は長くなります。

ACアダプタを使って充電する

ACアダプタ03（別売）※を使って充電する方法を説明します。

※ ACアダプタ03は、ACアダプタ03本体とmicroUSB接続ケーブルで構成されています。

1 **本端末の外部接続端子に、microUSB接続ケーブルのmicroUSBプラグを ⭠⭢ の刻印面を上にして差し込む**

2 microUSB接続ケーブルのUSBプラグを、 の刻印面を手前にして、ACアダプタ本体のUSBコネクタへ矢印の向きに水平にしっかりと差し込む

・ USBプラグをACアダプタ本体にしっかりと差し込まないと、充電できない場合があります。

3 ACアダプタ本体の電源プラグを起こし、コンセントに差し込む

・ 充電が完了すると、ステータスバーに が表示されます。

4 充電が完了したら、ACアダプタ本体の電源プラグをコンセントから抜く

5 本端末からmicroUSB接続ケーブルのmicroUSBプラグを水平に引き抜く

6 ACアダプタ本体からmicroUSB接続ケーブルのUSBプラグを水平に抜く

USB接続ケーブル SC02を使って充電する

付属のUSB接続ケーブル SC02を使って本端末とパソコンを接続すると、本端末をパソコンで充電することができます。

- パソコンとの接続のしかたは、P.306をご覧ください。
- パソコンとUSB接続を行うと、パソコン上に「新しいハードウェアの検索ウィザードの開始」画面または「同期セットアップウィザード」画面が表示される場合があります。パソコンと同期せずに充電のみ行いたい場合は、「キャンセル」を選択してください。
- 本端末の状態により、充電に時間がかかる場合や、充電できない場合があります。

電池が切れそうになると

通知音が鳴り、充電を促すメッセージが表示され、ディスプレイが暗くなります。電池残量がなくなると自動的に本端末の電源が切れます。充電を促すメッセージとともに表示される「バッテリー使用量」をタップすると、現在電力を消費している機能が一覧表示されます。機能やアプリケーションによっては、起動しようとすると電池残量が少ない旨のメッセージが表示され、起動できないことがあります。

電源を入れる／切る

電源を入れる

1 を2秒以上押す
- 起動画面が表示され、続いて画面ロック（P.268）が設定された状態のホーム画面が表示されます。

初めて電源を入れた場合

画面の指示に従って初期設定を行います（P.104）。

2 をタップ

■ **電波状態を確認する**

ステータスバーに電波の受信状態を示すアイコンが表示されます（P.111）。

が表示されたときは、Xiサービスエリアおよび FOMAサービスエリア外や電波の届かない場所にいます。

電源を切る

1 を1秒以上押す
- 端末オプション画面が表示されます。

2 「電源OFF」→「OK」
- 終了画面が表示され、電源が切れます。

画面ロックを設定／解除する

画面ロックを設定し、タッチスクリーンやキーの誤動作を防止できます。

- 「画面のタイムアウト」（P.257）の設定により画面の表示が消えると、約5秒後に自動的に画面ロックが設定されます。

画面ロックを設定する

1 を押す

- 画面の表示が消え、画面ロックが設定されます。

画面ロックを解除する

1 画面ロック中に ／ を押す

- ロック解除画面が表示されます。

2 をタップ

- ホーム画面を「TouchWiz標準モード」または「TouchWizかんたんモード」に設定している場合は、画面ロックが解除されるまで、画面を上下左右のいずれかの方向にスワイプ（P.73）します。

お知らせ

- 画面ロック中に不在着信などの通知情報があると、ロック解除画面に通知情報のアイコンが表示される場合があります。
- 画面ロックの解除に画面ロック解除方法が必要になるように設定できます（P.268）。

基本操作

タッチスクリーン、モーションを使って多様な操作ができます。

- タッチスクリーンに電気を帯びた物質や金属性の物質が触れないように注意してください。静電気により本端末がうまく動作しないことがあります。
- 充電中に本端末を使用すると、タッチスクリーンが動作しないことがあります。この場合は、本端末を充電機器から取り外してください。
- 本端末を持って操作する場合は、アンテナが組み込まれている部分を手で覆わないようにしてください。

タッチスクリーンの使いかた

タッチスクリーン利用上のご注意

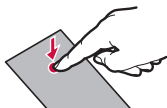
- タッチスクリーンは指で軽く触れるように設計されています。指で強く押したり、先が尖ったもの（爪／ボールペン／ピンなど）を押し付けたりしないでください。
- 次の場合はタッチスクリーンに触れても動作しないことがあります。また、誤動作の原因となりますので、ご注意ください。
  - 手袋をしたままでの操作
  - 爪の先での操作
  - 異物を操作面に乗せたままでの操作
  - 保護シートやシールなどを貼っての操作

本端末のタッチスクリーン（ディスプレイ）は、指で触れて操作できます。本書内では主な操作方法を次のように表記しています。

■ タップする／ダブルタップする

表示項目やアイコンなどを指で軽く触れて選択／実行します（タップ）。
また、表示されている画像やホームページなどをすばやく2回続けてタップして、表示内容を拡大／縮小します（ダブルタップ）。

■ ロングタッチする

表示内容や表示項目などを指で1秒以上触れ続けて、メニューなどを表示します。

■ ドラッグする

表示項目やアイコンなどを指で押さえながら、移動します。

■ スワイプする

表示画面を指で軽くなぞる動作です。

■ スクロールする

表示内容を指で押さえながら上下左右に動かしたり、表示を切り替えたりします。

■ フリックする

表示内容を指で押さえながら、すばやく上下左右に動かして離し、表示内容をスクロールします。

■ 2本の指の間隔を広げる／狭める

表示されている画像やホームページなどを2本の指で押さえながら、指の間隔を広げたり、狭めたりして表示内容の拡大／縮小ができます。

モーションの使いかた

簡単なモーション機能を利用して、周辺のBluetoothデバイスの検索、着信音または再生音のミュートなど多様な機能を実行できます。

※ ドコモが提供するアプリケーション、およびその他一部のアプリケーションでは、本機能を利用できない場合があります。

モーションの主な機能

モーションを利用する前に、ホーム画面で [メニュー] →「本体設定」→「モーション」→ [O] をタップしてモーション機能を有効にし、利用するモーションにチェックを付けてONにする必要があります。

- 「モーションについて」または「手のモーションについて」をタップすると、各モーションのチュートリアルを表示して使いかたを確認できます。
- モーションによっては「感度設定」で感度の調整ができます。

■ ダイレクトコール

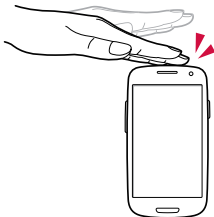
SMS一覧画面や、Samsungが提供する「連絡先」アプリの詳細画面などを表示した状態で、本端末を持ち上げて顔に近づけると、その連絡先に電話をかけます。

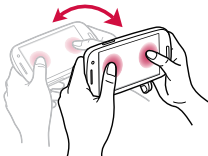
※発信時に、国際ダイヤルアシスト画面が表示されることがあります。

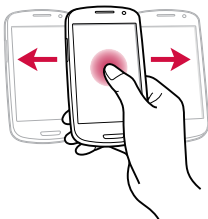
■ スマートアラート

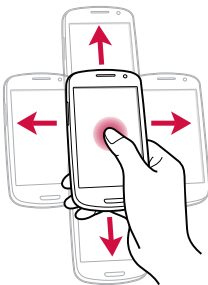
不在着信や新着SMSがある状態で、画面の表示が消えているときに本端末を持ち上げると振動して通知します。

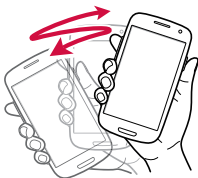
■ ダブルタップで移動

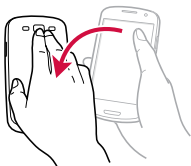
Eメール一覧画面や、Samsungが提供する「連絡先」アプリの連絡先一覧画面などを表示した状態で、本端末の上部をダブルタップすると、一覧の先頭を表示できます。

■ 傾けてズーム

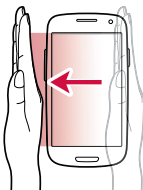
画像データやブラウザ画面を表示している状態で、画面の2箇所をロングタッチしながら本端末を前後に傾けると、表示内容を拡大／縮小します。

■ パンニングで編集

アイコンをロングタッチした状態で、本端末を左右に振ると、アイコンを他のページに移動できます。

■ パンニングで画像を閲覧

画像を拡大表示した状態で、画像をロングタッチして上下左右に振ると、画像内を移動できます。

■ 振って更新

Bluetooth や Wi-Fi、Wi-Fi Kies 接続の設定画面を表示した状態で、本端末を左右にシェイクすると、接続可能なデバイスを自動で検索できます。

■ 伏せて消音／一時停止

着信音や通知音、アラーム鳴動中の状態、または音楽・動画などを再生中の状態で、本端末を伏せると消音／一時停止します（ディスプレイ OFF の場合は除く）。

■ 手のひらでキャプチャ

手の横面で画面上を右から左、または左から右にスワイプすると、画面の表示内容を画像として保存できます。

■ 手のひらで消音／一時停止

音楽・動画などを再生中の状態で、本端末を手で覆うと、再生音を消音／一時停止します（ディスプレイOFFの場合は除く）。

お知らせ

- モーション機能を利用できる機能を起動すると、機能を使用するかどうかの確認画面が表示されます。「モーションを使用」をタップして機能をONにできます。「今後表示しない」にチェックを付けると、確認画面は表示されなくなります。

ディスプレイの表示方向を自動的に切り替える

本端末は、本体の縦／横の向きや傾きを感知して自動的にディスプレイの表示方向の切り替えなどを行うモーションセンサーに対応しています。

1 ホーム画面で [メニュー] →「本体設定」→「ディスプレイ」

2 「画面の自動回転」にチェックを付ける

お知らせ

- 通知パネルでも画面の自動回転の設定ができます。
- ホーム画面や一部の機能など、表示方向が自動的に切り替わらない機能やアプリケーションもあります。

画面の表示内容を画像として保存する

表示中の画面を画像として保存（スクリーンキャプチャ）できます。

- 一部のアプリケーションではスクリーンキャプチャが動作しない場合があります。

1 画像として保存したい画面を表示

2 と を同時に1秒以上押す

お知らせ

- キャプチャした画像はpng形式で保存され、ホーム画面で → 「ギャラリー」→「Screenshots」をタップすると確認できます。
- 「手のひらでキャプチャ」（P.77）にチェックを付けると、本端末の画面上を手の横面で右から左、または左から右にスワイプしてスクリーンキャプチャできます。

文字を入力する

文字を入力するには、文字入力欄をタップして文字入力用のキーボードを表示し、キーボードのキーをタップします。
文字入力用のキーボードには、以下の2種類があります。

- Samsung keyboard（日本語不可）
- Samsung日本語キーパッド

お知らせ

- Samsung keyboard（日本語不可）では日本語を入力できません。
- Google音声入力、ドコモ文字編集を利用すると、音声で文字を入力できます。
- 使用状態によって各キーボードの表示や動作が異なる場合や、利用するアプリケーションや機能専用のキーボードが表示される場合があります。

キーボードの種類（入力方法）を切り替える

1 キーボード表示中に通知パネルを開く

2 「入力方法を選択」

- 「入力方法を選択」画面が表示されます。

3 利用したい入力方法をタップ

お知らせ

- ホーム画面で [メニュー] →「本体設定」→「言語と文字入力」→「Samsung keyboard（日本語不可）」にチェックを付けると、「入力方法を選択」画面に「Samsung keyboard（日本語不可）」が表示され、タップするとSamsung keyboard（日本語不可）で文字を入力できます。

Samsung日本語キーパッドで入力する

Samsung日本語キーパッドは、「テンキー」と「QWERTYキー」の2種類のキーボードを利用できます。

- テンキー：一般の携帯電話のような入力方法（マルチタップ方式）のキーボードです。入力したい文字が割り当てられているキーを、文字が入力されるまで数回タップします。
- QWERTYキー：パソコンのキーボードと同じ配列のキーボードです。日本語をローマ字で入力します。

テンキー　　QWERTYキー

① 予測変換候補／通常変換候補が表示されます。候補をタップすると文字を入力できます。
   - 「予測変換」をOFFに設定している場合や、予測変換候補の表示中に をタップすると、通常変換候補が表示されます。
   - をタップすると、予測変換候補／通常変換候補を全画面表示できます。 をタップすると、元の表示に戻ります。

② 通常変換候補を表示します。
   - 変換候補が表示されていない場合は、タップするとスペースを入力できます。 は、日本語入力の場合のみ表示されます。

③ 表示されているキーの操作を実行します。
   - ロングタッチすると次のアイコンメニューが表示されます。キーの表示は、選択したアイコンメニューにより異なります。
     - ：音声入力に切り替える
     - ：手書き入力キーボードに切り替える

：クリップボードを表示してテキストなどの貼り付け
：Samsung日本語キーパッドの設定メニューを表示

④ 絵文字／記号／顔文字の一覧を表示します。
- タブをタップして一覧を切り替えます。
- 戻る をタップすると、キーパッドを表示します。

⑤ 文字入力モードを切り替えます（P.85）。

⑥ カーソルの左側にある文字や記号などを削除します。

⑦ 入力した文字を確定します。
- が表示されている場合は、タップすると改行します。
- 次へ が表示されている場合は、タップすると次の入力欄にカーソルを移動します。
- 実行、 が表示されている場合は、タップすると検索などの操作を行います。

⑧ カーソルを左または右に移動します。
- テンキーで同じキーに割り当てられている文字を続けて入力する場合は、 をタップします。
- 「ワイルドカード予測」をONにしている場合は、タップするとワイルドカード予測（P.86）を利用できます。

⑨ 確定前の文字を、キーをタップしたときと逆順に切り替えます。
- 文字が入力されていない場合は、表示されているキーの操作を実行します。
  ロングタッチすると次のアイコンメニューが表示されます。キーの表示は、選択したアイコンメニューにより異なります。
  ：音声入力に切り替える
  ：手書き入力キーボードに切り替える
  ：クリップボードを表示してテキストなどの貼り付け
  ：Samsung日本語キーパッドの設定メニューを表示

⑩ 英数カナの変換候補が表示されます。再度タップすると予測変換候補／通常変換候補が表示されます。
- 文字が入力されていない場合は、 （絵文字／記号／顔文字切替）が表示されます。

⑪ 濁点や半濁点を付けたり、文字を大文字／小文字に切り替えます。
- 全角／半角英字入力モードの場合は A/a と表示されます。

お知らせ

- ドコモ文字編集には、モバイルネットワークでの接続が必要です。Wi-Fi接続ではご利用になれない場合があります。

■ キーボードの種類を切り替える

1 キーボード表示中に ⚙

2 「テンキー⇔QWERTYキー」

■ 文字入力モードを切り替える

1 キーボード表示中に あAa12 文字 をロングタッチ

2 利用したい文字入力モードをタップ

- 文字入力モードを切り替えると、キーの表示が次のように変わります。
  - あAa12 文字：ひらがな漢字
  - カ 文字：全角カタカナ
  - ｶﾅ 文字：半角カタカナ
  - A 文字：全角英字
  - あAa12 文字：半角英字
  - 1 文字：全角数字
  - あAa12 文字：半角数字

お知らせ

- あAa12文字 をタップすると、タップするごとに「ひらがな漢字」→「半角英字」→「半角数字」の順に切り替えられます。
- 利用するアプリケーションや機能によっては、手順2で掲載のキー以外が表示される場合があります。

■ ワイルドカード予測を利用する

ワイルドカード予測とは、単語などの読みの文字数を入力して、変換候補を絞り込む機能です。

- 「予測変換」と「ワイルドカード予測」をONにしている場合に利用できます。

例：「東京都」を入力する場合

1 キーボード表示中に「と」「う」を入力

2 ➡ を4回タップ

- 入力欄に「とう○○○○」が表示され、予測変換候補に「東京都」が表示されます。

読みの文字数を変更する場合

⬅ ／ ➡ をタップします。

3 「東京都」

Samsung keyboard（日本語不可）で入力する

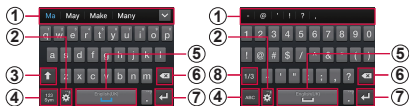
Samsung keyboard（日本語不可）には、「Qwerty keyboard」「3x4 keyboard」の2種類のキーパッドがあります。
キーパッドを切り替えるには、以下の操作を行います。

- 日本語は入力できません。

1 キーボード表示中に ⚙

2 「Portrait keyboard types」→「Qwerty keyboard」／「3x4 keyboard」

■ Qwerty keyboard

パソコンのキーボードと同じ配列のキーパッドです。

半角英字入力　　半角数字·記号入力

① 「Predictive text」をONに設定すると入力候補が表示され、候補をタップすると文字を入力できます。
- ⌄ をタップすると、予測変換候補／通常変換候補を全画面表示できます。⌃ をタップすると、元の表示に戻ります。
- 操作状況によっては、記号の一覧が表示されます。

② 表示されているキーの操作を実行します。
- ロングタッチすると次のアイコンメニューが表示されます。キーの表示は、選択したアイコンメニューにより異なります。
  - ：音声入力に切り替える
  - ：手書き入力キーボードに切り替える
  - ：クリップボードを表示してテキストなどの貼り付け
  - ⚙：Samsung keyboard（日本語不可）の設定メニューを表示

③ 大文字と小文字を切り替えます。
- ：すべて小文字入力
- ：頭文字を大文字入力
- ：すべて大文字入力

④ 入力モードを半角英字入力／半角数字・記号入力に切り替えます。

⑤ スペースを入力します。
- 「Input language」(P.98) で複数の入力言語を設定している場合、半角英字入力のときにキー上を左右にドラッグすると、入力言語を切り替えられます。

⑥ カーソルの左側にある文字や記号などを削除します。

⑦ 改行します。
- Next が表示されている場合は、タップすると次の入力欄にカーソルを移動します。
- Go、 が表示されている場合は、タップすると検索などの操作を行います。

⑧ 半角数字・記号／顔文字を切り替えます。

お知らせ

- ドコモ文字編集には、モバイルネットワークでの接続が必要です。Wi-Fi接続ではご利用になれない場合があります。

■ 3x4 keyboard

一般の携帯電話のような入力方法（マルチタップ方式）のキーパッドです。

入力したい文字が割り当てられているキーを、文字が入力されるまで数回タップします。

- 数字入力、記号入力の場合は、キーを1回タップすると数字や記号を入力できます。
- 「Predictive text」をONにして半角英字を入力する場合は、入力したい文字が割り当てられたキーを1文字ごとにタップすると、予測変換候補に単語が表示されます。

半角英字入力　　半角数字入力

半角記号入力

① 「Predictive text」をONに設定すると入力候補が表示され、候補をタップすると文字を入力できます。
- をタップすると、予測変換候補／通常変換候補を全画面表示できます。をタップすると、元の表示に戻ります。
- 操作状況によっては、記号の一覧が表示されます。

② スペースを入力します。
- 「Input language」（P.98）で複数の入力言語を設定している場合、半角英字入力のときにキー上を左右にドラッグすると、入力言語を切り替えられます。

③ 入力モードを半角英字入力／半角数字入力／半角記号入力に切り替えます。

④ カーソルの左側にある文字や記号などを削除します。

⑤ 改行します。
- Next が表示されている場合は、タップすると次の入力欄にカーソルを移動します。
- Go 、 🔍 が表示されている場合は、タップすると検索などの操作を行います。

⑥ 大文字と小文字を切り替えます。
- ⬆：すべて小文字入力
- ⬆：頭文字を大文字入力
- ⬆：すべて大文字入力

⑦ 表示されているキーの操作を実行します。
- ロングタッチすると次のアイコンメニューが表示されます。キーの表示は、選択したアイコンメニューにより異なります。

  🎤：音声入力に切り替える
  T⁄：手書き入力キーボードに切り替える
  📋：クリップボードを表示してテキストなどの貼り付け
  ⚙：Samsung keyboard（日本語不可）の設定メニューを表示

⑧ 半角記号／顔文字を切り替えます。

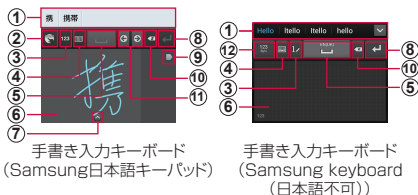
お知らせ

- ドコモ文字編集には、モバイルネットワークでの接続が必要です。Wi-Fi接続ではご利用になれない場合があります。

手書き入力キーボードで入力する

Samsung日本語キーパッドまたはSamsung keyboard（日本語不可）で ⚙ をロングタッチし、 をタップすると、手書き入力キーボードが表示されます。

- Samsung keyboard（日本語不可）から手書き入力キーボードを表示した場合は、日本語を入力できません。

手書き入力キーボード（Samsung日本語キーパッド）　手書き入力キーボード（Samsung keyboard（日本語不可））

① 入力候補が表示されます。候補をタップすると文字を入力できます。

② メニューを表示し、文字入力モードの切り替えや、mazec-T for SAMSUNGの設定（P.102）ができます。

③ 入力モードを切り替えます。

④ Samsung日本語キーパッドまたはSamsung keyboard（日本語不可）に切り替えます。

- Samsung keyboard（日本語不可）から手書き入力キーボードを表示した場合は、ロングタッチすると次のアイコンメニューが表示されます。キーの表示は、選択したアイコンメニューにより異なります。

  🎤：音声入力に切り替える
  ⌨：Samsung keyboard（日本語不可）に切り替える
  📋：クリップボードを表示してテキストなどの貼り付け
  ⚙：Samsung keyboard（日本語不可）の設定メニューを表示

⑤ スペースを入力します。
- Samsung keyboard(日本語不可)から手書き入力キーボードを表示した場合は、「Input language」(P.98)で複数の入力言語を設定していると、キー上を左右にドラッグして入力言語を切り替えられます。

⑥ 入力エリア上をドラッグして文字を入力できます。

⑦ 手書きした文字に近いと認識された文字の一覧を表示します。文字を選択すると、入力候補が変更されます。

⑧ 改行します。

⑨ 次の文字を入力するときや、入力済みの文字を表示するときにタップします。

⑩ 入力した文字を削除します。
- Samsung日本語キーパッドから手書き入力キーボードを表示した場合は、タップするごとに入力エリアの表示中の文字を一筆ずつ削除できます。ロングタッチして［A］／［All］を選択すると、入力エリアの最後に入力した文字／入力エリアのすべての文字を削除できます。

⑪ カーソルを左右に移動します。

⑫ 半角数字・記号／顔文字の一覧を表示します。

文字列を選択／コピー／切り取り／貼り付ける

1 キーボード表示中に入力した文字列をロングタッチ

- ／ や ／ などが表示されます。／ または ／ などをドラッグすると、カーソルを移動できます。

2 利用するアイコンをタップ

アイコン	説明
／	入力したすべての文字を選択します。
／	選択した文字列を切り取ります。
／	選択した文字列をコピーします。
／	コピーした／切り取った文字列を貼り付けます。
	「クリップボード」をタップすると、クリップボードを表示します。

お知らせ

- 画面を横向きにした場合は、表示が異なる場合があります。
- アプリケーションによっては、本機能を利用できない場合や、利用できない機能がある場合があります。また、アイコンの表示が異なる場合や、手順2以外のアイコンが表示される場合があります。
- 文字入力欄で文字が入力されていないエリアをロングタッチするとメニューが表示され、「貼り付け」「クリップボード」を利用できます（アプリケーションによっては利用できない場合があります）。

文字入力／変換機能を設定する

■ Samsung日本語キーパッドの設定を行う

Samsung日本語キーパッドを利用して文字を入力する際の入力動作の設定や、ユーザー辞書の登録などができます。

1 ホーム画面で [メニュー] →「本体設定」→「言語と文字入力」→「Samsung日本語キーパッド」の [設定]

2 設定したい項目をタップ

項目		説明
キーボード設定（共通）	キー操作音	キーをタップしたとき、タップ音を鳴らすかどうかを設定します。
	キー操作バイブ	キーをタップしたとき、本端末を振動させるかどうかを設定します。
	キーポップアップ	キーをタップしたとき、入力する文字をポップアップ表示させるかどうかを設定します。
	自動大文字変換	英字を入力したとき、文頭の文字を自動的に大文字にするかどうかを設定します。
	キーボードタイプ	キーボードのタイプを設定します。
	キーサイズ	画面の向きごとにキーボードの高さを設定します。
	音声入力	音声での文字入力を「ドコモ音声入力」「Google音声入力」「使用しない」から選択します。
	手書き入力	手書きで文字を入力できるようにするかどうかを設定します。

項目		説明
キーボード設定（共通）	片手操作	片手操作用に、キーボードの位置調整を行うかを設定します。
テンキー設定	フリック入力	キーボードを「テンキー」にして入力する際、フリック方式で文字を入力できるようにするかどうかを設定します。ONにすると、キーに触れたとき、入力できる文字が表示されたキーポップアップが表示され、入力したい文字が表示された方向にフリックすると文字を入力できます（入力モードがひらがな漢字、全角カタカナ、半角カタカナの場合に使用できます）。
	フリック感度（低⇔高）	フリック方式で文字を入力する際のフリック感度を調整します。
	トグル入力	フリック方式で文字を入力する際にトグル入力できるようにするかどうかを設定します。
	自動カーソル移動	自動カーソル移動の速度を設定します。

項目		説明
変換設定	候補学習	変換で確定した語句を学習辞書に保存させるかどうかを設定します。
	予測変換	予測変換をONにするかどうかを設定します。
	入力ミス補正※	入力を間違えたとき、変換候補に修正候補を表示させるかどうかを設定します。
	ワイルドカード予測※	ワイルドカード予測（P.86）を利用するかどうかを設定します。
	自動スペース入力	英文入力時に候補を選択すると、スペースを自動的に入力するかどうかを設定します。
	候補表示行数	候補表示の行数を設定します。
外部アプリ連携	マッシュルーム	マッシュルームの拡張を使用するかどうかを設定します。
辞書	日本語ユーザー辞書	日本語ユーザー辞書に単語などを登録／編集します。
	英語ユーザー辞書	英語ユーザー辞書に単語などを登録／編集します。
	学習辞書リセット	学習辞書の内容をすべて削除します。

項目		説明
IMEについて	iWnn IME for Samsung	Samsung日本語キーパッドのバージョンを確認します。

※「予測変換」がOFFの場合は設定できません。

■ Samsung keyboard（日本語不可）の設定を行う

Samsung keyboard（日本語不可）を利用して文字を入力する際の入力動作の設定などができます。

1 **ホーム画面で →「本体設定」→「言語と文字入力」→「Samsung keyboard（日本語不可）」の**

2 **設定したい項目をタップ**

項目	説明
Portrait keyboard types	キーパッドの種類を切り替えます。
Input language	入力言語を設定します。
Predictive text	Predictive textのON／OFFを設定します。
Continuous input※1	キーボード上の入力したいキーをドラッグして、文字を続けて入力できるようにするかどうかを設定します。

項目	説明
Keyboard swipe	Qwerty keyboard／3x4 keyboardを利用していると き、キーパッド上を左右にフリックして文字入力モードを切り替えられるようにするかどうかを設定します。
Handwriting	手書き入力のON／OFFを設定します。
Voice input※2	音声で文字を入力できるようにするかどうかを設定します。
Auto capitalization	文頭の文字を自動的に大文字にするかどうかを設定します。
Auto-punctuate	Qwerty keyboardを利用しているとき、スペースキーを2回タップしてピリオドを入力できるようにするかどうかを設定します。
Character preview	Qwerty keyboardを利用しているとき、文字のプレビュー機能を設定します。
Key-tap vibration	キーをタップしたときに振動させるかどうかを設定します。

項目	説明
Key-tap sound	キーをタップしたときにタップ音を鳴らすかどうかを設定します。
Tutorial	Samsung keyboard（日本語不可）のチュートリアルを表示して、使いかたを確認します。
Reset settings	設定を初期化します。

※1 「Predictive text」がOFFの場合は設定できません。
※2 「Google音声入力」（P.281）にチェックが付いている場合に設定できます。

お知らせ

- Samsung keyboard（日本語不可）のチュートリアルは英語で表示されます。

■Google音声入力の設定を行う

1 ホーム画面で [メニュー] →「本体設定」→「言語と文字入力」→「Google音声入力」の [設定]

2 設定したい項目をタップ

項目	説明
入力言語を選択	音声で入力する言語を選択します。

項目	説明
不適切な語句をブロック	音声入力で認識した不適切なテキストを表示しないようにするかどうかを設定します。
オフライン音声認識のダウンロード	オフライン時に音声入力を利用できるようにダウンロードします。

ドコモ文字編集設定を行う

1 **ホーム画面で ▭ →「本体設定」→「言語と文字入力」→「ドコモ文字編集」の ⚙**

2 **設定したい項目をタップ**

項目		説明
キー操作設定	キー操作音	キーを押したときに音を鳴らすかどうかを設定します。
	キー操作バイブ	キーを押したときに振動で知らせるかどうかを設定します。
	キーポップアップ	入力時に選択したキーを拡大表示するかどうかを設定します。
辞書	学習辞書リセット	学習辞書の内容をすべて消去します。
このアプリについて	アプリ情報	ドコモ文字編集の詳細情報を確認できます。

■ mazec-T for SAMSUNGの設定を行う

1 手書き入力キーボード（Samsung日本語キーパッド）を表示中に [icon] →「設定」

2 設定したい項目をタップ

項目	説明
mazecのガイドを表示	mazec-T for SAMSUNGへ入力切り替えをするときにガイドを表示するかどうかを設定します。
自動スクロール	入力エリアの右端まで文字を書くと自動でスクロールさせるようにするかどうかを設定します。
自動スクロール待ち時間	自動スクロールするまでの時間を設定します。
自動スクロール判定領域幅	自動スクロールを判定する領域の幅を設定します。
全画面入力モード	本端末を横向きにして手書き入力を行う際に、専用の入力画面を表示するかどうかを設定します。
書き流しの自動入力	書き流し入力時にストロークを自動確定させるかどうかを設定します。
書き流しの自動入力待ち時間※	書き流し入力時にストロークを自動確定させるまでの時間を設定します。
単語登録	単語などを登録／編集します。

項目	説明
単語一覧	登録した単語などの一覧を表示します。
自動学習した変換候補をクリア	自動学習した変換候補をすべて削除します。
ヘルプ	mazec-T for SAMSUNGのヘルプを表示します。
7notes+mazecでもっと便利に	手書き入力アプリである「mazec」と、メモ作成アプリである「7notes」を一緒に使うメリットなどを表示します。
mazec-T for SAMSUNG	mazec-T for SAMSUNGのバージョンを確認します。
著作権情報	著作権情報を表示します。
ソフトウェアライセンス契約書	ソフトウェアライセンス契約書を表示します。

※「書き流しの自動入力」がOFFの場合は設定できません。

初期設定

お買い上げ後、初めて本端末の電源を入れた場合は、画面の指示に従って使用する言語やSamsungアカウント、Googleアカウントの設定、Googleの位置情報の設定、およびドコモサービスの初期設定を行います。
ネットワークとの接続や設定の省略などによっては手順が異なる場合があります。

1 「次へ」
- 言語を変更する場合は、「日本語」→ 使用する言語をタップします。
- ユーザー補助設定を変更する場合は、「ユーザー補助」→ ユーザー補助を設定します。

2 Samsungアカウントを設定
- 「スキップ」をタップすると、後でアカウントをセットアップすることができます。

■ **インターネットに接続されていない場合**
画面の指示に従ってWi-Fiを設定（P.233）してSamsungアカウントを設定するか、後で設定を行う操作をしてください。

3 Googleアカウントを設定
- 既にアカウントを持っている場合は「はい」を、アカウントを持っていない場合は「いいえ」をタップします。

4 Google+に参加するかどうか設定

5 Google Playで購入可能にするかどうかを設定

6 Googleアカウントを使用して、復元やバックアップを行うかどうかを設定 → ▶

7 Google位置情報の利用を許可するかどうかを設定 → ▶

- 携帯端末の所有者の入力画面が表示された場合は、画面の指示に従って操作してください。

8 ホーム選択画面で「docomo Palette UI」→「次へ」

- 「TouchWiz標準モード」または「TouchWizかんたんモード」を選択すると、Samsungが提供するホームを利用できます。
- ホーム画面で「ホーム切替」をタップして、ホームを変更できます。

9「完了」

- 続けてドコモサービスの初期設定を行います。

10「進む」

- アプリ一括インストールの画面が表示されます。
- 「今すぐインストール」を選択すると、すでにご契約されているサービスのアプリのインストールを行います。インストールしない場合は、「後でインストール」を選択します。

11「進む」

- おサイフケータイを利用するための初期設定画面が表示されます。
- 「設定する」を選択した場合は、「進む」をタップし、画面の指示に従って操作してください。

12「進む」

- ドコモアプリパスワードの設定画面が表示されます。

13 ドコモアプリパスワードを設定

- 「設定する」を選択した場合は、ドコモアプリパスワードを入力します。

14 「進む」

- 位置提供設定の画面が表示されます。
- 「位置提供ON」を選択すると位置情報の送信を許可します。
- 「位置提供OFF」を選択すると位置情報の送信を拒否します。
- 「電話帳登録外拒否」を選択すると電話帳に登録していない相手には居場所は送信されません。

15 「進む」→「OK」

通知LED

画面の表示が消えている状態で、不在着信などの通知があるときや、充電しているときなどに、通知LEDが点灯／点滅して通知や本端末の状態をお知らせします。

動作	説明
赤で点灯※	充電中
緑で点灯	充電完了
赤で点滅※	電池残量が残りわずか
青で点滅※（約５秒間隔）	不在着信や新着メールなどの通知あり
青で点滅※（約１秒間隔）	録音中
青と水色で交互に点灯	電源を入れて起動中／電源を切ってシャットダウン中

※「LEDインジケーター」（P.259）で通知LEDを動作させるかどうかを設定できます。

お知らせ

- 充電中に通知がある場合は、通知をお知らせする動作（青で点滅）が優先されます。

画面表示／アイコン

ディスプレイ上部のステータスバーには、本端末の状態や通知情報などを示すアイコンが表示されます。ステータスバーの左側に通知アイコンが表示され、右側にステータスアイコンが表示されます。

ステータスバー

主な通知アイコン

通知アイコン	
	着信中
	不在着信あり
	新着Gmailあり
	新着Eメールあり
	新着SMSあり
	SMSの送達通知あり
	SMSの配信に問題あり
talk	新着インスタントメッセージあり
	データダウンロード中／完了
	データアップロード中／完了

通知アイコン	
	留守番電話サービスの伝言メッセージあり
	アラームあり
	スケジュールなどのアラームあり
／	バックグラウンドで音楽再生中／一時停止中
	microSDカードのスキャン中
	microSDカードのマウント解除中
	USB接続中
	エラーメッセージあり
	GPS機能現在地測位中（中心の丸が点滅）
	USBテザリング機能ON
	Wi-Fiテザリング機能ON
	USBテザリング機能とWi-Fiテザリング機能を同時にON
	ドコモminiUIMカード未挿入状態
	Samsung Appsからインストール済みアプリケーションのアップデートあり
	ステレオヘッドセット接続中
	ソフトウェア更新の設定／確認中

通知アイコン	
	dマーケットに更新可能なアプリケーションあり
	Google Playに更新可能なアプリケーションあり／アプリケーションのインストール完了
	非表示の通知情報あり
	VPN接続中
	スクリーンキャプチャで保存した画像あり
	使用可能なWi-Fiオープンネットワークあり
	キーボード表示中
	本端末のメモリの空き容量低下
	ワンセグ視聴中／録画中
	おまかせロック設定中

主なステータスアイコン

ステータスアイコン	
⇔ （弱⇔強）	電波状態
⇔ （弱⇔強）	電波状態（国際ローミング中）
	圏外
	機内モード設定中
／	LTEネットワーク使用可能／通信中 （待機中はグレー、受信中は左矢印が橙色、送信中は右矢印が緑色）
／	3Gネットワーク使用可能／通信中 （待機中はグレー、受信中は左矢印が橙色、送信中は右矢印が緑色）
／	FOMAハイスピード／HSDPAネットワーク使用可能／通信中 （待機中はグレー、受信中は左矢印が橙色、送信中は右矢印が緑色）
／	GPRSネットワーク使用可能／通信中 （待機中はグレー、受信中は左矢印が橙色、送信中は右矢印が緑色）
／	Wi-Fiネットワーク使用可能／通信中 （待機中はグレー、受信中は左矢印が橙色、送信中は右矢印が緑色）

ステータスアイコン	
	Bluetooth機能ON
	Bluetoothデバイスと接続中
	マナーモード（バイブ）設定中
	マナーモード（サイレント）設定中
	アラーム設定中
	ハンズフリー通話中
⇔ （低⇔高）	電池レベル
	充電中
	Wi-Fi Direct接続中

通知パネルについて

ステータスバーを下方向にスクロールすると通知パネルが表示され、アイコンをタップして機能を設定したり、通知情報などを確認したりすることができます。

通知パネルの表示内容（表示例）

① 各種機能のON ／ OFFを切り替えます。左右にドラッグすると、表示されていないアイコンを表示できます。

- Wi-Fi：→ P.233
- GPS：→ P.374
- サウンド：→ P.254
- 画面回転：→ P.79
- Bluetooth：→ P.238
- モバイルデータ：データ通信のON ／ OFFを切り替えます。OFFにすると、モバイルネットワークによるデータ通信ができなくなります。

- ブロックモード：→ P.251
- 省電力：→ P.262
- AllShare Cast：AllShare CastのON ／ OFFを切り替えます。
- マルチウィンドウ：→ P.123

② ディスプレイの明るさを調整します（P.260）。

③ 進行中情報や通知情報が表示されます。

④ 上方向にスクロールすると通知パネルを閉じます。

⑤ タップすると、設定メニューが表示されます（P.229）。

⑥ タップすると通知情報とステータスバーの通知アイコンの表示を消去できます。
- 通知情報の種類によっては、消去できない場合もあります。

⑦ 接続中のネットワークの通信事業者名とドコモminiUIMカードから読み取った事業者名が表示されます。

お知らせ

- ①のアイコンは、ONに設定されている場合は緑色で表示されます。
- 「通知パネル」（P.257）で通知パネルに表示する項目をカスタマイズできます。また、通知パネルで画面の明るさを調整するかどうかを設定できます。

クイック検索ボックスを使用する

入力した文字が含まれる情報を本端末内やインターネットから検索できます。

1 ホーム画面でクイック検索ボックスをタップ

クイック検索ボックス

① 入力した文字が表示されます。
② 入力中の文字を含む本端末内の情報や検索候補が表示されます。
③ タップすると音声で検索したい語句を入力できます（ウェブ検索のみ）。
④ 文字入力後にタップすると、入力した文字が全部消去されます。

お知らせ

- （ホームキー）を1秒以上押す → 8 をタップしたり、ホーム画面で ⠿ →「Google」をタップしても起動できます。
- 音声入力には、モバイルネットワークでの接続が必要です。Wi-Fi接続ではご利用になれない場合があります。

Googleのメニュー

Google画面で [≡] をタップすると以下の項目が表示されます。

項目			説明
設定	Google Now※		→ P.118
	音声	言語	音声で入力する言語を選択します。
		音声出力	音声出力を常時するかハンズフリーのときのみするかを設定します。
		不適切な語句をブロック	音声入力で認識した不適切なテキストを表示しないようにするかどうかを設定します。
		オフライン音声認識のダウンロード	オフライン時に音声入力を利用できるようにダウンロードします。
	端末内検索		端末内で検索する情報の対象を選択します。
	プライバシーとアカウント	Googleアカウント	Googleアカウントを設定していない場合のみ表示されます。
		現在地設定の管理	現在地情報をGoogleマップで設定します。

項目			説明
設定	プライバシーとアカウント	Location services	位置情報の取得方法と利用方法を設定します。
		最近の検索の表示	設定したGoogleアカウントのウェブ履歴を候補に表示するかどうかを設定します。
		ウェブ履歴の管理	「最近の検索の表示」にチェックを付けた場合に表示され、検索履歴を消去したりします。
		端末上の検索履歴を消去する	検索履歴を消去します。
		google.comで検索	ローカルドメイン（http://www.google.com）を使用して検索するかどうかを設定します。
		法的事項	利用規約、プライバシーポリシー、法的通知、オープンソースライセンスを表示します。
更新			Google Nowを更新します。
フィードバックを送信			フィードバックを送信します。
ヘルプ			Google検索の使いかたに関する説明を表示します。

※ Googleアカウントを設定している場合のみ表示されます。

Google Nowを設定する

Google Nowを利用するかどうかを設定します。Google Nowを利用すると、選択したカードの情報がクイック検索で表示されます。

1 ホーム画面でクイック検索ボックスをタップ → [メニュー] → 「設定」 → 「Google Now」

- 「Google Nowを知る」画面が表示された場合は、画面に従って「次へ」をタップしてください。

2 「利用します。」 → 「サンプルカードを表示」 → 設定したい項目の「設定」をタップ

3 カードを表示する条件や通知などを設定

- カードごとに「ON」／「OFF」をタップして表示／非表示することができます。

最近使用したアプリケーションの一覧

1 [ホーム] を1秒以上押す

- アプリケーションのサムネイルをタップすると、アプリケーションを起動できます。
- [タスクマネージャー] をタップすると、タスクマネージャー（P.119）を起動できます。
- [削除] をタップすると、一覧をすべて削除できます。
- サムネイルを左右にスクロール／フリックすると、一覧から削除できます。

起動中のアプリケーションを確認／終了する

1 ［ ］を1秒以上押す → ［ ］

タスクマネージャー画面

① **タブ**
「起動中のアプリ」：起動中のアプリケーションの一覧が表示されます。
「ダウンロード」：インストールしたアプリケーションの一覧とメモリ使用状況を確認します。「削除」→「OK」をタップすると、アプリケーションをアンインストールします。
「RAM」：RAMの使用状況を確認します。「メモリを消去」をタップすると、RAMの内容を消去します。
「ストレージ」：各種メモリの使用状況を確認します。
「ヘルプ」：電池パックの使用時間を延ばすための本端末の使用方法や、RAMマネージャーについての説明が表示されます。

② **起動中のアプリケーションの件数**
「全て終了」をタップすると、起動中のアプリケーションをすべて終了します。

③ **起動中のアプリケーション一覧**
「終了」をタップすると、アプリケーションを終了します。
CPU使用率により、文字の色が変わります。使用率が高いと赤く表示されます。

お知らせ

- 「起動中のアプリ」タブ、「ダウンロード」タブは、[メニューキー] →「ソート」をタップすると、一覧の表示順を選択できます。
- 複数のアプリケーションが起動されていると、電池の消費量が増えて使用時間が短くなることがあります。このため使用しないアプリケーションを終了することをおすすめします。

docomo Palette UI

ホーム画面の見かた

ホーム画面の表示内容（表示例）
「ひつじのしつじくん®」
©NTT DOCOMO

① **ホーム画面の現在の位置を表示します。ホーム画面を左右にスクロール／フリックして切り替えられます。**

② **ウィジェット（例：検索、iチャネルウィジェット）**
- タップして、ウィジェット（ホーム画面に配置するアプリケーション）の起動や操作を行います。

③ マルチウィンドウ

- 主なアプリケーションのアイコン一覧を、どの画面からでも呼び出すことができます。
- 「編集」をタップすると、マルチウィンドウに表示させるアイコンの追加・削除ができます。
- [戻る] を長押しすると、マルチウィンドウのタブが表示されます。このタブをタップすると、マルチウィンドウのアイコン一覧が表示されます。
- [戻る] を再度長押しすると、マルチウィンドウのタブを非表示にすることができます。

④ マチキャラ（例：ひつじのしつじくん）

- メール受信や着信などの情報をお知らせします。

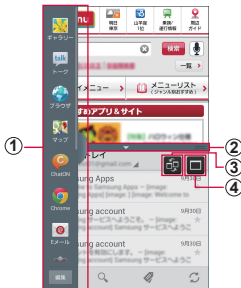
⑤ ショートカット

- タップして、よく使うアプリケーションなどを起動できます。

⑥ ホーム画面を切り替えても常に表示されます。

- [アプリ] 以外のアイコンは、ショートカット、フォルダ、グループを配置できます。

マルチウィンドウで表示する

アプリケーションを起動している状態で、マルチウィンドウからアイコンをドラッグすると別々の画面で2つのアプリケーションを同時に表示することができます。

マルチウィンドウ

① **マルチウィンドウのアイコン一覧**
- アプリケーションをアイコン一覧から表示したい位置へドラッグします。

② **マルチウィンドウバー**
- バーを移動させて表示領域を調整します。

③ **画面切り替えボタン**※
- 2画面に表示したときに、上下を切り替えます。

④ **全画面表示ボタン**※
- 全画面表示に戻ります。

※ マルチウィンドウバーをタップすると表示されます。

ホーム画面の管理

ホーム画面に追加できるもの

ホーム画面にショートカットやウィジェット、フォルダ、アプリケーショングループなどを追加することができます。

ショートカットを追加する

1 ホーム画面でショートカットやウィジェットのない壁紙部分をロングタッチ

2 「ショートカット」→ ホーム画面に追加したい項目をタップ

ウィジェットを追加する

1 ホーム画面でショートカットやウィジェットのない壁紙部分をロングタッチ

2 「ウィジェット」→ ホーム画面に追加したい項目をタップ

アイコン	ウィジェット	説明
	アラーム	アラームを設定します。
	おすすめのコンテンツを楽しむ	Google Playのおすすめのコンテンツの情報を表示します。
	お気に入りのアプリ	お気に入りのアプリ一覧を表示します。

アイコン	ウィジェット	説明
	お気に入りの連絡先	選択した連絡先を表示します。電話の発信やメールの送信などができます。
	お気に入りの連絡先	
	お気に入り設定	お気に入りの設定を表示します。
	カテゴリナビ	グルメやショッピングなどのジャンルごとに検索できます。
	カレンダー	カレンダーを表示します。
	キーパッド	Samsungが提供する「ダイヤル」アプリのキーパッドを表示します。
	シンプルアラーム	アラームを設定します。
	スケジュール&メモ	カレンダーを表示し、スケジュールの確認やメモの作成などができます。
	ソフトウェア更新	ソフトウェア更新を確認・実行します。
	デュアル時計（アナログ）	アナログ時計を表示します。
	デュアル時計（デジタル）	デジタル時計を表示します。
	デュアル時計（デジタル）	
	ドコモ位置情報	位置情報を利用したサービスの設定ができます。

アイコン	ウィジェット	説明
	パーソナルエリア	マイメニューやドコモポイント、契約サービスの確認、料金の確認ができる個人情報を表示します。
	ピクチャフレーム	写真を表示します。
	ブックマーク	Chromeのブックマークを表示します。
	マチキャラ	ホーム画面上を自由に動き回るキャラクターを設定し、「調べたいこと」や「やりたいこと」などを端末に話しかけると、その言葉の意図を読み取り、最適な回答を表示します。
	Contents Headline	dマーケットにあるオススメの音楽、動画、電子書籍などを表示します。
	docomo Wi-Fiかんたん接続	ワンタッチでドコモの公衆無線LANサービス「docomo Wi-Fi」もしくは自宅のWi-Fi環境への接続／切断ができます。
	Eメール	Eメールの受信トレイの一部を表示します。
	Gmail	Gmailの受信トレイなどの一部を表示します。
	Google+投稿	撮影した写真などをGoogle+にアップロードします。

アイコン	ウィジェット	説明
	Google検索	クイック検索を表示します。 ※ ご利用中のホーム画面に適したデザインのウィジェットを選択してください。
	Google検索	
	iチャネルウィジェット	天気やニュースなど様々な情報を表示します。
	ICタグ・バーコードリーダー	ICタグとバーコードを読み取ります。
	Playストア	おすすめのアプリを表示します。
	S Suggest	最新アプリケーションを確認・ダウンロードできます。
	Sブックマーク	本端末内やGoogleアカウントに保存したブックマークを選択してウェブページを閲覧できます。
	Sメモ	テキスト入力や手書きのメモを作成できます。
	SMS	SMSを作成・送信できます。
	TheNewsCafe	ニュースを表示します。
	YouTube	おすすめ動画を表示します。
	音楽	音楽を再生します。
	交通状況	現在地から目的地までの交通状況や所要時間を表示します。 ※ 海外の一部の地域でご使用になれます。

アイコン	ウィジェット	説明
	再生ーマイライブラリ	Google Play で購入したアプリ、書籍、映画を表示します。
	時計（デジタル）	時計を表示します。
	時計（デジタル）	
	時計（ファンキー）	
	時計（モダン）	
	診断ツール	診断ツールを起動します。
	電話帳	ドコモが提供する「電話帳」アプリに登録した連絡先をホーム画面に配置し、電話の発信やメールの送信などができます。
	電話帳ピックアップ メンバー	ドコモが提供する「電話帳」アプリに登録した連絡先の発着信履歴などを表示します。
	動画	動画の一覧を表示します。
	補助ライト	ライトを点けます。
	連絡先	Samsungが提供する「連絡先」アプリに登録した連絡先をホーム画面に配置し、電話の発信やメールの送信などができます。

お知らせ

- ホーム画面を「TouchWiz標準モード」または「TouchWizかんたんモード」に設定している場合は、利用できるウィジェットが異なります。また、ウィジェットのアイコンが異なる場合があります。

フォルダを追加する

1 **ホーム画面でショートカットやウィジェットのない壁紙部分をロングタッチ →「フォルダ」**

お知らせ

- フォルダを削除するには、フォルダをロングタッチ →「削除」をタップします。

ショートカットなどの移動

1 ホーム画面で、移動したいショートカットやウィジェットをロングタッチ

2 移動したい位置までドラッグして離す

ショートカットなどをホーム画面から削除

1 ホーム画面で、削除したいショートカットやウィジェットをロングタッチ

2 「削除」

- 削除したいショートカットやウィジェットをロングタッチ → そのまま画面左下の までドラッグして離しても削除できます。

アプリケーションやウィジェットのアンインストール

1 ホーム画面で、アンインストールしたいアプリケーションやウィジェットをロングタッチ

2 「アンインストール」→「OK」

- アンインストール完了の画面が表示されます。

3 「OK」

フォルダ名の変更

1 ホーム画面で、名前を変更したいフォルダをロングタッチ

2 「名称変更」→ フォルダ名を入力 →「OK」

お知らせ

- フォルダを開いてフォルダ名をタッチしても名称変更できます。

きせかえの変更

壁紙やアプリケーション一覧画面を一括設定できる機能です。

1 ホーム画面でショートカットやウィジェットのない壁紙部分をロングタッチ →「きせかえ」

- きせかえ設定画面が表示されます。

2 設定するテーマを選択 →「設定する」

お知らせ

- ホーム画面で [メニュー] →「きせかえ」をタップしても変更できます。
- きせかえサイトからダウンロードするには、きせかえ設定画面で「サイトから探す」をタップしてください。コンテンツをダウンロードすると、ステータスバーに [アイコン] が表示されます。
- ダウンロードしたきせかえテーマを削除するには、きせかえ設定画面で削除したいテーマを選択→「削除」→「削除する」をタップします。プリインストールされているきせかえテーマは、削除できません。

壁紙の変更

ホーム画面の壁紙を自分好みに変更できます。

1 **ホーム画面でショートカットやウィジェットのない壁紙部分をロングタッチ →「壁紙」**

2 **「ギャラリー」／「ライブ壁紙」／「壁紙」→ 壁紙を選択**

- ギャラリーの場合、壁紙を選択して「完了」をタップします。サイズの変更が必要な場合は、青枠をドラッグしてサイズを変更し、「完了」をタップします。
- ライブ壁紙または壁紙の場合、壁紙を選択して「壁紙に設定」をタップします。また、ライブ壁紙の種類によっては「設定」をタップして、壁紙の設定変更を行うことができます。

お知らせ

- ホーム画面で [メニュー] →「壁紙ループ設定」→「壁紙のループ」にチェックを付けると、ホーム画面を左右にスクロール／フリックして切り替えたとき、壁紙がループ表示されます。

ホーム画面の追加

1 **ホーム画面でショートカットやウィジェットのない壁紙部分をロングタッチ →「ホーム画面一覧」**

- ホーム画面で２本の指の間隔を狭めてもホーム画面一覧が表示されます。

2 **[+] をタップ**

- 最大12枚までホーム画面を追加できます。

ホーム画面の並べ替え

1 **ホーム画面でショートカットやウィジェットのない壁紙部分をロングタッチ →「ホーム画面一覧」**

- ホーム画面で２本の指の間隔を狭めてもホーム画面一覧が表示されます。

2 **ホーム画面のサムネイルをロングタッチ**

3 **移動したい位置までドラッグして離す**

ホーム画面の削除

1 **ホーム画面でショートカットやウィジェットのない壁紙部分をロングタッチ →「ホーム画面一覧」**

- ホーム画面で２本の指の間隔を狭めてもホーム画面一覧が表示されます。

2 **削除したいホーム画面のサムネイルをロングタッチ →「削除」**

- 削除したいホーム画面のサムネイルの をタップしても、ホーム画面を削除できます。
- 削除するホーム画面上にショートカットやウィジェットがある場合は、削除の確認画面が表示されます。「ＯＫ」をタップするとホーム画面が削除されます。

アプリケーション画面の見かた

1 ホーム画面で ⊞

- アプリケーション画面が表示されます。

アプリケーション一覧画面の表示内容（表示例）

① ⊞／おすすめタブ

- アプリケーション一覧画面／おすすめアプリ一覧画面を表示します。
- おすすめタブでは、ドコモのおすすめアプリが表示されます。

② グループラベル

- グループ別にアプリケーションを管理できます。
- タップして、グループにあるアプリケーションを表示／非表示します。
- 右側の数字は、グループ内にあるアプリケーションの数を表示します。

③ アプリケーション
- 新規にアプリケーションをダウンロードした場合や既存のアプリケーションが更新された場合、アプリケーションアイコンの左上に ✦ が表示されます。

アプリケーション一覧

一部のアプリケーションの使用には、別途お申し込み（有料）が必要となるものがあります。

タブ内のアプリケーション

■ ドコモサービス

アイコン	アプリケーション	説明
	dメニュー	iモードで利用できたコンテンツをはじめ、スマートフォンならではの楽しく便利なコンテンツを簡単に探せる「dメニュー」へのショートカットアプリです。
	dマーケット	dマーケットを起動するアプリです。dマーケットでは、音楽や動画、書籍などのコンテンツを購入することができます。また、Google Play上のアプリを紹介しています。
	iチャネル	iチャネルを利用するためのアプリです。

アイコン	アプリケーション	説明
	i コンシェル	i コンシェルを利用するためのアプリです。 i コンシェルは、ケータイがまるで「執事」や「コンシェルジュ」のように、あなたの生活をサポートしてくれるサービスです。
	しゃべってコンシェル	「調べたいこと」や「やりたいこと」などを端末に話しかけると、その言葉の意図を読み取り、最適な回答を表示するアプリです。
	ドコモバックアップ	「ケータイデータお預かりサービス」、「電話帳バックアップ」もしくは「SDカードバックアップ」をご利用いただくためのアプリです。電話帳などのデータをバックアップしたり、復元したりすることができます。ドコモバックアップ（microSDカードへ保存）の内容についてはP.394をご覧ください。
	docomo Wi-Fiかんたん接続	ドコモの公衆無線LANサービス「docomo Wi-Fi」もしくは自宅のWi-Fi環境を便利に利用するためのアプリです。ウィジェットによりWi-Fiエリア内では、ワンタッチでWi-Fiへの接続／切断ができます。

■ 基本機能／設定

アイコン	アプリケーション	説明
	電話	ドコモが提供する「電話」アプリを利用して、電話の発着信や履歴の確認などを行います。
	電話帳	ドコモが提供する「電話帳」アプリを利用して、連絡先の管理を行います。
	spモードメール	ドコモのメールアドレス（@docomo.ne.jp）を利用して、メールの送受信ができます。絵文字、デコメール®の使用が可能で、自動受信にも対応しています（P.188）。
	災害用キット	緊急速報「エリアメール」の受信メール確認と各種設定、災害用伝言板にメッセージの登録や確認などができるアプリです。
	取扱説明書※	本端末の取扱説明書です。説明から使いたい機能を直接起動することもできます。
	設定	本端末の各種設定ができます。

アイコン	アプリケーション	説明
	遠隔サポート	「スマートフォンあんしん遠隔サポート」をご利用いただくためのアプリです。「スマートフォンあんしん遠隔サポート」はお客様がお使いの端末の画面を、専用コールセンタースタッフが遠隔で確認しながら、操作のサポートを行うサービスです。

※ 取扱説明書の再ダウンロードについて詳しくは表紙の裏面をご覧ください。

■ エンタメ／便利ツール

アイコン	アプリケーション	説明
	カメラ	静止画や動画を撮影できます。
	フォトコレクション	写真や動画をクラウドにアップロードして管理・閲覧できます。
	ワンセグ	ワンセグの視聴などができます。
	メディアプレイヤー	音楽や動画を再生することができるアプリです。
	メモ	メモを作成・管理できるアプリです。iコンシェルサービスに対応しています。
	スケジュール	スケジュールを作成・管理できるアプリです。iコンシェルサービスに対応しています。

アイコン	アプリケーション	説明
	ICタグ・バーコードリーダー	ICタグとバーコードを読み取るためのアプリです。
	電卓	計算ができます。
	時計	アラーム、世界時計、ストップウォッチ、タイマー、卓上時計を利用できます。
	おサイフケータイ	本端末を店などの読み取り機にかざすだけでお支払いなどができます。
	iDアプリ	電子マネーiDを利用するための設定を行うアプリです。
	トルカ	トルカの取得・表示・検索・更新などができます。

■ Galaxy

アイコン	アプリケーション	説明
	ダイヤル	Samsungが提供する「ダイヤル」アプリを利用して、電話の発着信を行います。
	連絡先	Samsungが提供する「連絡先」アプリを利用して、連絡先の管理を行います。
	Sメモ	テキスト入力や手書きのメモを作成できます。
	Sプランナー	スケジュールを管理できます。
	Polaris Office 4.0	Office文書の表示・編集・新規作成ができます。
	ボイスレコーダー	音声を録音できます。
	ChatON	グループチャットを楽しむことができるアプリです。
	辞典	辞典を利用して単語などを調べることができます。
	音楽	音楽を再生できます。
	動画	動画を再生できます。
	マイファイル	静止画や動画、音楽などのデータを表示・管理できます。

アイコン	アプリケーション	説明
	S Suggest	Samsungがおすすめする最新アプリケーションを検索・ダウンロードできます。
	Samsung Apps	役に立つアプリケーションのダウンロードや、インストールしたアプリケーションのアップデートができます。
	AllShare Play	インターネット経由でさまざまなデバイスのコンテンツを共有して再生・管理します。
	Group Cast	Wi-Fiを使って画像や音楽などを共有することができます。

■ Google

アイコン	アプリケーション	説明
	Eメール	Eメールアカウントを設定して、Eメールの送受信ができます。
	Gmail	GmailでEメールの送受信ができます。
	SMS	SMSの送受信ができます。
	トーク	Googleトークでチャットができます。
	ブラウザ	ウェブブラウザアプリケーションです。

アイコン	アプリケーション	説明
	Chrome	Googleのウェブブラウザアプリケーションです。
	Google	クイック検索ボックスで各種情報を検索できます。
	音声検索	音声で検索できます。
	ダウンロード	ダウンロード済みやダウンロード中のデータの情報を確認します。
	Playストア	Google Playからアプリケーションをダウンロードできます。
	YouTube	動画の再生・投稿ができます。
	Playムービー	Google Playから映画を購入できます。
	Playブックス	Google Playから書籍を購入できます。
	ギャラリー	静止画や動画を閲覧・整理できます。
	マップ	Googleマップで現在地の確認や目的地の検索などができます。
	ナビ	Googleマップナビで目的地までのルートを確認できます。
	ローカル	現在地周辺の店などの情報を検索できます。

アイコン	アプリケーション	説明
	Google＋	GoogleのSNSが利用できます。
	メッセンジャー	複数の友だちグループをまとめて1つのシンプルなグループチャットに招待し、全員で1つのページでチャットを楽しむことができるアプリです。

お知らせ

- このアプリケーション一覧は、お買い上げ時にプリインストールされているものです。プリインストールされているアプリケーションには一部アンインストールできるアプリケーションがあります。一度アンインストールしても「Playストア」(P.317)で再度ダウンロードできます。
- タブ内の「最近使ったアプリ」グループには、最近利用したアプリケーションが8件まで表示されます。また、「ダウンロードアプリ」グループには、お客様がダウンロードしたアプリケーションが表示されます。
- をタップすると、ホーム画面に戻ります。
- 通知情報があるアプリケーションのアイコンに、数字（通知情報の件数）が表示される場合があります。

アプリケーションの管理

ショートカットのホーム画面への追加

1 アプリケーション一覧画面で、ホーム画面に追加したいアプリケーションをロングタッチ

2 「ホームへ追加」

アプリケーションのアンインストール

1 アプリケーション一覧画面で、アンインストールしたいアプリケーションをロングタッチ

2 「アンインストール」→「OK」

- アンインストール完了の画面が表示されます。

3 「OK」

アプリケーションの移動

1 アプリケーション一覧画面で、移動したいアプリケーションをロングタッチ

2 移動したい位置までドラッグして離す

- アプリケーションをロングタッチして「移動」→移動先を選択しても、別のグループに移動させることができます。

グループの管理

グループの追加

1 アプリケーション一覧画面で [メニュー] →「グループ追加」

2 グループ名を入力 →「OK」

グループの並べ替え

1 アプリケーション一覧画面で、グループのラベルをロングタッチ

2 移動したい位置までドラッグして離す

グループ名の編集

1 アプリケーション一覧画面で、グループのラベルをロングタッチ

2 「名称変更」→ グループ名を入力 →「OK」

お知らせ

- 「最近使ったアプリ」「ドコモサービス」「ダウンロードアプリ」グループは、名称を変更することができません。

グループ色の変更

1 アプリケーション一覧画面で、グループのラベルをロングタッチ

2 「ラベル変更」→ ラベル色を選択

グループのホーム画面への追加

1 アプリケーション一覧画面で、グループのラベルをロングタッチ

2 「ホームへ追加」

グループの削除

1 アプリケーション一覧画面で、グループのラベルをロングタッチ

2 「削除」→「OK」

お知らせ

- 「最近使ったアプリ」「ドコモサービス」「ダウンロードアプリ」グループは削除することができません。

アプリケーションの検索

1 アプリケーション一覧画面で [メニュー] →「検索」

2 検索したいアプリケーションを入力 → 検索されたアプリケーションをタップ

- 本端末にインストールされたアプリケーションを検索するには、検索画面で [メニュー] →「設定」→「端末内検索」→「アプリケーション」にチェックを付ける必要があります。

アプリケーション画面の表示切り替え

1 アプリケーション一覧画面で [メニュー] →「リスト形式」／「タイル形式」

「おすすめ」アプリケーションのインストール

「おすすめ」タブには、ドコモがおすすめするアプリケーションが表示されます。アプリケーションをダウンロードするには、画面の指示に従って操作します。

- 初回起動時には、説明のページが表示されます。「おすすめアプリを見る」をタップすると、アプリケーションの一覧が表示されます。
- 「おすすめアプリをすべて見る」をタップすると、インターネットに接続し、すべてのおすすめアプリケーションが一覧表示されます。
- ダウンロードしたアプリケーションは、[アイコン] タブの「ダウンロードアプリ」グループに表示されます。

ホームアプリの情報

docomo Palette UIについての詳細説明や操作方法などが確認できます。

1 ホーム画面で [メニュー] →「ヘルプ」

バージョン情報

1 アプリケーション一覧画面で [メニュー]

2 「アプリケーション情報」
- docomo Palette UIの提供者やバージョン情報などが確認できます。

電話

電話をかける

1 ホーム画面で「電話」→「ダイヤル」

2 相手の電話番号を入力

- 同一市内へかけるときでも市外局番から入力してください。

ダイヤル画面

① **発着信リスト**：発着信リスト画面が表示されます（P.162）。
お気に入り：お気に入りに追加した連絡先の一覧が表示されます（P.181）。
ダイヤル：ダイヤル画面が表示されます。

② **電話番号入力欄**
入力した電話番号が表示されます。

③ **電話発信キー**
入力した電話番号に電話をかけます。

④ **電話帳に登録キー**
入力した電話番号を電話帳に登録します。

⑤ **声の宅配便キー**
声のメッセージを録音することができます（P.167）。

⑥ **削除キー**
一番右側の番号を削除します。ロングタッチすると、入力された番号をすべて削除できます。

⑦ **電話帳キー**
電話帳を開きます。

3 をタップ

4 通話が終了したら「通話を終了」

お知らせ

- 本端末では、テレビ電話は利用できません。
- 1回の通話ごとに発信者番号を通知／非通知にするには、電話番号の前に「186」（通知）／「184」（非通知）を入力します。「発信者番号通知」（P.167）を利用して、あらかじめ通知／非通知を設定することもできます。
- ホーム画面で → 「ダイヤル」をタップしてSamsungが提供する「ダイヤル」アプリを起動し、「キーパッド」をタップしても、電話をかけることができます。ただし、ドコモが提供する「電話」アプリとは、利用できる機能などが異なります。

緊急通報

緊急通報	電話番号
警察への通報	110
消防・救急への通報	119
海上での通報	118

お知らせ

- 本端末は、「緊急通報位置通知」に対応しております。110番、119番、118番などの緊急通報をかけた場合、発信場所の情報（位置情報）が自動的に警察機関などの緊急通報受理機関に通知されます。お客様の発信場所や電波の受信状況により、緊急通報受理機関が正確な位置を確認できないことがあります。位置情報を通知した場合には、ホーム画面に通報した緊急通報受理機関の名称が表示されます。なお、「184」を付加してダイヤルするなど、通話ごとに非通知とした場合は、位置情報と電話番号は通知されませんが、緊急通報受理機関が人命の保護などの事由から、必要であると判断した場合は、お客様の設定によらず、機関側が位置情報と電話番号を取得することがあります。また、「緊急通報位置通知」の導入地域／導入時期については、各緊急通報受理機関の準備状況により異なります。
- 本端末から110番、119番、118番通報の際は、携帯電話からかけていることと、警察・消防機関側から確認などの電話をする場合があるため、電話番号を伝え、明確に現在地を伝えてください。また、通報は途中で通話が切れないように移動せず通報し、通報後はすぐに電源を切らず、10分程度は着信できる状態にしておいてください。

- かけた地域により、管轄の消防署・警察署に接続されない場合があります。
- 日本国内ではドコモminiUIMカードを取り付けていない場合、PINコードの入力画面、PINコードロック・PUKロック中には緊急通報110番、119番、118番に発信できません。

ダイヤル画面のメニュー

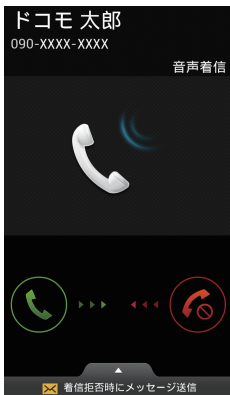
ダイヤル画面で [メニューキー] をタップすると以下の項目が表示されます。

項目	説明
発信者番号通知※	発信者番号を通知する／通知しないを設定します。
国際電話発信※	国際電話を利用します（P.165）。
2秒間の停止を追加※	ポーズ「,」を入力します。電話番号に続けて「,」と番号を入力して発信すると、電話がつながって約2秒後にプッシュ信号（番号）が自動的に送信されます。
待機を追加※	タイマー「;」を入力します。電話番号に続けて「;」と番号を入力して発信すると、電話がつながって「はい」をタップしたときにプッシュ信号（番号）が送信されます。
SMSを送信	→ P.189
通話設定	→ P.167
起動画面に設定	ホーム画面で「電話」をタップしたとき、表示中の画面を最初に表示するように設定します。

※ ダイヤル画面で、番号を入力すると表示されます。

電話を受ける

1 **電話がかかってくる**

- 着信中の画面が表示されます。

着信中の画面

- 圏外の状態で電話がかかってきた場合、着信通知お知らせがSMSで送られます。

2 **を表示される円の外側までドラッグ**

- 通話が開始されます。

着信拒否する場合

を表示される円の外側までドラッグします。

着信拒否して相手にSMSで拒否理由を伝える場合

画面下部の「着信拒否時にメッセージ送信」を上方向にドラッグし、拒否理由の「送信」をタップします。

- 「新規メッセージを作成」をタップすると、SMSを作成できます。

3 通話が終了したら「通話を終了」

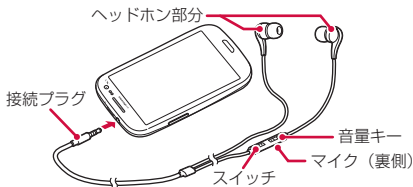
お知らせ

- 拒否理由は、ホーム画面で「電話」→ [メニュー] →「通話設定」→「着信拒否メッセージを設定」（P.175）で変更できます。
- 着信中に [音量キー]（音量キー）を押すと、着信音やバイブレーションを停止できます。

マイク付ステレオヘッドセットの使いかた

マイク付ステレオヘッドセット（試供品）を接続すると、マイク付ステレオヘッドセットのスイッチを押してかかってきた電話を受けることができます。

マイク付ステレオヘッドセットの取り付けかた

1 マイク付ステレオヘッドセットの接続プラグを本端末のヘッドホン接続端子に差し込む

お知らせ

- 接続プラグを奥まで確実に差し込んでください。途中で止まっていると音が聞こえない場合があります。

マイク付ステレオヘッドセットで電話を受ける

1 電話がかかってきたら、マイク付ステレオヘッドセットのスイッチを押す

- 電話がつながると通話ができます。自分の音声は、マイク付ステレオヘッドセットのマイクから相手に送られます。

着信を拒否する場合

着信中にマイク付ステレオヘッドセットのスイッチを1秒以上押して離します。

2 通話が終了したら再度スイッチを押す

お知らせ

- 本端末にマイク付ステレオヘッドセットを接続している場合でも、着信音やアラームは本端末からも鳴ります。
- 着信中にマイク付ステレオヘッドセットの音量キーを押すと、着信音やバイブレーションを停止できます。通話中に音量キーを押すと、通話相手の声の音量（通話音量）を調節できます。

通話中の操作

1 電話がかかってくる

- 着信中の画面が表示されます。

2 を表示される円の外側までドラッグ

- 通話中画面が表示され、通話が開始されます。

通話中画面

通話中画面では次の操作ができます。

① **My call sound**
通話音の音質を設定します。

② **ノイズキャンセラー**
ノイズキャンセラー機能がＯＮになっているときに表示されます。

③ **通話を追加**※
別の相手に電話をかけます。

④ **スピーカー**
相手の声をスピーカーから流してハンズフリーで通話します。

⑤
タップするごとに最大音量を有効／無効にします。
- 「通話に最大音量を使用」(P.172）にチェックを付けている場合に操作できます。

⑥ **保留**※**／保留解除**※
通話を保留／保留解除します。

⑦ **キーパッド／非表示**
キーパッドの表示／非表示を切り替えます。キーパッドをタップしてプッシュ信号を送信します。

⑧ **通話を終了**
通話を終了します。

⑨ **ヘッドセット**
Bluetoothデバイスと接続してハンズフリーで通話します。

⑩ **消音**
自分の声を相手に聞こえないようにします。

※「キャッチホン」をご契約いただいている場合のみ操作できます。

通話中画面のメニュー

通話中画面で [メニューキー] をタップすると以下の項目が表示されます。

項目	説明
連絡先	連絡先の登録情報の一覧を表示します。
メッセージ	SMSを送信します。
メモ	Sメモを起動します。
録音／録音を停止	通話中の音声を録音／録音を停止します。 • 録音した音声データは、ボイスレコーダー（P.391）で再生できます。
ノイズキャンセラーをON／ノイズキャンセラーをOFF	ノイズキャンセラー機能をON／OFFします。
My call sound	通話音の音質を設定します。

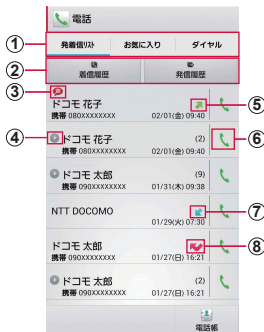
お知らせ

- 通話相手の声の音量（通話音量）を調節するには、通話中に [音量キー]（音量キー）を押します。
- 通話中画面は、本端末を顔に近づけるなどして画面を覆ったとき（ヘッドセットなどを取り付けている場合を除く）や操作せずに約30秒経過すると、自動的に消えます。[電源キー]／[ホームキー] を押すと、通話中画面を表示できます。

発着信履歴

発着信リストでは、発信履歴、着信履歴、不在着信履歴を一覧で確認できます。

1 ホーム画面で「電話」→「発着信リスト」

- 発着信リスト画面が表示されます。

発着信リスト画面

① **発着信リスト**：発着信リスト画面が表示されます。
お気に入り：お気に入りに追加した連絡先の一覧が表示されます（P.181）。
ダイヤル：ダイヤル画面が表示されます（P.150）。

② **履歴切り替え**
着信履歴または発信履歴のみの表示に切り替えます。「すべて表示」をタップすると、元の表示に戻ります。

③ **発着信のステータスアイコン**

- ：声の宅配便（P.167）で発信
- ：発信者番号通知で発信（「186」を付けて発信した場合）
- ：発信者番号非通知で発信（「184」を付けて発信した場合）
- ：国際電話の発信
- ：国際電話の着信

④ **複数の履歴あり**

同じ日・相手・履歴の種類（発信履歴／着信履歴）が複数ある場合に表示されます。

⑤ **発信履歴**

⑥ **電話発信キー**

⑦ **着信履歴**

⑧ **不在着信履歴**

不在着信の電話や拒否リストからの電話、着信拒否した電話の履歴に表示されます。

お知らせ

- 電話帳に登録されていない相手の履歴詳細画面で「電話帳に登録」をタップすると、電話帳に電話番号を新規／上書き登録できます。
- 発着信リスト画面で電話帳に登録されている相手を選択し、履歴詳細画面で「プロフィール」をタップすると、電話帳のプロフィール画面を表示できます。履歴詳細画面で「コミュニケーション」をタップすると、電話の発着信履歴や、spモードメール／SMSの送受信履歴を確認できます。
- ドコモバックアップ（P.394）を利用して、通話履歴をバックアップできます。
- ホーム画面で ⠿ →「ダイヤル」をタップしてSamsungが提供する「ダイヤル」アプリを起動し、「履歴」をタップしても、発着信履歴を確認することができます。ただし、ドコモが提供する「電話」アプリとは、利用できる機能などが異なります。

発着信リスト画面のメニュー

発着信リスト画面で ▭ をタップすると以下の項目が表示されます。

項目	説明
全件削除	履歴を削除します。
居場所を確認	イマドコかんたんサーチを利用して、相手の現在の位置を確認できます。
通話設定	→ P.167

項目	説明
起動画面に設定	ホーム画面で「電話」をタップしたとき、表示中の画面を最初に表示するように設定します。

国際電話（WORLD CALL）を利用する

WORLD CALLは国内でドコモの端末からご利用いただける国際電話サービスです。FOMAサービスをご契約のお客様は、ご契約時にあわせてWORLD CALLもご契約いただいています（ただし、不要のお申し出をされた方を除きます）。
海外での利用については、P.405以降をご覧ください。

- 通信事業者によっては、発信者番号が通知されない／正しく表示されないことがあります。この場合、履歴から電話をかけることはできません。

WORLD CALLについてのご不明な点は、裏表紙の「総合お問い合わせ先」までお問い合わせください。

1 ホーム画面で「電話」→「ダイヤル」→「0」「1」「0」→ 国番号 → 地域番号（市外局番）→ 相手の電話番号を入力

- 地域番号（市外局番）が「0」で始まる場合には、先頭の「0」を除いて入力してください。ただし、イタリアなど一部の国・地域では「0」が必要な場合があります。

2 をタップ

3 通話が終了したら「通話を終了」

お知らせ

- 「国番号-地域番号（市外局番）-電話番号」の先頭に、「0」をロングタッチして「+」を入力すると、発信時に国際ダイヤルアシスト画面が表示されます。「WORLD CALLで発信」をタップすると「+」が国際アクセス番号の「009130010」に変換され、国際電話をかけることができます。

通話設定

ホーム画面で「電話」→ → 「通話設定」をタップすると通話関連機能の設定ができます。

項目		説明
ネットワークサービス	声の宅配便	電話でメッセージを録音し、相手にお客様の声を届けるサービスです。
	留守番電話サービス	かかってきた電話に応答できなかったときに、相手のメッセージをお預かりするサービスです。
	転送でんわサービス	かかってきた電話に応答できなかったときに、電話を転送するサービスです。
	キャッチホン	通話中の電話を保留にして、かかってきた電話に出たり、別の相手に電話をかけることができるサービスです。
	発信者番号通知	電話をかけたときに相手の電話機のディスプレイへお客様の電話番号を通知します。

項目		説明
ネットワークサービス	迷惑電話ストップサービス	相手の番号を登録し、迷惑電話の着信拒否を設定します。
	番号通知お願いサービス	番号通知お願いサービスを開始／停止します。
	通話中着信設定	通話中着信設定を開始／停止します。
	着信通知	着信通知を開始／停止します。
	英語ガイダンス	英語ガイダンスを設定します。
	遠隔操作設定	遠隔操作を開始／停止します。
	公共モード（電源OFF）設定	電源を切っている場合や、機内モード設定中の場合の着信時に、電源を切る必要がある場所にいるため、電話に出られない旨のガイダンスが流れ、自動的に電話を終了します。

項目			説明
海外設定	ローミング時着信規制		ローミング中の着信規制を開始／停止します。
	ローミング着信通知		ローミング中の着信通知を開始／停止します。
	ローミングガイダンス		ローミングガイダンスを開始／停止します。
	国際ダイヤルアシスト	自動変換機能	自動変換機能のON／OFFを設定します。 • ONにすると、電話番号の先頭に「+」を入力して発信したときに国際ダイヤルアシスト画面が表示されます。「WORLD CALLで発信」をタップすると、「+」が「国際プレフィックス」で登録した国際アクセス番号に変換されます。
		国番号	国際電話をかけるときの国番号の登録や追加などができます。
		国際プレフィックス	国際電話をかけるときに電話番号の先頭に付加する国際アクセス番号の登録や追加などができます。

<table>
<tr><th colspan="3">項目</th><th>説明</th></tr>
<tr><td rowspan="6">海外設定</td><td rowspan="6">ネットワークサービス</td><td>遠隔操作（有料）</td><td rowspan="6">海外から留守番電話サービスなどのネットワークサービスを設定します。
• あらかじめ「遠隔操作設定」を開始にする必要があります。
• 海外から操作した場合は、利用した国の日本向け通話料がかかります。
• 海外通信事業者によっては、設定できないことがあります。</td></tr>
<tr><td>番号通知お願いサービス（有料）</td></tr>
<tr><td>ローミング着信通知（有料）</td></tr>
<tr><td>ローミングガイダンス（有料）</td></tr>
<tr><td>留守番電話サービス（有料）</td></tr>
<tr><td>転送でんわサービス（有料）</td></tr>
<tr><td rowspan="2">着信拒否</td><td colspan="2">自動着信拒否モード</td><td>自動着信拒否モードを設定します。</td></tr>
<tr><td colspan="2">自動着信拒否リスト</td><td>自動着信拒否モードが「自動着信拒否番号」になっている場合に拒否する番号を設定します。 → P.175</td></tr>
</table>

項目		説明
着信拒否メッセージを設定		→ P.175
着信音とキーパッド音	着信音	着信音を設定します。
	バイブ	バイブレーションを設定します。
	着信時にバイブ	着信したときに本端末を振動させるかどうかを設定します。
	キーパッド操作音	ダイヤル画面で数字キーをタップしたときの操作音のON ／ OFFを設定します。
通話通知	通話中のバイブ	→ P.174
	通話状況の通知音	→ P.174
	通話中にイベント通知	→ P.174
通話応答／終了	ホームキーで電話に応答	を押して着信に応答するかどうかを設定します。
	電源キーで通話終了	を押して通話を終了するかどうかを設定します。
通話中は画面をOFF		通話中に本端末を顔に近づけるなどして画面を覆ったとき、画面の表示を消すかどうかを設定します。

項目		説明
通話のアクセサリ設定	自動応答	ヘッドセットなどに接続した状態で自動応答するかどうかを設定します。
	自動応答時間	「自動応答」にチェックを付けた場合に、自動応答するまでの時間を設定します。
	発信通話状態	画面ロック中でもBluetoothヘッドセットから電話の発信をできるようにするかどうかを設定します。
My call sound	My call sound設定	通話音の音質を設定します。
	音質の個別設定	通話音の音質を、ユーザーに適した音質にカスタマイズして設定します。
通話に最大音量を使用		通話中の音量を最大にするかどうかを設定します。 • チェックを付けると、通話中画面（P.159）に が表示されます。

項目		説明
ポケット内では音量アップ		本端末がポケットやかばんなどの中にあるときに電話の着信があると、着信音の音量を上げるようにするかどうかを設定します。
追加設定	ノイズキャンセラー	通話中に周囲の雑音を抑えるように設定します。
	自動エリアコード	自動で局番(エリアコード)を追加するかどうかを設定します。
追加サービス	USSD登録	ドコモから新しいネットワークサービスが追加されたときに、そのサービスをメニューに登録して利用できるようにします。
	応答メッセージ登録	追加したサービスを実行したとき、サービスセンターから返ってくるコード(USSD)に対応した応答メッセージを登録します。

電話／通話の状態を音で知らせる

1 ホーム画面で「電話」→ ▭ →「通話設定」→「通話通知」

2 設定したい項目をタップ

項目		説明
通話中のバイブ	応答時のバイブ	発信先の相手が通話に応答したときに本端末を振動させるかどうかを設定します。
	通話終了時のバイブ	「通話を終了」をタップしたとき本端末を振動させるかどうかを設定します。
通話状況の通知音	呼び出し開始音	呼び出し開始音を鳴らすかどうかを設定します。
	通話時間通知（毎分）	1分ごとに通話時間通知を行うかどうかを設定します。
	通話終了音	通話終了音を鳴らすかどうかを設定します。
通話中にイベント通知		アラームやSMSの受信などが発生したときに通知音を鳴らすかどうかを設定します。

着信拒否時にSMSで送信する拒否理由を登録する

本端末では、電話の着信を拒否して相手にSMSで拒否理由を伝えることができます。拒否メッセージは、最大6件まで登録できます。

- お買い上げ時は5件の拒否メッセージが登録されています。

1 **ホーム画面で「電話」→ [メニュー] →「通話設定」→「着信拒否メッセージを設定」**

登録済みの拒否メッセージを編集する場合

編集したい拒否メッセージをタップ → 拒否メッセージを編集 →「保存」をタップします。

拒否メッセージを削除する場合

[削除] → 削除したい拒否メッセージまたは「全て選択」にチェックを付ける →「削除」をタップします。

2 **「作成」→ 拒否メッセージを入力 →「保存」**

お知らせ

- 拒否メッセージは全角最大70文字（半角英数字のみの場合は最大160文字）まで入力できます。

指定した電話番号からの着信を拒否する

着信を拒否したい相手の電話番号を登録できます。電話番号は、最大100件まで登録できます。

1 **ホーム画面で「電話」→ [メニュー] →「通話設定」→「着信拒否」→「自動着信拒否リスト」**

非通知の電話を拒否する場合

「非通知」にチェックを付けます。

登録した電話番号を編集する場合

編集したい電話番号をタップ → 電話番号を修正 → 「保存」をタップします。

登録した電話番号を削除する場合

🗑 → 削除したい電話番号または「全て選択」にチェックを付ける →「削除」をタップします。

2 「作成」

3 拒否したい電話番号を入力

- 履歴や電話帳から電話番号を引用する場合は、👤 →「履歴」／「電話帳」→「電話帳」を選択した場合はアプリケーションを選択 →「常に使用」／「今回のみ使用」→ 登録する相手をタップします。

4 「振り分けルール」→ 指定する振り分けルールをタップ

5 「保存」

- 登録した電話番号のチェックを外すと、着信拒否を解除できます。

お知らせ

- 登録した電話番号を拒否するには「自動着信拒否モード」（P.170）を「自動着信拒否番号」にしてONにする必要があります。
- 登録した電話番号をロングタッチすると、編集または削除することができます。

電話帳

電話帳に登録する

ドコモが提供する「電話帳」アプリを利用して、名前や電話番号、メールアドレスなどさまざまな情報の連絡先を管理できます。

1 **ホーム画面で ⠿ →「電話帳」**

- お買い上げ時は、連絡先一覧画面が表示されます。

2 **「登録」→ 保存先を選択**

- Googleアカウントを設定していない場合は保存先の選択画面が表示されず、docomoアカウントが保存先になります。

docomoアカウントに保存する場合

連絡先編集画面

本端末に連絡先を保存する場合

ホーム画面で ⊞ →「連絡先」→ ＋ →「本体」をタップします。

① **アカウントアイコン**
保存先のアイコンが表示されます。
- 異なるアカウントの連絡先を統合した場合、複数のアカウントアイコンが表示されます。

② **画像欄**
「設定」をタップすると、画像を登録できます。写真を撮影する場合は「写真を撮影」、保存済みの画像を選択するには「画像を選ぶ」をタップします。

③ **詳細入力キー**
ふりがなや敬称など詳細情報を入力できます。

④ **ラベルキー**
入力内容のラベル（種類）を選択できます。表示されるリストから「カスタム」をタップすると、任意のラベル名を作成できます。

⑤ **項目追加／削除キー**
選択した項目の入力欄を追加／削除できます。

3 必要な項目を入力

- 「グループ」の「設定」をタップすると、連絡先をグループ分けできます。
- 「着信音」の「設定」をタップすると個別の着信音を設定できます。
- 「SNS・ブログ」の「追加」をタップするとSNSの情報を入力できます。
- 「その他」の ^ をタップすると、住所やニックネーム、メモなどを入力できます。
- 設定できる項目は、連絡先の保存先や言語の設定（P.281）によって異なります。

4 「登録完了」

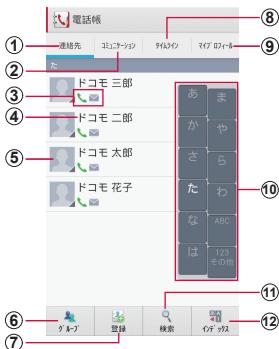
- 連絡先が表示されない場合は連絡先一覧画面で ▭ →「その他」→「表示するアカウント」をタップして表示の設定を変更します。

お知らせ

- ホーム画面で ⊞ →「連絡先」をタップしてSamsungが提供する「連絡先」アプリを起動しても、連絡先の登録や管理などができます。ただし、ドコモが提供する「電話帳」アプリとは、利用できる機能などが異なります。

連絡先の内容を確認／編集する

1 ホーム画面で ⊞ →「電話帳」

- 連絡先一覧画面が表示されます。連絡先一覧画面が表示されていない場合は「連絡先」をタップします。

連絡先一覧画面

① **連絡先**

- 連絡先一覧画面を表示します。

② **コミュニケーション**

- 電話発着信履歴、spモードメール送受信履歴、SMS送受信履歴を表示します。履歴から、電話発信やSMSなどの送信を行うことができます。
- コミュニケーションの画面で「表示項目」をタップすると、表示する項目(電話／spモードメール／SMS／各SNS※)を設定できます。

  ※ SNS連携機能で設定したSNS・ブログのタイムラインなどが表示されます。

③ **登録内容**

- 登録内容がアイコンで表示されます。

④ **電話帳に登録された名前**

⑤ **電話帳に設定された写真**

- 電話帳に登録されている相手の画像をタップし、アイコンをタップすると、電話の発信／SMSやEメールの作成などができます。

⑥ **グループ**

- 表示するグループを選択します（P.182）。

⑦ **登録**

- 連絡先を登録します（P.177）。

⑧ **タイムライン**

- クラウドをONにした場合、マイSNS機能で設定したSNS・ブログのタイムラインなどが表示されます。
- タップすることで詳細画面が表示され、コメントやいいね！の投稿をすることができます。

⑨ **マイプロフィール**

- マイプロフィール画面が表示され、ご利用の電話番号の確認や、お客様ご自身のプロフィール情報の編集・管理、名刺作成アプリを利用して名刺データの作成ができます(P.183)。

⑩ **インデックス文字表示域**

- 「インデックス」をタップすると、名前を五十音順、アルファベット順などで検索できるインデックス文字が表示されます。

⑪ **検索**

- 連絡先を検索します。

⑫ **インデックス**
- インデックスを表示します。

2 確認したい連絡先をタップ

- プロフィール画面が表示されます。
- 電話番号をタップして「電話をかける」をタップすると、電話をかけることができます。
- 電話番号欄の SMS をタップするとSMSを作成できます。
- 電話番号欄の 声 をタップすると声の宅配便（P.167）を利用することができます。
- メールアドレスをタップしてアプリケーションを選択するとメールを作成できます。
- 「コミュニケーション」をタップすると、選択した相手との電話の発着信履歴や、spモードメール／SMSの送受信履歴を確認できます。

連絡先を編集する場合

「編集」をタップします。

連絡先をお気に入りに追加する

連絡先を「お気に入り」グループに追加します。

1 連絡先一覧画面でお気に入りに追加したい連絡先をタップ → ☆（白色）をタップして、★（黄色）にする

- 追加した連絡先が「お気に入り」グループに表示されます。

お知らせ

- お気に入りに追加できる連絡先は、保存先がdocomoアカウントの連絡先のみです。

グループ分けした連絡先を確認する

連絡先の登録時に設定したグループ別に、連絡先を管理・利用できます。

1 連絡先一覧画面で「グループ」

- 画面左にグループタブが表示されます。グループタブには登録されている連絡先の件数が表示されます。
- 「閉じる」をタップすると、グループタブが閉じます。

2 確認したいグループタブをタップ → 連絡先をタップ

■ グループを追加／編集する

1 連絡先一覧画面で「グループ」→「追加」タブ → アカウントを選択

登録済みのグループを編集する場合

編集したいグループタブをロングタッチ →「グループ編集」をタップします。

2 色、アイコンを選択 → グループ名を入力

3 「OK」

お知らせ

- 色、アイコンを選択できるグループは、保存先がdocomo アカウントのグループのみです。

■ グループを削除する

1 連絡先一覧画面で「グループ」

2 削除したいグループタブをロングタッチ →「グループ削除」→「OK」

■ グループに連絡先を追加する

1 連絡先一覧画面で「グループ」→「すべて」タブ

2 連絡先をロングタッチ → 追加したいグループタブの上までドラッグ

グループから連絡先を削除する場合

削除したい連絡先を含むグループタブをタップ → 削除したい連絡先をロングタッチ → 設定していたグループタブの上までドラッグします。

お知らせ

- グループに追加できる連絡先は、保存先がdocomoアカウントまたはGoogleアカウントの連絡先のみです。

電話帳から電話をかける

1 連絡先一覧画面でかけたい相手をタップ

- プロフィール画面が表示されます。

2 相手の電話番号をタップ →「電話をかける」

マイプロフィールを登録する

1 連絡先一覧画面で「マイプロフィール」

- マイプロフィール画面が表示されます。

2 「編集」

名刺データを作成／編集する場合

「新規作成」／「名刺編集」をタップし、画面の指示に従ってください。

3 **必要な項目を入力 →「登録完了」**

お知らせ

- 名刺データを削除するには、「名刺削除」→「OK」をタップします。
- 「この名刺を交換する」をタップすると、登録した名刺データを送信できます。

連絡先をインポート／エクスポートする

microSDカードやドコモminiUIMカードと本端末の間で連絡先をインポート／エクスポートできます。また、連絡先はメール送信もできます。

1 **連絡先一覧画面で ▭ →「その他」→「インポート／エクスポート」**

2 **以下の操作を行う**

連絡先をインポートする場合

「SIMカードからインポート」／「SDカードからインポート」→ 保存先を選択します。

- 「SDカードからインポート」を選択した場合は、microSDカードから連絡先をインポートします。
- Googleアカウントを設定していない場合は保存先の選択画面が表示されず、docomoアカウントが保存先になります。
- microSDカードに複数の連絡先データ（vCard）が保存されている場合は、電話帳の選択画面が表示されます。画面の指示に従ってインポート方法を選択してください。

連絡先をエクスポートする場合

「SDカードにエクスポート」→ エクスポートの方法を選択 →「OK」→ 画面の指示に従って操作します。

連絡先データ（vCard）として送信する場合

「表示可能な電話帳を共有」→ 送信方法を選択します。

連絡先一覧画面／プロフィール画面のメニュー

連絡先一覧画面／プロフィール画面で をタップすると以下の項目が表示されます。

■ 連絡先一覧画面

項目		説明
削除		連絡先を削除します。
ヘルプ		電話帳の利用方法や注意事項を確認できます。
その他	インポート／エクスポート	→ P.184
	センターと同期	バックアップセンターと同期し、バックアップを行います。
	連絡先の表示順	連絡先の表示順を変更します。
	表示するアカウント	タップした項目に該当する連絡先のみが表示されます。
	SNS連携設定	SNS連携機能について設定します。
	アプリケーション情報	ドコモが提供する「電話帳」アプリのバージョンや電話帳件数が確認できます。

■ プロフィール画面

項目	説明
共有	連絡先をBluetoothやメールなどで送信します。
削除	連絡先を削除します。
着信音を設定	個別の着信音を設定します。
統合／分割	家族や会社などの関連する連絡先をリンクさせて、1つの連絡先にまとめたり、1つにまとめた連絡先を分離します。
SNS連携設定	SNS連携機能について設定します。

お知らせ

- 「統合」でリンクさせた連絡先は、リンク操作を行った連絡先に結合され、連絡先一覧画面には表示されなくなります。

ドコモバックアップ

microSDカードなどの外部記録媒体を利用して、電話帳、spモードメール、ブックマークなどのデータの移行やバックアップができるアプリです。

- 操作方法については、P.394をご覧ください。

メール／ウェブブラウザ

spモードメール

ｉモードのメールアドレス（@docomo.ne.jp）を利用して、メールの送受信ができます。絵文字、デコメール®の使用が可能で、自動受信にも対応しております。
spモードメールの詳細については、『ご利用ガイドブック（spモード編）』をご覧ください。

1 ホーム画面で「spモードメール」
2 画面の指示に従ってspモードメールアプリをダウンロード

SMS

携帯電話番号を宛先にして全角最大70文字（半角英数字のみの場合は最大160文字）まで、文字メッセージを送受信できるサービスです。

SMSを作成して送信する

1 ホーム画面で ⊞ →「SMS」

- スレッド（SMSを送受信した相手）一覧画面が表示されます。

2 ✎ をタップ

- SMS作成画面が表示されます。

3 宛先に送信先の携帯電話番号を入力

- 複数の相手に送信する場合は、携帯電話番号に続けてカンマ（,）を入力するか、＋ をタップします。
- 👤 →「グループ」／「お気に入り」／「連絡先」／「履歴」をタップすると、電話帳のグループ、お気に入り、連絡先、履歴から宛先を選択して入力できます。

4「メッセージを入力」欄にメッセージを入力

顔文字を入力する場合

▭ →「顔文字を挿入」→ 入力したい顔文字をタップします。

登録済みのデータを挿入する場合

▭ →「本文に挿入」をタップします。

5 [icon] をタップ

作成中のSMSを下書き保存する場合

宛先と本文が入力され、キーボードが表示された状態で [icon] を2回タップします（予測変換候補表示時は [icon] を3回タップします）。

お知らせ

- 海外通信事業者をご利用のお客様との間でも送受信できます。ご利用可能な国・海外通信事業者については、『ご利用ガイドブック（国際サービス編）』またはドコモの「国際サービスホームページ」をご覧ください。
- 宛先が海外通信事業者の場合、「+」、「国番号」、「相手先携帯電話番号」の順に入力します。携帯電話番号が「0」で始まる場合は、先頭の「0」を除いた電話番号を入力します。また、「010」、「国番号」、「相手先携帯電話番号」の順に入力しても送信できます（受信した海外からのSMSに返信する場合は、「010」を入力してください）。
- 宛先に“#”または“*”がある場合、SMSを送信できません。

受信したSMSを確認する

1 ホーム画面で ⦿ →「SMS」

- スレッド（SMSを送受信した相手）一覧画面が表示されます。

2 読みたいスレッドをタップ

- SMS一覧画面が表示されます。
- 受信SMSは黄色の吹き出し、送信SMSは青色の吹き出しで表示されます。吹き出しの色や形は変更できます（P.192）。

お知らせ

- 「通知」（P.193）にチェックを付けている場合は、SMSを受信すると、ステータスバーに ✉ が表示されます。

スレッド一覧画面／SMS一覧画面のメニュー

スレッド一覧画面／SMS一覧画面で ▭ をタップすると以下の項目が表示されます。

項目	説明
検索※1	SMSを検索します。
スレッドを削除※1	スレッドを削除します。
下書きメッセージ※1	下書き保存したSMSを表示します。
保護メッセージ※1	保護したSMSを表示します。
迷惑メッセージ※1	迷惑SMSを表示します。

項目			説明
設定※1	表示	吹き出し	吹き出しのスタイルを設定します。
		背景スタイル	背景のスタイルを設定します。
		音量キーを使用	で文字サイズを変更するかどうかを設定します。
	基本設定	自動削除	設定した件数に達したとき、古いSMSから自動的に削除するかどうかを設定します。
		最大SMS件数	最大SMS件数を設定します。
		定型文	定型文を追加・編集します。
	SMS設定	配信確認	送信ごとに送達通知を要求するかどうかを設定します。
		SIMカード保存メッセージ管理	ドコモminiUIMカードにコピーしたSMSを確認・削除・本端末にコピーします。
		メッセージセンター	SMSセンターを設定します。 • 通常は設定を行う必要はありません。

項目			説明
設定※1	SMS設定	有効期限	送信するSMSの有効期限を設定します。
	通知設定	通知	SMSを受信したときに、通知音と通知アイコンでお知らせせするかどうかを設定します。
		通知音	SMSを受信したときに鳴らす通知音を設定します。
		バイブ	SMSを受信したときに、振動してお知らせするかどうかを設定します。
		メッセージ通知の繰り返し	SMS受信通知の繰り返しを設定します。
		メッセージをプレビュー	SMSを受信したときに、ステータスバーにプレビューを表示するかどうかを設定します。
	署名設定	署名を追加	署名を追加するかどうかを設定します。
		署名テキスト	署名を編集します。

項目			説明
設定※1	迷惑メッセージ設定	迷惑メッセージを設定	迷惑SMSを受信拒否するかどうかを設定します。
		迷惑メッセージ登録（番号）	受信拒否する携帯電話番号を登録します。
		迷惑メッセージ登録（フレーズ）	受信拒否するフレーズを登録します。
		非通知の送信元をブロック	発信者番号非通知のSMSを受信拒否するかどうかを設定します。
発信※2			相手の電話番号に発信します。
顔文字を挿入※2			顔文字を入力します。
本文に挿入※2			登録済みのデータを挿入します。
連絡先を表示／連絡先に追加※2			連絡先を表示／連絡先に追加します。
宛先を追加※2			他の宛先を入力してSMSを作成します。
メッセージを削除※2			SMSを削除します。
迷惑メッセージ登録（番号）※3			相手の携帯電話番号を迷惑SMSに登録します。

項目	説明
迷惑メッセージ解除（番号）※4	相手の携帯電話番号を迷惑SMSの登録から解除します。
破棄※2	作成中のSMSを破棄します。

※1　スレッド一覧画面で表示されます。
※2　SMS一覧画面で表示されます。
※3　迷惑SMSに登録されていない相手とのSMS一覧画面で表示されます。
※4　迷惑SMSに登録されている相手とのSMS一覧画面で表示されます。

本文画面のメニュー

送受信したSMSをロングタッチすると以下の項目が表示されます。

項目	説明
メッセージを削除	送受信したSMSを削除します。
本文をコピー	SMSの本文をコピーします。
保護設定／メッセージの保護を解除	誤って削除しないようにSMSを保護／保護解除します。
転送	SMSを転送します。
SIMにコピー	SMSをドコモminiUIMカードにコピーします。
詳細	タイプ、発信者／宛先、送受信日時、送達通知（配信確認）、ステータスを表示します。

お知らせ

- SMSはドコモminiUIMカードに20件までコピーできます。

Eメール

Eメールを設定する

mopera UメールのEメールアカウントや、一般のプロバイダが提供するPOP3やIMAPなどに対応したEメールアカウントを設定して、Eメールの送受信ができます。

Eメールを使用するまでの流れ

■ パケット通信で接続する
ステップ1：プロバイダに加入する
ステップ2：アクセスポイントを設定する（P.240）
ステップ3：Eメールアカウントを設定する（P.198）
ステップ4：Eメールを作成して送信する（P.204）

■ Wi-Fiで接続する
ステップ1：利用形態を決める

- 公衆無線LANサービス／社内LANに接続する場合は、サービス提供者／ネットワーク管理者にお問い合わせいただき、接続に必要な情報を入手してください。
- 家庭内など個人環境で接続する場合は、アクセスポイントを設置し、設置したアクセスポイントの取扱説明書などから接続に必要な情報を入手してください。

ステップ2：Wi-Fiの設定を行う（P.233）
ステップ3：Eメールアカウントを設定する（P.198）
ステップ4：Eメールを作成して送信する（P.204）

お知らせ

- パソコンや他の端末とEメールを送受信した場合、利用環境によっては絵文字やHTMLメールなどの内容が正しく表示されない場合があります。
- 「Eメールを同期」（P.202）にチェックを付けている場合は、本端末でEメールを送受信するとEメールのサーバーと同期が行われます。「受信トレイ」など同期するように設定されている項目は、同期時のサーバーと同じ状態になります。

Eメールアカウントを設定する

メールアドレスとパスワードを入力すると、Eメールアカウントの設定を自動的に取得して設定が行われます。

- 自動で設定できない場合や、手動で設定する場合は、受信設定や送信設定を入力する必要があります。あらかじめ必要なEメールアカウント設定の情報をご用意ください。

1 ホーム画面で ⊞ →「Eメール」

2件目以降のEメールアカウントを設定する場合

ホーム画面で ⊞ →「Eメール」→ ▭ →「設定」→ ＋ をタップします。

2 メールアドレス、パスワードを入力 →「次へ」

- Eメールアカウントの設定が自動的に取得されます。
- 自動的に設定を取得できず、アカウントタイプの選択画面が表示された場合は、画面の指示に従って設定を行ってください。
- 2件目のEメールアカウントの設定からは、「常にこのアカウントからEメールを送信」のチェックボックスが表示されます。チェックを付けると、設定するアカウントをメインアカウントとして設定できます。
  Eメール一覧画面で [MENU] →「設定」→ アカウントを選択 →「メインアカウント」にチェックを付ける／外すとメインアカウントを変更することができます。

手動で設定する場合

メールアドレス、パスワードを入力 →「手動設定」→ 画面の指示に従って設定します。

3 アカウントオプションを設定 →「次へ」

4 アカウント名、ユーザー名を入力 →「完了」

Eメールアカウントを管理する

1 **ホーム画面で →「Eメール」**

- Eメール一覧画面が表示されます。

2 **→「設定」→「一般設定」／設定したいアカウントをタップ**

3 **設定したい項目をタップ**

項目		説明
一般設定 ※1	削除後の表示	Eメール削除後に表示する画面を設定します。
	メッセージのプレビュー行	Eメールのプレビューの行数を設定します。
	リスト内のタイトル行	Eメールのタイトルを「件名」または「送信元」のどちらを表示するかを設定します。
	削除時に確認	Eメールを削除するときに確認画面を表示するかどうかを設定します。
	クイック返信	よく使う定型文を編集します。定型文はEメール作成画面で本文を入力するときに挿入できます。→P.205

項目		説明
優先送信元受信トレイ※1	優先送信元	優先送信元のメールアドレスを設定します。
	Eメール通知	優先送信元からEメールを受信したときに、通知音と通知アイコンでお知らせするかどうかを設定します。
	通知音	優先送信元からEメールを受信したときに鳴らす通知音を設定します。
	バイブ	優先送信元からEメールを受信したときに、振動してお知らせするかどうかを設定します。
共通設定※2	アカウント名	アカウント名を変更します。
	ユーザー名	ユーザー名を変更します。
	署名	署名を編集します。
	メインアカウント	メインアカウントとして使用するかどうかを設定します。チェックを付けると、Eメールアカウント一覧画面の設定したアカウントに ✔ が表示されます。
	必ず自分にCc/Bccを送信	自分のメールアドレスをCc/Bccに追加します。
	添付ファイルと一緒に転送	Eメールの転送時に添付ファイルも送信するかどうかを設定します。

項目		説明
共通設定※2	最近のメッセージ	表示するEメールの数を設定します。
	画像を表示	画像を表示するかどうかを設定します。 • 「Eメール受信サイズ」で設定したサイズを超えるEメールを受信した場合は、チェックを付けても画像は表示されません。POP3アカウントの場合は本文画面で「メッセージ」→「詳細の読み込み」をタップ、IMAPアカウントの場合は本文画面で「XX件の添付」→ファイル名をタップすると、画像がダウンロードされます。
データ使用※2	Eメールを同期	Eメールのサーバーと同期を行うかどうかを設定します。
	添付の自動ダウンロード※3	Wi-Fi接続時に添付ファイルを自動でダウンロードするかどうかを設定します。
	Eメール受信サイズ	受信するEメールのサイズを設定します。 • 「全て」／「添付ファイルを含む全て」を選択しても、Eメールのサイズが大きすぎるとメール本文が一部省略されることがあります。

項目		説明
データの使用 ※2	自動再送回数	Eメールを自動で再送する回数を設定します。
同期設定 ※2	同期スケジュール	Eメールを同期するタイミングを日時単位で設定します。
通知設定 ※2	Eメール通知	Eメールを受信したときに、通知音と通知アイコンでお知らせするかどうかを設定します。
	通知音	Eメールを受信したときに鳴らす通知音を設定します。
	バイブ	Eメールを受信したときに、振動してお知らせするかどうかを設定します。
サーバー設定 ※2	受信設定	受信サーバーの設定を変更します。
	送信設定	送信サーバーの設定を変更します。

※1 手順2で「一般設定」をタップした場合に表示されます。
※2 手順2でアカウントをタップした場合に表示されます。
※3 POP3アカウントの場合は表示されません。

お知らせ

- Eメール一覧画面でアカウント名をタップ →「統合表示」をタップすると、登録したすべてのEメールアカウントの受信メールを一覧で確認できます。
- Eメールアカウントを削除する場合は、Eメール一覧画面で ▭ →「設定」→ 🗑 → 削除したいEメールアカウントにチェックを付ける →「削除」→「削除」をタップします。
- Microsoft Exchange ActiveSyncアカウントの場合は、設定項目が異なります。

Eメールを作成して送信する

1 ホーム画面で ⠿ →「Eメール」

2 ✎ をタップ

- Eメール作成画面が表示されます。

3 「宛先」欄に送信先のメールアドレスを入力

- Cc/Bccを追加する場合は、▭ →「Cc/Bccを追加」をタップします。
- 👤 →「グループ」／「お気に入り」／「連絡先」／「履歴」をタップすると、電話帳のグループ、お気に入り、連絡先、履歴から宛先を選択して入力できます。
- 複数のEメールアカウントを設定している場合は、画面上部の送信元をタップして、Eメールアカウントを切り替えられます。

4 「件名」欄に件名を入力

5 本文欄に本文を入力

Ｓメモを添付／挿入する場合

／ →「Ｓメモ」→ 添付または挿入したいＳメモをタップします。
※ Ｓメモを添付する場合、ファイル形式を選択します。「JPG」を選択した場合はさらに画像のサイズを選択して、「OK」をタップします。

ファイルを添付する場合

→ 添付したいファイルの種類をタップ → 添付したいファイルをタップします。

登録済みのデータを挿入する場合

→ 挿入したいファイルの種類をタップ → 挿入したいファイルをタップします。

クイック返信用の定型文を挿入する場合

T⁺ → 挿入したい定型文をタップします。

日時を指定してＥメールを送信する場合

→「送信予約」→「送信予約」にチェックを付ける → 送信したい日時を設定 →「完了」をタップします。

送信するＥメールの優先度を設定する場合

→「優先度」→ 優先度を選択します。

送信するＥメールの既読／配信確認を設定する場合

→「追跡オプション」→「既読確認」／「配信確認」にチェックを付ける →「OK」をタップします。
※ お使いのメールサーバーによっては、「既読確認」「配信確認」が動作しないことがあります。

6 **をタップ**

作成中のＥメールを下書き保存する場合

→「下書きに保存」をタップします。

作成中のＥメールを削除する場合

→「破棄」→「いいえ」をタップします。

受信したEメールを確認する

1 **ホーム画面で →「Eメール」**

- Eメール一覧画面が表示されます。
- 複数のEメールアカウントが登録されている場合は、アカウント名をタップして表示するアカウントを選択し、Eメール一覧画面を表示します。

2 ** をタップ**

3 **確認したいEメールをタップ**

- 本文画面が表示されます。

お知らせ

- 「Eメール通知」（P.203）にチェックを付けている場合は、Eメールを受信すると、ステータスバーに などが表示されます。
- Eメール一覧画面で →「フォルダ」をタップすると、フォルダを切り替えられます。
- 送信元のメールアドレスをタップすると、メールアドレスを電話帳に登録したりEメールを送信したりできます。メールアドレスを電話帳に登録している場合は、連絡先を表示したりEメールを送信したりできます。
- データが添付されている場合はEメール一覧画面に が表示されます。本文画面で「XX件の添付」をタップするとファイル名や が表示されます。
  - ファイル名をタップすると、添付データを確認できます。
  - をタップすると、添付データを本端末に保存できます。

Eメール一覧画面／本文画面のメニュー

Eメール一覧画面／本文画面で ▭ をタップすると以下の項目が表示されます。

項目	説明
検索※1	Eメールを検索します。
フォルダ※1	フォルダの切り替えや削除、追加、名前の変更を行います。
並べ替え※1	Eメールを「日付（新しい順）」「日付（古い順）」「送信元（A～Z）」「送信元（Z～A）」「既読／未読」「お気に入り」「添付」「優先度」「件名（A～Z）」「件名（Z～A）」の順に並べ替えます。
表示モード※1	Eメール一覧画面の表示方法を切り替えます。
未読に変更※2	Eメールを既読から未読にします。
移動※2	Eメールを他のフォルダに移動します。
Eメールを保存※2	Eメールを本端末に保存します。
印刷※2	対応のプリンターを利用して、Eメールを印刷します。 → P.313
作成※2	Eメールを作成します。
グループとして保存※2	グループとして保存します。
文字サイズ※1 ※2	文字サイズを設定します。

項目	説明
優先送信元として設定／優先送信元から削除※2	送信元のメールアドレスを優先送信元として設定します。
設定※1 ※2	Eメールアカウントの設定を変更します。→ P.200
全て削除※1	すべてのEメールを削除します。

※1　Eメール一覧画面で表示されます。
※2　本文画面で表示されます。

お知らせ

- Eメール一覧画面でEメールをロングタッチすると、各種操作のメニューを表示できます。

Gmail

Gmailを利用して、Eメールの送受信ができます。

- Gmailを利用するには、Googleアカウントの設定が必要です（P.104）。Googleアカウントの設定画面が表示された場合、画面の指示に従って設定を行ってから操作してください。

Gmailを開く

1 ホーム画面で →「Gmail」

2 「受信トレイ」画面で読みたいメールをタップ

- 選択したメールの内容が表示されます。

Gmailを作成して送信する

1 ホーム画面で →「Gmail」

2 「受信トレイ」画面で

- メール作成画面が表示されます。

3 宛先に送信先のメールアドレスを入力

- 複数の相手に送信する場合は、カンマ（,）で区切ります。
- Cc/Bccを追加する場合は、 →「Cc/Bccを追加」をタップします。

4 「件名」欄に件名を入力

5 「メールを作成」欄に本文を入力

6 をタップ

作成中のメールを下書き保存する場合

→「下書き保存」をタップします。

下書き保存したメールを編集する場合

「受信トレイ」画面で → 「下書き」→ 編集する下書きをタップ → をタップします。

アカウントを切り替える

1 ホーム画面で →「Gmail」

2 「受信トレイ」画面で「受信トレイ」

3 切り替えるアカウントをタップ

- 選択したアカウントの受信トレイが表示されます。

お知らせ

- Gmailの詳細については、「受信トレイ」画面で →「ヘルプ」をタップしてご覧ください。

緊急速報「エリアメール」

気象庁から配信される緊急地震速報などを受信することができるサービスです。

- エリアメールはお申し込み不要の無料サービスです。
- 最大50件保存できます。
- 電源が入っていない、機内モード中、国際ローミング中、PINコード入力画面表示中などは受信できません。また、本端末のメモリ容量が少ないときは受信に失敗することがあります。
- 受信できなかったエリアメールを後で受信することはできません。

緊急速報「エリアメール」を受信したときは

エリアメールを受信すると、専用ブザー音または専用着信音が鳴りステータスバーに通知アイコンが表示され、受信画面が表示されます。

- ブザー音・着信音は最大音量で鳴動します。変更はできません。
- お買い上げ時は、マナーモード（サイレント、バイブ）設定中でもブザー音・着信音が鳴ります。鳴動しないように設定できます。

受信したエリアメールを表示する

1 **ホーム画面で ▦ →「災害用キット」**

- 初めて起動したときは機能概要や注意事項、使用許諾規約などが表示されるので、内容をよく読み、「同意して利用する」をタップします。

2 「緊急速報「エリアメール」」→ 確認したいエリアメールをタップ

緊急速報「エリアメール」を設定する

受信設定や着信音設定をします。また、受信時の動作確認もできます。

1 ホーム画面で → 「災害用キット」

2 「緊急速報「エリアメール」」→ → 「設定」

3 項目を設定

項目		説明
受信設定		エリアメールを受信するかどうかを設定します。
着信音		ブザー音・着信音の鳴動時間、マナーモード（サイレント、バイブ）設定時もブザー音・着信音を鳴らすかどうかを設定します。
受信画面および着信音確認		緊急地震速報、津波警報、災害・避難情報の受信画面とブザー音・着信音を確認します。
その他の設定	受信登録	緊急地震速報、津波警報、災害・避難情報以外で利用するエリアメールの登録や削除を行います。

トーク

Google トークはGoogleのインスタントメッセージプログラムです。Googleアカウントを所有する友だちとチャット（文字によるおしゃべり）ができます。Google トークを利用するには、Googleアカウントを設定する必要があります。

Google トーク利用の準備

Google トークを利用するには、ログインとメンバーの追加が必要です。ただし、すでにGoogleアカウントを設定している場合は、ログインなしでご利用になれます。

Google トークにログインする

1 ホーム画面で ⠿ →「トーク」

- 設定しているGoogleアカウントが表示されます。

お知らせ

- Googleアカウントの設定が完了していないと「Googleアカウントを追加」画面が表示されます。表示に従って操作してください。Googleアカウントをお持ちでない場合には、アカウントの取得操作もできます。
- Google トークの詳細については、Google トークの画面で ▭ →「ヘルプ」→「トーク」で検索してGoogle トークヘルプをご覧ください。

チャットする

1 ホーム画面で →「トーク」

2 チャット相手のアカウントをタップ

- チャット画面が表示されます。

3「メッセージを入力」欄に文字を入力 → ➤

- 入力した内容が送信されます。

ウェブブラウザ

ウェブブラウザを使用する

ブラウザを利用して、パソコンと同じようにウェブページを閲覧できます。

- ウェブページによっては、表示できない場合や、正しく表示されない場合があります。

ウェブブラウザを起動する

1 **ホーム画面で「ブラウザ」**
- ウェブブラウザが起動し、ホームページに設定されているウェブページ（お買い上げ時はdメニュー（http://smt.docomo.ne.jp/））が表示されます。

ブラウザ画面

① **アドレスバー**
ウェブページのURLや検索したいキーワードを入力します。

② **戻る／進む**

③ **再読み込み**

④ **ウィンドウ**
ウィンドウを切り替えたり、閉じたり、新しいウィンドウを開いたりします。 をタップするとシークレットモードでウェブページを閲覧できます。

⑤ **ブックマーク／履歴／保存したページ**
ブックマークの一覧／履歴の一覧／保存したページの一覧を表示します。

ウェブブラウザを終了する

1 **を1秒以上押す → → 「ブラウザ」の「終了」→「OK」**

- ブラウザ画面で を押したり をタップしてホーム画面に戻っても、ブラウザは終了しません。

お知らせ

- ブラウザ画面で次の操作ができます（表示中のウェブページにより操作できない場合があります）。
  - 拡大／縮小：拡大／縮小したい位置で2本の指の間隔を広げる／狭める
  - フレームで区切られた箇所を拡大／縮小：拡大／縮小したい位置でダブルタップ
  - スクロール：画面をスクロール／フリック
  - 前の画面に戻る：[戻る]をタップ
  - 拡大鏡の使用：画面をロングタッチ（文字がたくさんある箇所でのみ使用可能）
  - テキストのコピー：画面のリンクが貼られていないテキストをロングタッチ → ／ を上下左右にドラッグして、コピーしたいテキスト範囲を選択 →
  - テキストの検索：画面のリンクが貼られていないテキストをロングタッチ → ／ を上下左右にドラッグして、検索したいテキスト範囲を選択 → → 「検索」／「Web検索」
  - テキストの共有：画面のリンクが貼られていないテキストをロングタッチ → ／ を上下左右にドラッグして、共有したいテキスト範囲を選択 → → 「共有」→ 共有する方法をタップ

ウェブページのリンクを操作する

1 ブラウザ画面でリンクをロングタッチ

2 利用したい項目をタップ

項目	説明
開く	ウェブページを開きます。
新規ウィンドウで開く	ウェブページを新しいウィンドウで開きます。
リンクを保存	ウェブページを本端末／ microSDカードに保存します。
URLをコピー	URLをコピーします。
テキストを選択※1	テキストを選択します。
画像を保存※2	画像を本端末／ microSDカードに保存します。
画像をコピー※2	画像をクリップボードにコピーします。
画像を表示※2	画像を表示します。
壁紙に設定※2	画像をホーム画面の壁紙に設定します。

※1　リンクされているテキストでのみ表示されます。
※2　リンクされている画像でのみ表示されます。

お知らせ

- 表示中のウェブページにより、リンク操作のメニューが表示されない場合や、表示される項目が異なる場合があります。

ブラウザ画面のメニュー

ブラウザ画面で [menu] をタップすると以下の項目が表示されます。

項目	説明
新規ウィンドウ	新しいウィンドウを開きます。
ブックマーク登録	ウェブページをブックマークに追加します。→ P.221
ショートカットを追加	ウェブページのショートカットをホーム画面に追加します。
ページを共有	ウェブページのURLをオンラインサービスで共有したり、Bluetooth機能やメールなどで送信します。
ページ内検索	ウェブページ内に表示されている内容を検索します。
PC版を表示	PC版のウェブページを開くかどうかを設定します。
オフライン用に保存	表示中のウェブページを保存して、オフラインで読めるようにします。 • [★] →「保存したページ」→ 読みたいウェブページをタップすると、内容を確認できます。
明るさ	画面の明るさを調整します。
ダウンロード	ダウンロード済みやダウンロード中のデータの情報を確認します。
印刷	対応のプリンターを利用して、ブラウザ画面を印刷します。→ P.313

項目	説明
設定	→ P.224

履歴やブックマークを管理する

履歴からウェブページを表示する

1 ホーム画面で「ブラウザ」

2 ★ →「履歴」

- 履歴の一覧が表示されます。
- 閲覧日時の新しい順に履歴が表示されます。
- 「よく見るサイト」欄には、閲覧回数の多い順に履歴が表示されます。
- 履歴の ★（灰色）をタップすると、ブックマークに追加できます。ブックマークに追加済みの履歴には ★（橙色）が表示されます。

3 表示したいウェブページをタップ

お知らせ

- 履歴の一覧で ▤ →「履歴を消去」→「ＯＫ」をタップすると、履歴をすべて消去できます（「よく見るサイト」を含む）。

ウェブページをブックマークに追加する

1 ホーム画面で「ブラウザ」

2 ブックマークに追加するウェブページを表示 → [メニュー] →「ブックマーク登録」

3 ブックマークの名前を確認／変更 →「保存先」欄をタップ → 登録したいフォルダをタップ →「保存」

ブックマークからウェブページを表示する

1 ホーム画面で「ブラウザ」

2 [ブックマーク] →「ブックマーク」
- ブックマークの一覧が表示されます。

3 表示したいウェブページをタップ

お知らせ

- ブックマークの一覧で [メニュー] をタップすると、次の項目が表示されます。
  - 「リスト表示」／「サムネイル表示」：一覧の表示方法を変更します。
  - 「フォルダ作成」：フォルダを作成します。
  - 「並べ替え」：ブックマークの一覧の表示順を変更します。
  - 「フォルダに移動」：ブックマークの登録先を変更します。
  - 「削除」：ブックマークを削除します。

履歴／ブックマークのメニュー

履歴／ブックマークをロングタッチすると以下の項目が表示されます。

項目	説明
開く※1 ※2	表示中のウィンドウでウェブページを開きます。
新規ウィンドウで開く※1 ※2	新しいウィンドウでウェブページを開きます。
ブックマークから削除※1	履歴の中でブックマーク登録されているウェブページをブックマークから削除します。
ブックマーク登録※1	ブックマークに追加します（すでにブックマーク一覧に登録されている場合は、ロングタッチしても表示されません）。
ブックマークを編集※2	ブックマークの名前／URLを編集したり、保存先フォルダを変更できます。
ショートカットを追加※2	ブックマークのショートカットをホーム画面に追加します。
リンクを共有※1 ※2	ウェブページのURLをオンラインサービスで共有したり、Bluetooth機能やメールなどで送信します。

項目	説明
URLをコピー※1 ※2	ウェブページのURLをコピーします。
履歴から削除※1	ウェブページを履歴から削除します。
ブックマークを削除※2	ブックマークを削除します。
ホームページに設定※1 ※2	ウェブページをホームページとして設定します。

※1　履歴の一覧で表示されます。
※2　ブックマークの一覧で表示されます。

ウェブブラウザを設定する

1 ホーム画面で「ブラウザ」
2 →「設定」
3 設定したい項目をタップ

項目		説明
一般	ホームページを設定	ホームページを設定します。
	フォームの自動入力	ウェブフォームの入力欄をタップしたとき、「自動入力テキスト」に登録した内容を自動的に入力するかどうかを設定します。
	自動入力テキスト	ウェブフォームに自動的に入力する内容を登録します。
プライバシーとセキュリティ	キャッシュを消去	キャッシュデータを消去します。
	履歴を消去	閲覧履歴を消去します。
	セキュリティ警告を表示	ウェブページの安全性に問題がある場合に警告を表示します。
	Cookieを許可	Cookieの保存・読み取りを許可します。
	Cookieを消去	保存されたCookieを消去します。

項目		説明
プライバシーとセキュリティ	文字入力履歴を保存	ウェブページに入力した文字情報を保存します。
	文字入力履歴を消去	保存された文字入力履歴を消去します。
	位置情報を有効	本端末の位置情報へのアクセスを許可します。
	位置情報を消去	本端末のすべての位置情報を消去します。
	パスワードを保存	ウェブページに入力したユーザー名・パスワードを記憶させます。
	パスワードを消去	記憶されたユーザー名・パスワードを消去します。
	通知を有効にする	通知機能を有効にするかどうかを設定します。
	通知を消去	通知を消去します。

項目		説明
ユーザー補助	拡大縮小設定の上書き	「ユーザー補助」の設定を有効にして、すべてのウェブページで拡大／縮小できるようにするかどうかを設定します。
	テキストの拡大／縮小	文字サイズを設定します。
	ダブルタップ時のズーム率	ダブルタップ時の拡大率を設定します。
	最小フォントサイズ	最小文字サイズを設定します。
	反転レンダリング	反転レンダリングを設定するかどうかを設定します。
	コントラスト	反転レンダリングにチェックを付けた場合に、コントラストを設定します。
詳細設定	検索エンジンを選択	検索エンジンを設定します。
	バックグラウンドで開く	表示中のウィンドウの後ろに新規ウィンドウを表示します。
	Javaスクリプトを有効化	JavaScriptを有効にします。

項目		説明
詳細設定	各アプリに複数タブを許可	他のアプリケーションからブラウザを起動してウェブページを表示する場合、起動のたびに新しいウィンドウを表示するかどうかを設定します。
	プラグインを有効化	プラグインを有効にします。
	保存先	ダウンロードしたデータの保存先を設定します。
	Webサイト設定	位置情報にアクセスしたウェブページなどの詳細情報を表示します。
	表示倍率	ウェブページの表示倍率を設定します。
	ページを全体表示で開く	新しく開いたウェブページを全体表示します。
	ページの自動調整	画面サイズに合わせてウェブページを表示します。
	ポップアップをブロック	ポップアップウィンドウをブロックします。
	文字コード	文字エンコードを設定します。
	初期値にリセット	データ消去と設定リセットを行い、ブラウザの設定をお買い上げ時の状態に戻します。

<table>
<tr><th colspan="2">項目</th><th>説明</th></tr>
<tr><td rowspan="3">帯域幅の管理</td><td>検索結果のプリロード</td><td>ブラウザが信頼度の高い検索結果をバックグラウンドでプリロードできるように設定します。</td></tr>
<tr><td>ページのプリロード</td><td>ブラウザがページをバックグラウンドでプリロードできるように設定します。</td></tr>
<tr><td>画像の読み込み</td><td>画像表示の有無を設定します。</td></tr>
<tr><td rowspan="2">Labs</td><td>クイックコントロール</td><td>クイックコントロールを表示してブラウザを操作できるようにするかどうかを設定します。
• 画面の左端／右端から中央にスワイプするとクイックコントロールが表示され、そのまま実行したい操作アイコンまで指をドラッグして離すと、各種操作ができます。
• クイックコントロールにチェックを付けると、アドレスバーなどが表示されなくなります。</td></tr>
<tr><td>フルスクリーン</td><td>ステータスバーの表示を消して、ウェブページを全画面表示するかどうかを設定します。</td></tr>
</table>

本体設定

設定メニュー

画面の明るさや表示方法、着信音、通信などさまざまな設定を行うことができます。

1 ホーム画面で［メニュー］→「本体設定」

2 メニュー項目を選択して設定を行う

ホーム

ホーム切替

ホーム画面を切り替えます。

1 **ホーム画面で ▭ →「本体設定」→「ホーム切替」**

項目	説明
docomo Palette UI	ホーム画面をdocomo Palette UIに設定します。
TouchWiz標準モード	ホーム画面をTouchWiz標準モードに設定します。
TouchWizかんたんモード	ホーム画面をTouchWizかんたんモードに設定します。

無線とネットワーク

ワイヤレスネットワーク接続の設定をします。

項目			説明
Wi-Fi			→ P.232
Bluetooth			→ P.238
データ使用量			→ P.239
その他の設定	ネットワーク	機内モード	→ P.240
		モバイルネットワーク	データ通信やデータローミング、アクセスポイント（APN）、ネットワークモード、ネットワークオペレーターを設定します。
		テザリング	→ P.243
		VPN	→ P.246
	メディア共有	近くのデバイス	→ P.247
		AllShare Cast	端末の画面を他のデバイスと共有します。
	Kies	Wi-Fi Kies接続	→ P.250

Wi-Fi

本端末のWi-Fi機能を利用して、自宅や社内ネットワークの無線アクセスポイントに接続できます。また、公衆無線LANサービスのアクセスポイントに接続して、メールやインターネットを利用できます。

■ Bluetooth機能との電波干渉について

本端末の無線LANとBluetooth機能は同一周波数帯（2.4GHz）を使用しています。そのため、無線LANとBluetooth機能を近辺で使用すると、電波干渉が発生し、通信速度の低下、雑音や接続不能の原因になる場合があります。この場合、以下の対策を行ってください。

1. 無線LANとBluetoothデバイスは、20m以上離してください。
2. 20m以内で使用する場合は、Bluetoothデバイスの電源を切ってください。

お知らせ

- Wi-Fi機能がONのときもパケット通信を利用できます。ただしWi-Fiネットワーク接続中は、Wi-Fiが優先されます。Wi-Fiネットワークが切断されると、自動的にLTE／3G／GPRSネットワークでの接続に切り替わります。切り替わったままでご利用になる場合は、パケット通信料が発生しますのでご注意ください。
- Wi-Fi利用時にドコモサービスをWi-Fi経由で利用する場合は「Wi-Fiオプションパスワード」の設定が必要です。ホーム画面で［メニュー］→「本体設定」→「ドコモサービス」→「ドコモアプリWi-Fi利用設定」から設定ができます。

Wi-Fiを有効にしてネットワークに接続する

1 ホーム画面で [メニュー] →「本体設定」→「Wi-Fi」

2 [ON/OFF] をタップ

- 利用可能なWi-Fiネットワークのスキャンが自動的に開始され、一覧表示されます。

3 接続したいWi-Fiネットワークをタップ →「接続」

- セキュリティで保護されているWi-Fiネットワークに接続する場合は、パスワード（セキュリティキー）を入力し、「接続」をタップします。

WPSを利用して接続する場合

「WPS利用可能」と表示されているWi-Fiネットワークは、WPS（Wi-Fi Protected Setup）を利用して接続できます。Wi-Fiネットワークの一覧画面で [メニュー] →「WPSプッシュボタン」／「WPS PINエントリ」→ アクセスポイント側で操作を行います。

お知らせ

- 一度接続したWi-Fiネットワークのパスワード（セキュリティキー）は自動的に保存され、次回の接続時の入力は不要になります。

Wi-Fiオープンネットワークを通知する

利用可能なオープンネットワークが近くに存在している場合に通知するかどうかを設定します。

1 ホーム画面で [メニュー] →「本体設定」→「Wi-Fi」

2 [メニュー] →「詳細設定」

3 「ネットワーク通知」にチェックを付ける

Wi-Fiネットワークの接続を解除する

1 ホーム画面で [メニュー] →「本体設定」→「Wi-Fi」

2 接続中のWi-Fiネットワークをタップ →「切断」

Wi-Fiアクセスポイントを設定する

- 接続に必要な情報は、お使いの無線LANアクセスポイントの取扱説明書をご覧ください。社内LANに接続する場合や公衆無線LANサービスをご利用の場合は、接続に必要な情報をネットワーク管理者またはサービス提供者から入手してください。
- 無線LANアクセスポイントが、MACアドレスを登録している機器のみと接続するように設定されているときは、本端末のMACアドレスを無線LANアクセスポイントに登録してください。MACアドレスは、ホーム画面で ▭ →「本体設定」→「Wi-Fi」→ ▭ →「詳細設定」をタップすると確認できます。また、現在接続している無線LANアクセスポイントのIPアドレスも確認できます。

1 **ホーム画面で ▭ →「本体設定」→「Wi-Fi」**

2 **○ →「Wi-Fiネットワークを追加」**

3 **ネットワークSSIDを入力 → セキュリティ（認証方法）を設定**

- 利用可能な認証方法は「WEP」「WPA/WPA2 PSK」「802.1x EAP」です。

4 **パスワードを入力 →「保存」**

- セキュリティを「なし」に設定した場合は、パスワードの入力は不要です。

Wi-Fiのスリープ設定をする

本端末の画面の表示が消えたときにWi-Fiを無効にしたり、充電時には常に有効になるように設定したりできます。

1 ホーム画面で → 「本体設定」→「Wi-Fi」

2 → 「詳細設定」

3 「スリープ中のWi-Fi接続」→ スリープ設定を選択

静的IPアドレスを使用する

静的IPアドレスを使用してWi-Fiネットワークに接続するように本端末を設定できます。

1 ホーム画面で → 「本体設定」→「Wi-Fi」

2 をタップ

3 接続するWi-Fiネットワークをタップ →「拡張オプションを表示」にチェックを付ける

4 「IP設定」で「静的」をタップ

5 必要な項目を設定

- 静的IPアドレスを使用するには、以下の項目を入力する必要があります。
  - IPアドレス
  - ゲートウェイ
  - ネットワークプレフィックス長
  - DNS 1 ／ DNS 2

6 「接続」

Wi-Fi Directを利用する

Wi-Fi Direct対応デバイス同士を接続し、データのやりとりができます。

1 **ホーム画面で [メニュー] →「本体設定」→「Wi-Fi」**

2 **[スイッチ] →「Wi-Fi Direct」**

3 **検索されたデバイス名をタップ**

- 検索されたデバイス側で接続を承認すると、Wi-Fi Directで接続し、ステータスバーに [アイコン] が表示されます。
- 「スキャン」をタップして、デバイスの検索結果を更新することができます。

複数のデバイスと接続する場合

「複数接続」→ 接続するデバイスにチェックを付ける →「完了」をタップします。

■ Wi-Fi Directの接続を解除する

1 **ホーム画面で [メニュー] →「本体設定」→「Wi-Fi」→「Wi-Fi Direct」**

2 **「接続終了」→「OK」**

Bluetooth

1 ホーム画面で [メニュー] →「本体設定」→「Bluetooth」

2 [スイッチ] をタップ

3 [メニュー] → 項目を設定

項目	説明
デバイス名称を変更	本端末のデバイス名を編集します。
デバイスの公開時間	→ P.302
受信したファイル	受信したファイルを表示します。

お知らせ

- 「SC-03E」にチェックを付けると、他のBluetoothデバイスに本端末が表示されるようになります。
- 「スキャン」をタップすると他のBluetoothデバイスを再検索します。

データ使用量

データ通信の有効／無効の設定や、データ使用量の上限を設定します。データ使用量を測定する期間の設定もできます。

1 ホーム画面で [menu] →「本体設定」→「データ使用量」

- データ使用量画面が表示され、期間ごとやアプリケーションごとのモバイルデータ通信使用量（目安）が表示されます。
- 「モバイルデータ」にチェックを付けると、モバイルネットワーク経由のインターネットアクセスを有効にできます。
- グラフ上でモバイルデータ通信使用量の制限や警告を行う使用量の設定ができます。使用量の制限は、「モバイルデータ制限を設定」にチェックを付けているときのみ設定できます。

バックグラウンドデータを制限する場合

アプリケーションが自動的に行うデータ通信を制限できます。
データ使用量画面で [menu] →「バックグラウンド制限」にチェックを付けます。

機内モード

すべてのワイヤレス接続を無効にします。

1 ホーム画面で [メニュー] →「本体設定」→「その他の設定」→「機内モード」→「OK」

お知らせ

- [電源] を1秒以上押して表示される端末オプション画面で「機内モード」→「OK」をタップしても設定を切り替えることができます。
- 「機内モード」にチェックを付けるとWi-FiやBluetooth機能がOFFになりますが、機内モード中に再びONにすることができます。

アクセスポイントを設定する

インターネットに接続するためのアクセスポイント（spモード、mopera U）は、あらかじめ登録されており、必要に応じて追加、変更することもできます。
お買い上げ時には、通常使う接続先としてspモードが設定されています。

利用中のアクセスポイントを確認する

1 ホーム画面で [メニュー] →「本体設定」→「その他の設定」→「モバイルネットワーク」→「APN」

アクセスポイントを追加で設定する

1 ホーム画面で [メニュー] →「本体設定」→「その他の設定」→「モバイルネットワーク」→「APN」→ [メニュー] →「新規APN」

2 「タイトル」→ 作成するネットワークプロファイルの名前を入力 →「OK」

3 「APN」→ アクセスポイント名を入力 →「OK」

4 その他、通信事業者によって要求されている項目を入力

- 「携帯国番号」を440、「通信事業者コード」を10以外に変更しないでください。画面上に表示されなくなります。

5 [メニュー] →「保存」

お知らせ

- 携帯国番号、通信事業者コードの設定を変更して画面上に表示されなくなった場合は、設定リセットするか、手動でアクセスポイントの設定を行ってください。

アクセスポイントを初期化する

アクセスポイントを初期化すると、お買い上げ時の状態に戻ります。

1 ホーム画面で [メニュー] →「本体設定」→「その他の設定」→「モバイルネットワーク」→「APN」

2 [メニュー] →「設定リセット」

spモード

spモードはNTT ドコモのスマートフォン向けISPです。インターネット接続に加え、ｉモードと同じメールアドレス（@docomo.ne.jp）を使ったメールサービスなどがご利用いただけます。spモードはお申し込みが必要な有料サービスです。spモードの詳細については、ドコモのホームページをご覧ください。

mopera U

mopera UはNTT ドコモのISPです。mopera Uにお申し込みいただいたお客様は、簡単な設定でインターネットをご利用いただけます。mopera Uはお申し込みが必要な有料サービスです。

mopera Uを設定する

1 ホーム画面で [メニュー] →「本体設定」→「その他の設定」→「モバイルネットワーク」→「APN」

2 「mopera U」／「mopera U 設定」の ● をタップして ● （緑色）にする

お知らせ

- 「mopera U設定」はmopera U設定用アクセスポイントです。mopera U設定用アクセスポイントをご利用いただくと、パケット通信料がかかりません。なお、初期設定画面、および設定変更画面以外には接続できないのでご注意ください。mopera U設定の詳細については、mopera Uのホームページをご覧ください。

テザリングを利用する

テザリングとは一般に、スマートフォンなどのモバイル機器をモデムとして使い、無線LAN対応機器、USB対応機器をインターネットに接続させる機能です。

USBテザリングを設定する

本端末とパソコンを付属のUSB接続ケーブル SC02で接続し、インターネットに接続することができます。

- USBテザリングを行うには、専用のドライバをパソコンにインストールする必要があります。専用のドライバのダウンロードやその他詳細については、以下のホームページをご覧ください。

  <パソコンから> http://www.samsung.com/jp/support/download.html

1 **本端末とパソコンをUSB接続ケーブルSC02で接続**

- 接続方法については、「USB接続ケーブル SC02で接続する」（P.306）をご参照ください。

2 ホーム画面で [メニュー] →「本体設定」→「その他の設定」→「テザリング」

3 「USBテザリング」→ 注意事項の詳細を確認 →「OK」

お知らせ

- USBテザリング中はmicroSDカードをパソコンに接続できません。
- USBテザリングに必要なパソコンの動作環境（OS）は以下のとおりです。なお、OSのアップグレードや追加／変更した環境での動作は保証いたしかねます。
  - Windows XP（Service Pack 3以降）
  - Windows Vista
  - Windows 7

Wi-Fiテザリングを設定する

本端末をポータブルWi-Fiホットスポットとして利用し、無線LAN対応機器をインターネットに10台まで同時接続させることができます。

1 ホーム画面で [メニュー] →「本体設定」→「その他の設定」→「テザリング」→「Wi-Fiテザリング」

2 [スイッチ] をタップ

3 注意事項の詳細を確認 →「OK」

Wi-Fiテザリングのアクセスポイントを追加する

1 ホーム画面で [メニュー] →「本体設定」→「その他の設定」→「テザリング」→「Wi-Fiテザリング」

2 [ ] をタップ

3 注意事項の詳細を確認 →「OK」

4 「設定」

5 「ネットワークSSID」欄をタップし、ネットワークSSIDを入力

- お買い上げ時には、「AndroidHotspotXXXX」が設定されています。

6 「セキュリティ」

- 「オープン」「WPA PSK」「WPA2 PSK」から適切なものを選択します。

7 「パスワード」欄をタップし、パスワードを入力

- 「セキュリティ」を「オープン」に設定した場合は、パスワードの入力は不要です。

8 「保存」

お知らせ

- お買い上げげの状態では、セキュリティは「WPA2 PSK」に設定されています。
- Wi-Fiテザリングが接続されている状態で、Wi-Fiテザリング画面で「設定」→「マイデバイスを非表示」にチェックを付ける →「保存」をタップすると、接続されている無線LAN対応機器の接続が一時解除されますが、自動で再接続されます。

VPN（仮想プライベートネットワーク）に接続する

VPN（Virtual Private Network）は、保護されたローカルネットワーク内の情報に、別のネットワークから接続する技術です。VPNは一般に、企業や学校、その他の施設に備えられており、ユーザーは構内にいなくてもローカルネットワーク内の情報にアクセスできます。

- 本端末からVPNアクセスを設定するには、ネットワーク管理者からセキュリティに関する情報を得る必要があります。
- ISPをspモードに設定している場合は、PPTPはご利用いただけません。

VPNを追加する

1 **ホーム画面で →「本体設定」→「その他の設定」→「VPN」**

- 注意画面が表示された場合は、「OK」をタップし、画面の指示に従って画面ロック解除方法を設定します。

2 **「VPNネットワークを追加」**

VPNを編集する場合

編集するVPNをロングタッチ →「ネットワークを編集」→ 各項目を編集 →「保存」をタップします。

VPNを削除する場合

削除するVPNをロングタッチ →「ネットワークを削除」をタップします。

3 ネットワーク管理者の指示に従い、VPN設定の各項目を設定

4 「保存」

VPNに接続する

1 ホーム画面で [メニュー] →「本体設定」→「その他の設定」→「VPN」

2 接続したいVPNをタップ

3 必要な認証情報を入力 →「接続」
- ステータスバーに [鍵アイコン] が表示されます。

VPNを切断する

1 通知パネルを開く → VPN接続中を示す通知をタップ

2 「切断」

近くのデバイス

Wi-Fi機能を利用して他のクライアント（DLNA：Digital Living Network Alliance）機器から本端末のメディアファイルを共有して再生できます。

- 本機能を利用する場合は、あらかじめ本端末とアクセスする機器を、同じWi-Fiネットワークに接続してください。

近くのデバイスを設定する

1 ホーム画面で ≡ →「本体設定」→「その他の設定」→「近くのデバイス」

2 項目を設定

項目		説明
ファイル共有		コンテンツの共有を行うかどうかを設定します。
詳細設定	共有コンテンツ	共有するコンテンツを選択します。
	デバイス名称	本端末の名前を編集します。
	許可デバイスリスト	本端末にアクセス可能な機器リストを表示します。
	禁止デバイスリスト	本端末にアクセス不可の機器リストを表示します。
	ダウンロード先	他の機器から本端末にアップロードしたメディアファイルの保存先を設定します。
	他デバイスからアップロード	メディアファイルをアップロードしたときの本端末の動作を設定します。

お知らせ

- 許可デバイスリスト／禁止デバイスリストに追加されているデバイスを削除するには、「許可デバイスリスト」／「禁止デバイスリスト」→ 削除するデバイスにチェックを付ける →「削除」をタップします。

本端末にアクセスするDLNA機器を登録する

1 ホーム画面で ⊟ →「本体設定」→「その他の設定」→「近くのデバイス」

2 「ファイル共有」にチェックを付ける
- 注意画面が表示された場合は、「OK」をタップします。
- ステータスバーに が表示されます。

3 アクセスする機器から本端末への接続操作を行う
- アクセスを許可するかどうかの確認画面が表示されます。

4 「OK」
- アクセスした機器と接続され、許可デバイスリスト（P.248）に機器が追加されます。
- 「キャンセル」をタップするとアクセスを拒否します。禁止デバイスリスト（P.248）に機器が追加されます。

5 アクセスした機器から再生の操作を行う

Wi-FiでSamsung Kiesに接続する

Wi-Fiを使ってパソコンと接続し、Samsung Kies（P.307）に接続できます。

1 パソコンで「Samsung Kies」を起動

2 ホーム画面で [メニュー] →「本体設定」→「その他の設定」→「Wi-Fi Kies接続」→ 注意事項の詳細を確認 →「OK」

- 「Wi-Fi Kies接続」画面が表示されます。
- Wi-Fi機能がONになっていない場合は、ネットワーク接続画面が表示されます。接続方法を選択し、画面の指示に従って操作してください。

3 検索されたデバイス名をタップ

- パソコンでWi-Fi接続の要求画面が表示されたら、画面の指示に従って操作してください。

お知らせ

- 必ずパソコンと本端末を同じWi-Fiネットワークに接続してください。

デバイス

ブロックモード

着信、通知、アラームとタイマー、LEDインジケーターを無効に設定できます。

1 ホーム画面で [メニュー] →「本体設定」→「ブロックモード」

2 [ボタン] をタップ

3 項目を設定

項目		説明
機能	着信を無効化	設定した時刻の間、着信を無効にします。 • 「許可した連絡先」で設定した相手からは着信します。
	通知を無効化	設定した時刻の間、通知を無効にします。
	アラームとタイマーを無効化	設定した時刻の間、アラーム音やバイブレーションは鳴動せず、アラームやタイマーの画面のみ表示されます。
	LEDインジケーターを無効化	設定した時刻の間、LEDの点灯を無効にします。

項目		説明
時刻設定	常にON	常にブロックモードを設定するかどうかを設定します。
	開始	ブロックモードを設定する開始時刻を設定します。
	終了	ブロックモードを設定する終了時刻を設定します。
許可した連絡先	許可した連絡先	着信・通知を許可する連絡先を選択します。「カスタム」を選択すると、「許可した連絡先リスト」を設定できます。
	許可した連絡先リスト	許可した連絡先の一覧が表示されます。

サウンド

着信音やバイブレーションなどを設定します。

項目		説明
音量		→ P.255
バイブの強度設定		バイブレーションの強度を設定します。
着信音と通知	着信音	→ P.256
	バイブ	→ P.256
	標準通知音	→ P.256

項目		説明
着信音と通知	サウンドとバイブ	着信中やSMSなどの通知時のバイブレーションのON／OFFを設定します。
システム	キーパッド操作音	ダイヤル画面で数字キーをタップしたときの操作音のON／OFFを設定します。
	タッチ操作音	⊟ や ↩、メニュー項目をタップしたときの操作音のON／OFFを設定します。
	画面ロック音	画面ロック／ロック解除時の音のON／OFFを設定します。
	GPS通知	GPS通知時の音のON／OFFを設定します。
	タッチ操作バイブ	⊟ や ↩ をタップしたときのバイブレーションのON／OFFを設定します。
	自動反応バイブ	チェックを付けたアプリは、音に反応して本端末が自動的に振動します。 • バイブレーション機能があるアプリには、あらかじめチェックが付いています。ただし、チェックが付いていても本機能に対応していない場合、本機能は動作しません。

電話から鳴る音を消す

マナーモード（サイレント、バイブ）に設定すると、着信音や通知音などが鳴らなくなります。

1 通知パネルを開く

2 「サウンド」→「バイブ」／「サイレント」

- 「バイブ」に設定すると、ステータスバーに が表示されます。
- 「サイレント」に設定すると、ステータスバーに が表示されます。

お知らせ

- を1秒以上押して表示される端末オプション画面で「サイレント」／「バイブ」をタップしてもマナーモードを設定できます。
- マナーモードが設定されていないときに「サウンドとバイブ」にチェックを付けると、着信音やSMSなどの通知時に着信音／通知音とバイブレーションが鳴動します。「サウンドとバイブ」のチェックを外すと、着信音／通知音のみ鳴ります。
- マナーモード（サイレント、バイブ）設定中に「音量」の「着信音」を変更すると、マナーモード（サイレント、バイブ）が解除されます。

各種音量を調節する

1 ホーム画面で ▭ →「本体設定」→「サウンド」→「音量」

- 音量バーが表示されます。

項目	説明
音楽、動画、ゲーム、およびその他のメディア	音楽などの再生音量を調節します。
着信音	電話着信時の着信音量を調節します。
通知	通知（P.113）があったときの通知音量を調節します。
システム	タッチ操作音や画面ロック／ロック解除時、GPS通知のON／OFF音の音量を調節します。

2 各音量の ● を左右にドラッグ →「OK」

■ 音量キーで着信音量を調節する

1 ▯（音量キー）を押す

着信／通知を音や振動で知らせる

着信時や通知時に鳴らす着信音／通知音のメロディなどを設定したり、振動させるかどうかを設定したりします。

■ 着信音／通知音を設定する

1 **ホーム画面で [メニュー] →「本体設定」→「サウンド」→「着信音」／「標準通知音」**

2 **設定したい電話着信音／通知音をタップ →「OK」**

- 「サイレント」を選択すると、電話着信音／通知音は鳴りません。

■ バイブレーションを設定する

1 **ホーム画面で [メニュー] →「本体設定」→「サウンド」→「バイブ」→ 設定したいパターンを選択 →「OK」**

- 「バイブの強度設定」(P.252)でバイブレーションの強弱調節ができます。
- 「作成」をタップすると、自分でパターンを作成できます。

ディスプレイ

画面の明るさや表示方法などを設定します。

項目		説明
一般	壁紙	→ P.258
	LEDインジケーター	→ P.259
	通知パネル	通知パネルに表示する項目をカスタマイズします。
	マルチウィンドウ	画面を2つに分けて別々のアプリケーションを表示できるようにするかどうかを設定します。
	ページバディ	ONにすると、動作に応じたページをホーム画面に表示します。
画面	画面モード	画面モードを設定します。
	明るさ	→ P.260
	画面の自動回転	本端末の向きに合わせて縦横表示を自動的に切り替えるかどうかを設定します。
	画面のタイムアウト	画面の表示が消えるまでの時間を設定します。 設定時間の約6秒前に画面が少し暗くなってお知らせします。

項目		説明
機能	スマートローテーション	顔と本端末の向きを検出して、画面の自動回転を無効にするかどうかを設定します。
	スマートステイ	画面を見ていることを本端末が検出すると、画面タイムアウトが無効になるように設定します。 • 本機能動作中は、ステータスバーに [icon] が点滅します。
文字表示	フォントスタイル	画面のフォントを設定します。
	文字サイズ	画面の文字サイズを設定します。
その他の設定	タッチキーライト消灯時間	タッチキーライトの消灯時間を設定します。
	バッテリー残量を表示	バッテリー残量（%）をインジケーターに表示するかどうかを設定します。
	画面トーンの自動調整	表示されている画像に応じて画面のトーンを調整し、バッテリーの消耗を抑えるかどうかを設定します。

壁紙

ホーム画面やロック画面の壁紙を設定します。

1 **ホーム画面で [メニュー] →「本体設定」→「ディスプレイ」→「壁紙」**

2 項目を設定

項目	説明
ホーム画面	ホーム画面の壁紙を「ギャラリー」「ライブ壁紙」「壁紙」から選択します。
ロック画面	ロック画面の壁紙を「ギャラリー」「壁紙」から選択します。
ホーム画面とロック画面	ホーム画面とロック画面の壁紙を「ギャラリー」「ライブ壁紙」「壁紙」から選択します。

LEDインジケーターを設定する

画面の表示が消えている状態の通知LEDに関する設定をします。

1 ホーム画面で ▭ →「本体設定」→「ディスプレイ」→「LEDインジケーター」

2 項目を設定

項目	説明
充電中	本端末を充電しているときに通知LEDを点灯させるかどうかを設定します。
バッテリー残量不足	電池残量が少なくなったときに通知LEDを点滅させるかどうかを設定します。

項目	説明
通知	不在着信、未確認のメッセージやアプリケーションイベントがあるときに通知LEDを点滅させるかどうかを設定します。
録音	ボイスレコーダーなどで録音している間、通知LEDを点滅させるかどうかを設定します。 • 「通知」にチェックを付けると設定できます。

ディスプレイの明るさを調整する

お買い上げ時、ディスプレイの明るさは周囲の明るさにあわせて自動的に調整されるように設定されています。手動で調整する場合は、以下の操作を行います。

1. **ホーム画面で [メニュー] →「本体設定」→「ディスプレイ」→「明るさ」**
2. **「明るさの自動調整」のチェックを外す**
3. **「明るさレベル」の [●] を左右にドラッグ →「OK」**

お知らせ

- 本端末の温度が高い場合、過熱を防ぐために最大の明るさに設定することができません。

ストレージ

microSDカードや本端末のメモリ容量の確認や、microSDカードの初期化をします。

項目		説明
システムメモリ（本体）	合計容量	本端末の合計データ容量を表示します。 合計容量の下に、アプリや画像など保存されているデータの容量がカテゴリごとに表示されます。項目をタップすると、データを確認できます。
外部SDカード	合計容量※	microSDカードの合計データ容量を表示します。
	空き容量※	microSDカードのメモリの空き容量を表示します。
	外部SDカードのマウント解除※／外部SDカードのマウント	microSDカードのマウントを解除／microSDカードを認識させます。
	外部SDカードを初期化※	→P.59

※microSDカードを取り付けている場合のみ表示されます。

省電力モード

省電力モードに関する設定をします。

1 ホーム画面で [メニュー] →「本体設定」→「省電力モード」

2 [スイッチ] をタップ

3 項目を設定

項目		説明
省電力モード設定	CPUの省電力	CPUの最大パフォーマンスを制限します。
	画面の省電力	画面を暗く設定します。
	画面タップ時のバイブをOFF	画面タップ時のバイブレーションをOFFにしてバッテリーの消耗を抑えます。
省電力のヒント	省電力について	省電力モード設定の各内容に関する説明を表示します。

バッテリー

電池使用量データや電池残量などを表示します。

アプリケーション管理

アプリケーションの表示や、管理に関する設定をします。

項目	説明
ダウンロード	ダウンロードしたアプリを管理します。
実行中	現在実行中のサービスを表示／管理します。
全て	インストールされているアプリケーションを管理／削除します。

アプリケーションを無効化する

アプリケーションの無効化を設定したアプリケーションは、動作が停止し、アプリケーション画面に表示されなくなります。

- アンインストールとは異なります。
- アンインストールできない一部のアプリやサービスについて使用可能です。

1 ホーム画面で [メニュー] →「本体設定」→「アプリケーション管理」→「全て」

2 無効化するアプリケーションをタップ →「無効」→「OK」

お知らせ

- アプリケーションを無効化した場合、無効化されたアプリケーションと連動している他のアプリケーションが正しく動作しない場合があります。再度有効にすることで正しく動作します。再度有効にするには、ホーム画面で [メニュー] →「本体設定」→「アプリケーション管理」→「全て」→ リストの一番下までスクロール → 有効化するアプリケーションをタップ →「有効」をタップします。

パーソナル

ドコモサービス

ドコモサービスの利用に関する設定をします。

項目	説明
アプリケーション管理	定期アップデート確認などを設定します。
ドコモアプリWi-Fi利用設定	Wi-Fi経由でドコモサービスを利用するための設定を行います。
ドコモアプリパスワード	ドコモアプリで利用するパスワードを設定します。 • お買い上げ時は「0000」に設定されています。
オートGPS	オートGPS機能の設定や、測位した場所の履歴を表示します。
ドコモ位置情報	イマドコサーチ／イマドコかんたんサーチ／ケータイお探しサービスの位置情報サービス機能を設定します。
docomo Wi-Fiかんたん接続	docomo Wi-Fiや自宅のWi-Fiをかんたん、便利に利用するための設定を行います。
データ量確認アプリ	データ通信量の集計間隔、計測の開始・停止などを設定します。
オープンソースライセンス	オープンソースライセンスを表示します。

位置情報サービス

位置情報検索に関する設定をします。

項目	説明
無線ネットワークを使用	Wi-Fiまたはモバイルネットワークで位置情報を特定するかどうかを設定します。
GPS機能を使用	より精度の高い位置情報を検出できます。ただし本端末の電池消費量が大きくなります。
位置情報履歴	検出した位置情報の履歴を保存します。
位置情報とGoogle検索	Googleに位置情報データの使用を許可するかどうかを設定します。

ロック画面

画面ロックの解除方法などを設定します。

項目	説明
画面ロック	→ P.268
スワイプロック	→ P.269
ロック画面オプション	→ P.269
顔認識性能を改善	明るさの違う場所や眼鏡をかけたときなど、さまざまな状態で顔を撮影し顔認識の精度を改善します。
動的イメージを確認	顔認証で画面ロック解除時に、まばたきも必要とするように設定します。
パターンを表示	画面ロック解除時にパターンの軌跡を表示するかどうかを設定します。
自動的にロック	画面の表示が消えてから画面ロックがかかるまでの時間を設定します。
電源キーですぐにロック	⊖を押すとすぐに画面ロックがかかるように設定します。
画面タップ時のバイブ	画面ロック解除時に端末が振動するように設定します。
オーナー情報	入力した情報がロック画面に表示されます。

※ 表示される項目は画面ロックの設定によって異なります。

画面ロックの解除方法を設定する

画面ロックの解除時に、あらかじめ設定しておいたロック解除パターンやPIN、パスワードをタッチスクリーンで入力したり、顔認証をしなければならないように設定できます。

1 ホーム画面で [メニュー] →「本体設定」→「ロック画面」→「画面ロック」

2 画面ロックの解除方法を選択 → 画面の指示に従って入力

- 「PIN」は4～16桁の数字、「パスワード」はアルファベットを含む4～16桁の文字で設定してください。

お知らせ

- 画面ロックをOFFにするには、ホーム画面で [メニュー] →「本体設定」→「ロック画面」→「画面ロック」→ 設定した解除方法を入力 →「なし」をタップします。
- 解除パターンやPIN、パスワードの入力に5回失敗すると、30秒後に再度入力するようメッセージが表示されます。
  解除パターンを忘れた場合は、再入力の画面で「パターンを忘れた場合」をタップし、本端末に設定したGoogleアカウントにサインインするか、パターン設定時に入力したバックアップPINを入力すると、画面ロックを解除できます。PINやパスワード、バックアップPINを忘れた場合は、画面ロックの解除ができませんのでご注意ください。

- フェイスアンロック／パターン／ PIN ／パスワードで解除方法を設定すると、さらに詳細な設定項目が表示されます。詳細項目の「スワイプロック」にチェックを付けると、設定した解除操作の前にをタップする操作が必要になります。
- フェイスアンロックを設定するときは、本端末を顔の正面で持って、画面に表示される枠の中に顔が入るようにしてください。

ロック画面オプション

ロック解除画面に表示するショートカットや時計などを設定します。画面ロックの解除方法を「スワイプ／タッチ」「モーション」、または「なし」以外に設定して「スワイプロック」にチェックを付けると選択できます。

- 本機能は、ホーム画面を「TouchWiz標準モード」または「TouchWizかんたんモード」に設定したときのロック解除画面で動作します。

1 **ホーム画面で → 「本体設定」→「ロック画面」→「ロック画面オプション」**

2 **項目を設定**

項目		説明
ディスプレイ	ショートカット	ロック解除画面に表示するショートカットを設定します。
	テロップ情報	ロック解除画面にテロップ情報を表示させる設定をします。

項目		説明
ディスプレイ	時計	ロック解除画面に時計を表示させる設定をします。
	デュアル時計	ローミング時、ロック解除画面にデュアル時計を表示させる設定をします。
	天気予報	ロック解除画面に天気予報を表示させる設定をします。
	波紋エフェクト	波紋エフェクト（画面に触れたときに波紋のように表示される効果）を表示させる設定をします。 • ロック画面に「ライブ壁紙」が設定されていると、波紋エフェクトは無効になります。
	ヘルプ	ロック解除画面にヘルプテキストを表示させる設定をします。

項目		説明
機能	カメラクイック起動	ロック解除画面で画面をロングタッチして本端末を横に傾けたとき、カメラを起動できるように設定します。 • 画面ロックの解除方法を「スワイプ／タッチ」「モーション」以外に設定している場合は、ロック解除画面で画面をロングタッチして本端末を横に傾けたあとに解除方法を入力するとカメラが起動します。

セキュリティ

セキュリティに関する設定をします。

項目		説明
暗号化	端末を暗号化※	本端末内のデータ（アプリケーション、ファイルなど）を暗号化します。暗号化を行うと、本端末の電源を入れるたびにパスワードの入力が必要になります。 • 端末の暗号化には時間がかかります。十分に充電された状態で開始し、暗号化が完了するまで本端末の充電を継続してください。 • 暗号化を解除する場合は、ホーム画面で →「本体設定」→「セキュリティ」→「端末を復号」をタップし、画面の指示に従って操作してください。

項目		説明
暗号化	外部SDカードを暗号化※	microSDカードに保存されているデータを暗号化し、他の端末やパソコンで使用できないようにします。 • 暗号化を解除する場合は、ホーム画面で →「本体設定」→「セキュリティ」→「外部SDカードを暗号化」→ 解除したい項目のチェックを外し、画面の指示に従って操作してください。
端末リモート追跡	リモートコントロール	遠隔で本端末のロック、データの削除、追跡ができます。詳細については、http://www.samsungdive.comをご参照ください。 → P.280
	SIM変更アラート	ドコモminiUIMカードが差し替えられたときに他の携帯電話にSMSを送信します。→ P.279
	端末リモート追跡Webページ	SamsungDiveのホームページを表示します。

項目		説明
SIMカードロック	SIMカードロックを設定	→ P.278
パスワード	パスワードを表示	パスワードの入力画面で、入力した文字を表示するかどうかを設定します。
デバイス管理	デバイス管理機能	デバイス管理者を有効にするかどうかを設定します。
	提供元不明のアプリ	Google Playで提供されるアプリケーション以外のアプリケーションのインストールを許可するかどうかを設定します。
認証情報ストレージ	信頼できる認証情報	信頼された証明書を表示します。
	ストレージからインストール	ユーザーメモリ（本体）から証明書のインストールを行います。
	証明書を消去	すべての証明書データとパスワードを削除します。

※ 画面ロック（P.268）を「パスワード」に設定すると、本機能を利用できます。「パスワード」は英数字を含む6～16桁の文字で設定してください。

本端末で利用する暗証番号について

本端末を便利にお使いいただくための各種機能には、暗証番号が必要なものがあります。本端末の画面ロック用パスワードやネットワークサービスでお使いになるネットワーク暗証番号などがあります。用途ごとに上手に使い分けて、本端末を活用してください。

- 入力した画面ロック用PIN／パスワード、ネットワーク暗証番号、PINコード、PINロック解除コード（PUK）は、「●」で表示されます。

■ 各種暗証番号に関するご注意

- 設定する暗証番号は「生年月日」「電話番号の一部」「所在地番号や部屋番号」「1111」「1234」などの他人にわかりやすい番号はお避けください。また、設定した暗証番号はメモを取るなどしてお忘れにならないようお気をつけください。
- 暗証番号は、他人に知られないように十分ご注意ください。万が一暗証番号が他人に悪用された場合、その損害については、当社は一切の責任を負いかねます。
- 各種暗証番号を忘れてしまった場合は、契約者ご本人であることが確認できる書類（運転免許証など）や本端末、ドコモminiUIMカードをドコモショップ窓口までご持参いただく必要があります。詳しくは、裏表紙の「総合お問い合わせ先」までご相談ください。
- PINロック解除コードは、ドコモショップでご契約時にお渡しする契約申込書（お客様控え）に記載されています。ドコモショップ以外でご契約されたお客様は、契約者ご本人であることが確認できる書類（運転免許証など）とドコモminiUIMカードをドコモショップ窓口までご持参いただくか、裏表紙の「総合お問い合わせ先」までご相談ください。

■ 画面ロック用PIN ／パスワード
本端末の画面ロック機能を使用するための暗証番号です。

■ ネットワーク暗証番号
ドコモショップまたはドコモ インフォメーションセンターでのご注文受付時に契約者ご本人を確認させていただく際や各種ネットワークサービスご利用時などに必要な数字４桁の番号です。ご契約時に任意の番号を設定いただきますが、お客様ご自身で番号を変更できます。
パソコン向け総合サポートサイト「My docomo」※の「docomo ID ／パスワード」をお持ちの方は、パソコンから新しいネットワーク暗証番号への変更手続きができます。
なおｄメニューからは、ｄメニュー →「お客様サポートへ」※ →「各種お申込・お手続き」からお客様ご自身で変更ができます。
※「My docomo」「お客様サポート」については、P.481をご覧ください。

■ PINコード

ドコモminiUIMカードには、PINコードという暗証番号を設定できます。この暗証番号は、ご契約時は「0000」に設定されていますが、お客様ご自身で番号を変更できます。

PINコードは、第三者による本端末の無断使用を防ぐため、ドコモminiUIMカードを取り付ける、または本端末の電源を入れるたびに使用者を認識するために入力する4～8桁の番号（コード）です。PINコードを入力することにより、発着信および端末操作が可能となるように設定できます。

- 新しく本端末を購入されて、現在ご利用中のドコモminiUIMカードを差し替えてお使いになる場合は、以前にお客様が設定されたPINコードをご利用ください。
- PINコードの入力を3回連続して間違えると、PINコードがロックされて使用できなくなります。この場合は、「PINロック解除コード」（PUK）を入力してロックを解除してから、PINコードの再設定を行ってください。
  「PUKコード」欄にPINロック解除コード（8桁）を入力 → 「新しいPINコード」欄に新しいPINコードを入力 → 「OK」 → 再度新しいPINコードを入力 → 「OK」をタップします。

■ PINロック解除コード（PUK）

PINロック解除コードは、PINコードがロックされた状態を解除するための8桁の番号です。なお、PINロック解除コードはお客様ご自身では変更できません。

- PINロック解除コードの入力を10回連続して間違えると、ドコモminiUIMカードがロックされます。ロックされた場合は、ドコモショップ窓口までお問い合わせください。

PINコードを設定する

本端末の電源を入れたときにPINコードを入力しないと使用できないように設定できます。

1 ホーム画面で [メニュー] →「本体設定」→「セキュリティ」→「SIMカードロックを設定」→「SIMカードロック」→ PINコードを入力 →「OK」

- 「SIMカードロック」にチェックが付きます。

PINコードを変更する

1 ホーム画面で [メニュー] →「本体設定」→「セキュリティ」→「SIMカードロックを設定」→「SIMカードロック」→ PINコードを入力 →「OK」

- 「SIMカードロック」にチェックが付きます。

2 「SIM PINを変更」→ 画面の指示に従って現在のPINコードと新しいPINコードを入力

SIM変更アラートを有効にする

ドコモminiUIMカードが差し替えられたときに、本端末固有の情報が指定した電話番号にSMSで自動的に送信されるように設定できます。

1 ホーム画面で □ →「本体設定」→「セキュリティ」→「SIM変更アラート」

2 Samsungアカウントを設定

- 画面の指示に従って設定します。
- 既存のSamsungアカウントがある場合は、サインインしてください。

3 ○ をタップ

4 「アラートメッセージ」→ SMSに表示されるメッセージを入力 →「OK」

5 「作成」→ SMSの送信先電話番号を入力 →「OK」

- 先頭に「+」、続いて送信先の国番号を入力後、先頭の「0」を除いた電話番号を入力します。
- 日本の国番号は「81」です。
- 「電話帳」をタップすると、登録済みの連絡先から送信先を選択できます。

6 「保存」

リモート機能を有効にする

遠隔で本端末のロック、位置確認とデータの削除ができる機能です。

1 Googleアカウントの設定を行う

2 Samsungアカウントの設定を行う

- 画面の指示に従って設定します。
- 既存のSamsungアカウントがある場合は、サインインしてください。

3 ホーム画面で [メニュー] →「本体設定」→「セキュリティ」→「リモートコントロール」※

- 説明画面が表示された場合は、「OK」をタップします。

4 パソコンでhttp://www.samsungdive.comのページを開く

5 Samsungアカウントでログイン後、画面に従って設定を行う

※ Googleアカウント、Samsungアカウントが登録されると、「リモートコントロール」は自動でONになるため、本端末での操作は不要となります。パソコンで手順4から実施してください。

言語と文字入力

使用する言語と入力方法、Google音声検索や、テキスト読み上げ機能を設定します。

項目		説明
言語		使用する言語を設定します。
キーボードと入力方法	標準	入力方法を設定します。
	Google音声入力	→ P.100
	Samsung keyboard（日本語不可）	→ P.98
	Samsung日本語キーパッド	→ P.94
	ドコモ文字編集	→ P.101
音声	音声検索	音声検索時に使用する言語などを設定します。
	音声読み上げ出力	テキストを読み上げるための音声合成エンジンの設定や、読み上げ速度などを設定します。

項目		説明
マウス／トラックパッド	ポインター速度	マウス／トラックパッド使用時のポインターの速度を設定します。

バックアップとリセット

Googleアプリケーションのバックアップと復元や本端末のリセットを行います。

項目		説明
バックアップと復元	データのバックアップ	Googleアプリケーションの設定やデータなどをGoogleサーバーにバックアップします。
	バックアップアカウント	バックアップするアカウントを設定します。
	自動復元	アプリケーションの再インストール時に、バックアップした設定およびデータを復元します。

項目		説明
個人データ	工場出荷状態に初期化	本端末をお買い上げ時の状態にリセットします。 • microSDカードに保存されているデータは削除されません。削除する場合は、「外部SDカードを初期化」（P.59）を行います。 • microSDカードに保存されているデータを暗号化している場合は、暗号化を解除してから（P.273）、本端末の初期化を行ってください。暗号化したデータが使用できなくなります。

アカウント

アカウントを設定する

1 ホーム画面で［メニュー］→「本体設定」→「アカウント追加」

2 追加したいアカウントの種類をタップ

3 画面の指示に従って設定

- Facebookなどログインが必要なオンラインサービスの場合は、メールアドレスやパスワードなどを入力して「ログイン」をタップします。

お知らせ

- 登録済みのアカウントを修正する場合は、アカウントを削除してから登録し直してください。
- 同期させる項目を変更するには、ホーム画面で［メニュー］→「本体設定」→アカウントの種類をタップ→変更するアカウントをタップ→同期させる項目のみチェックを付けます。
- 手動で同期させる場合は、ホーム画面で［メニュー］→「本体設定」→アカウントの種類をタップ→同期するアカウントをタップ→「すぐに同期」をタップします。

Samsungアカウントについて

Samsungアカウントを設定すると、SIM変更アラートを設定できるようになります。また、SamsungDiveを利用して、本端末をリモートコントロールすることもできます。

- Samsungアカウントは、ホーム画面で [メニュー] →「本体設定」→「アカウント追加」→「Samsungアカウント」をタップして、画面の指示に従って設定します。
- SamsungDiveの詳細については、以下のホームページをご覧ください。
  http://www.samsungdive.com

お知らせ

- Samsungアカウントに設定したパスワードはメモを取るなどしてお忘れにならないようお気をつけください。また、パスワードを忘れた場合は、SamsungDiveで新しいパスワードを登録できます。
  ① ホーム画面で [メニュー] →「本体設定」→「セキュリティ」→「端末リモート追跡Webページ」
    - ブラウザでhttp://www.samsungdive.comにアクセスしても設定することができます。
  ②「サインイン」→「電子メールまたはパスワードを取得してください。」
  ③ 画面の指示に従って新しいパスワードを登録

Facebookなどのアカウントについて

Facebook、Googleなどオンラインサービスのアカウントを設定し、本端末と各種サービスのサーバーとの間でデータの同期や送受信ができます。

- Microsoft Exchange ActiveSyncアカウントを設定し、Microsoft Exchange Server 2007（および以前のバージョン）と同期させることもできます。

お知らせ

- 各アカウントの設定は、インターネットに接続できる環境で行ってください。
- 本端末をご利用になる国・地域によっては、自動同期などの機能が利用できない場合があります。
- 各アカウントの取得方法については、以下のホームページをご覧ください。
  - docomoアカウント：http://www.nttdocomo.co.jp/
  - Windows Live Hotmailアカウント：http://windowslive.jp.msn.com/
  - Facebookアカウント：http://www.facebook.com/
- Microsoft Exchange ActiveSyncアカウントを設定する場合は、設定情報などについてネットワーク管理者にお問い合わせください。

アカウントを削除する

登録したアカウントを削除すると、本端末に保存されたアカウントのデータ（メッセージや連絡先、設定など）も削除されます。

- サーバーに保存されたデータは削除されません。

1 ホーム画面で ▭ →「本体設定」→ アカウントの種類をタップ

2 削除したいアカウントをタップ →「アカウントを削除」→「アカウントを削除」

お知らせ

- 登録されているアカウントによっては、削除できない場合があります。削除するには、「工場出荷状態に初期化」（P.283）を実行してください。

システム

モーション

本体の傾きなどを感知して本端末を操作することができるモーションの設定をします。

※ ドコモが提供するアプリケーション、およびその他一部のアプリケーションでは、モーション機能を利用できない場合があります。

1 **ホーム画面で → 「本体設定」→「モーション」**

2 **をタップ**

3 **項目を設定**

項目		説明
モーション	ダイレクトコール	→ P.74
	スマートアラート	→ P.75
	ダブルタップで移動	→ P.75
	傾けてズーム	→ P.75
	パンニングで編集	→ P.76
	パンニングで画像を閲覧	→ P.76
	振って更新	→ P.77

項目		説明
モーション	伏せて消音／一時停止	→ P.77
感度設定とチュートリアル	感度設定	ジャイロスコープの調整など、感度の設定をします。
	モーションについて	各モーションの説明を表示します。また、チュートリアルを実行できます。
手のモーション	手のひらでキャプチャ	→ P.77
	手のひらで消音／一時停止	→ P.78
手のモーションのチュートリアル	手のモーションについて	手のモーションの説明を表示します。また、チュートリアルを実行できます。

アクセサリ

アクセサリの設定をします。

項目		説明
ドック設定	ドック音	ドックから本端末を着脱する際に音を鳴らすかどうかを設定します。
	オーディオ出力モード	本端末をドックに接続したときに外部スピーカーが使用できるようにするかどうかを設定します。
	デスクホーム画面	本端末をドックに接続したときにデスクホーム画面を表示するかどうかを設定します。
HDMI	オーディオ出力	HDMI接続をしたときのオーディオ出力を設定します。

日付と時刻

お買い上げ時は「自動」（ネットワーク上の日付・時刻情報を自動的に取得して補正）に設定されています。日付・時刻を手動で設定するには､「自動日時設定」のチェックを外してから設定を行います。

項目	説明
自動日時設定	ネットワーク上の日付・時刻情報を基にして、自動的に補正します。
日付設定※	日付を設定します。
時刻設定※	時刻を設定します。
自動タイムゾーン	自動でタイムゾーンを設定します。
タイムゾーンを選択	タイムゾーンを設定します。
24時間形式を使用	時刻を24時間表記に切り替えます。
日付の表示形式を選択	年月日の表記方法を切り替えます。

※Googleアカウントを設定していると、日付・時刻情報が自動的に補正されることがあります。

ユーザー補助

通話終了時の動作や、ユーザーの操作に音や振動で反応するユーザー補助アプリケーションを設定します。

項目		説明
システム	画面の自動回転	本端末の向きに合わせて縦横表示を自動的に切り替えます。
	画面のタイムアウト	画面の表示が消えるまでの時間を設定します。
	パスワードの音声出力	TalkBackを利用して、入力したパスワードを音声で読み上げるかどうかを設定します。
	通話応答／終了	を押して電話に出たり、を押して通話を終了するかどうかを設定します。
	ユーザー補助ショートカット	を1秒以上押して表示される端末オプション画面にユーザー補助ショートカットを追加するかどうかを設定します。
サービス	TalkBack	ユーザーの操作に音や振動で反応したり、テキストを読み上げたりするユーザー補助サービスを有効にします。 • お買い上げ時は、日本語に対応していません。

項目		説明
視覚	文字サイズ	画面の文字サイズを設定します。
	ネガポジ反転	画面のカラーを反転します。
	Webアクセシビリティを向上	アプリケーションからウェブコンテンツへのアクセスを簡単に行えるスクリプトをインストールするかどうかを設定します。
聴覚	モノラル再生	片方のイヤホンだけで聴きやすくするために、オーディオをモノラルに変更します。
	全ての音をOFF	受話音声を含む、すべての音をOFFに設定します。
動き	長押しの調整	タッチパネルをロングタッチする時間を設定します。

お知らせ

- Google Playから、ユーザー補助サービスに対応するアプリケーションをダウンロードして設定することもできます。
- 「サービス」(TalkBack)の使用を許可すると、クレジットカード番号などの個人情報、ユーザーインターフェイスでのやりとりなども記録されますので、ご注意ください。万が一、登録されたデータや情報の漏洩が発生しましても、当社としては責任を負いかねますので、あらかじめご了承ください。

- 「サービス」（TalkBack）を初めてONにしたときは、タッチガイド機能もONにするかどうかの確認画面が表示されます。タッチガイドとは、指の位置にあるアイテムの説明を読み上げたり表示したりする機能です。タッチガイド機能をONにすると、項目の選択は一度タップして選択してからダブルタップ、スクロールは2本の指での操作になります。また、タッチガイド機能だけを個別にOFFにすることはできません。タッチガイド機能をOFFにするには、本端末を初期化してください。
- ホーム画面がdocomo Palette UIのときに、「サービス」（TalkBack）が正常に動作しないことがあります。

開発者向けオプション

アプリケーション開発時に利用できるオプションを設定します。

端末情報

電話番号や電池残量、法定情報などの情報を確認できます。

項目		説明
ソフトウェア更新		→ P.446
ステータス		電池残量や電話番号などを表示します。
法定情報	オープンソースライセンス	オープンソースの使用許諾条件を確認します。
	Google利用規約	Googleの利用規約を確認します。

項目		説明
法定情報	ライセンス設定	DivX® VOD：登録コードの確認と解除を行います。→ P.295
モデル番号		型番を確認します。
Androidバージョン		ソフトウェアのバージョンを確認します。
ベースバンドバージョン		
カーネルバージョン		
ビルド番号		

自分の電話番号を確認する

1 ホーム画面で ▤ →「本体設定」→「端末情報」→「ステータス」

- 「電話番号」に自分の電話番号が表示されます。

DivX® VODの登録キーを確認する

DivX® VODの登録キーとは、DivX® VOD（Video on Demand）ファイルを再生するために必要な登録キーです。登録方法などの詳細については、http://vod.divx.com をご覧ください。

1 ホーム画面で ▤ →「本体設定」→「端末情報」→「法定情報」→「ライセンス設定」→「DivX® VOD」→「登録」

- 登録コードが表示されます。

ファイル管理

マイファイル

本端末やmicroSDカードに保存されている静止画や動画、音楽や文書などさまざまなデータの表示や管理を行えます。

1 ホーム画面で ⊞ →「マイファイル」

- 各フォルダのショートカット一覧画面が表示されます。お買い上げ時は、「画像」「動画」「音楽」「ドキュメント」のショートカットが登録されています。ショートカットは追加できます（P.297）。

2 利用したいフォルダのショートカットをタップ → 必要に応じてフォルダをタップ

- フォルダ／ファイル一覧画面が表示されます。
- 利用したいショートカットがない場合やmicroSDカードに保存されているファイルを利用する場合は、「全てのファイル」→「sdcard0」（本端末）／「extSdCard」（microSDカード）→ 利用したいフォルダをタップします。
- フォルダ／ファイルにチェックを付けると、以下の項目が表示されます。

項目	説明
🗑	フォルダ／ファイルを削除します。
≺	ファイルをオンラインサービスで共有、Bluetooth機能やメールなどで送信、他のアプリケーションで使用します。

項目	説明
	フォルダ／ファイルの移動やコピー、名前の変更ができます。また、詳細情報を確認できます。

3 利用したいファイルをタップ

- ファイルが表示／再生されます。

マイファイルのメニュー

ショートカット一覧画面、フォルダ／ファイル一覧画面で をタップすると以下の項目が表示されます。

■ ショートカット一覧画面

項目		説明
検索		ファイルを検索します。
ショートカットを追加		ショートカットを追加します。
ショートカットを削除※		ショートカットを削除します。 • お買い上げ時に登録されているショートカットは削除できません。
設定	隠しファイルを表示	隠しファイルを表示するかどうかを設定します。
	ファイル拡張子を表示	ファイル拡張子を表示するかどうかを設定します。
	カテゴリを表示	マイファイルを起動したときにショートカット一覧画面を表示するかどうかを設定します。

項目		説明
設定	ホームディレクトリを設定	ホームディレクトリを設定します。
	画像ディレクトリを設定	お買い上げ時に登録されている各ショートカットのディレクトリを設定します。
	動画ディレクトリを設定	
	音楽ディレクトリを設定	
	ドキュメントディレクトリを設定	

※ 追加したショートカットがある場合のみ表示されます。

■ フォルダ／ファイル一覧画面

項目	説明
フォルダ作成	フォルダを新規に作成します。
検索	ファイルを検索します。
表示設定	一覧の表示方法を設定します。
ソート	一覧の表示順を変更します。

<table>
<tr><th colspan="2">項目</th><th>説明</th></tr>
<tr><td rowspan="8">設定</td><td>隠しファイルを表示</td><td>隠しファイルを表示するかどうかを設定します。</td></tr>
<tr><td>ファイル拡張子を表示</td><td>ファイル拡張子を表示するかどうかを設定します。</td></tr>
<tr><td>カテゴリを表示</td><td>マイファイルを起動したときにショートカット一覧画面を表示するかどうかを設定します。</td></tr>
<tr><td>ホームディレクトリを設定</td><td>ホームディレクトリを設定します。</td></tr>
<tr><td>画像ディレクトリを設定</td><td rowspan="4">お買い上げ時に登録されている各ショートカットのディレクトリを設定します。</td></tr>
<tr><td>動画ディレクトリを設定</td></tr>
<tr><td>音楽ディレクトリを設定</td></tr>
<tr><td>ドキュメントディレクトリを設定</td></tr>
<tr><td colspan="2">全て選択</td><td>表示されているフォルダ／ファイルをすべて選択します。</td></tr>
</table>

Bluetooth通信

本端末とBluetoothデバイス間で、無線でデータのやりとりができます。

- Bluetooth対応バージョンやプロファイルについては、「主な仕様」(P.451)をご参照ください。
- 設定や操作方法については、接続するBluetoothデバイスの取扱説明書もご覧ください。
- 本端末とすべてのBluetoothデバイスとのワイヤレス接続を保証するものではありません。

■ Bluetooth機能使用時のご注意

1. 本端末と他のBluetoothデバイスとは、見通し距離10m以内で接続してください。周囲の環境(壁、家具など)や建物の構造によっては、接続可能距離が極端に短くなることがあります。
2. 他の機器(電気製品、AV機器、OA機器など)から2m以上離れて接続してください。特に電子レンジ使用時は影響を受けやすいため、必ず3m以上離れてください。近づいていると、他の機器の電源が入っているときに正常に接続できないことがあります。また、テレビやラジオに雑音が入ったり映像が乱れたりすることがあります。
3. 放送局や無線機などが近くにあり周囲の電波が強すぎると、正常に接続できないことがあります。
4. Bluetoothデバイスが発信する電波は、電子医療機器などの動作に影響を与える可能性があります。場合によっては事故を発生させる原因になりますので、電車内、航空機内、病院内、自動ドアや火災報知器から近い場所、ガソリンスタンドなど引火性ガスの発生する場所では本端末の電源および周囲のBluetoothデバイスの電源を切ってください。

■ 無線LAN対応機器との電波干渉について

本端末のBluetooth機能と無線LAN対応機器は同一周波数帯（2.4GHz）を使用するため、無線LAN対応機器の近辺で使用すると、電波干渉が発生し、通信速度の低下、雑音や接続不能の原因になる場合があります。この場合、以下の対策を行ってください。

1. Bluetoothデバイスと無線LAN対応機器は、20m以上離してください。
2. 20m以内で使用する場合は、Bluetoothデバイスまたは無線LAN対応機器の電源を切ってください。

■ Bluetooth機能のパスコードについて

Bluetooth機能のパスコードは、接続するBluetoothデバイス同士が初めて通信するとき、相手機器を確認して、お互いに接続を許可するための認証用コードです。送信側／受信側とも同一のパスコード（最大16文字の半角英数字）を入力する必要があります。

- 本端末ではパスコードを「PIN」「パスキー」と表示している場合があります。

Bluetooth機能を有効にして本端末を検出可能にする

1 ホーム画面で [メニュー] →「本体設定」→「Bluetooth」

2 [○] をタップ

3 [メニュー] をタップ

4 「デバイスの公開時間」→ 項目を選択

- 設定した公開時間内で、本端末が別のBluetoothデバイスから検出可能になります。
- 「タイムアウトなし」を選択した場合、本端末は常に別のBluetoothデバイスから検出可能な状態になります。

本端末のデバイス名を変更する場合

「デバイス名称を変更」→ 名前を入力 →「OK」をタップします。

お知らせ

- Bluetooth機能を使用しないときは、電池の消耗を防ぐため、Bluetooth機能をOFFにしてください。
- Bluetooth機能のON／OFF設定は、電源を切っても変更されません。

他のBluetoothデバイスとペアリング／接続する

本端末と他のBluetoothデバイスをBluetooth機能で接続し、データのやりとりを行うには、あらかじめ他のデバイスとペアリング（接続設定）を行い、本端末に登録後、接続を行います。

- Bluetoothデバイスによって、ペアリングのみ行うデバイスと接続までを続けて行うデバイスがあります。

1 ホーム画面で [メニュー] →「本体設定」→「Bluetooth」

2 [ ] をタップ

- 検出されたBluetoothデバイスが一覧表示されます。
- Bluetoothデバイスが表示されない場合は、「スキャン」をタップして再度検索します。

3 接続したいデバイスをタップ

4 パスコードを確認またはパスコード（PIN）を入力 →「OK」

- ペアリング時にパスコードが必要なデバイスの場合も一度ペアリングを行うと、次回の接続時にはパスコードの入力は不要になります。

他のデバイスからペアリング要求を受けた場合

Bluetooth通信のペアリングを要求する画面が表示された場合は、必要に応じて「OK」またはパスコード（PIN）を入力→「OK」をタップします。

接続を解除する場合

Bluetoothデバイスの一覧表示で、接続中のデバイスをタップ→「OK」をタップします。

ペアリングを解除する

1 ホーム画面で [メニュー] →「本体設定」→「Bluetooth」

2 [○] をタップ

3 ペアリングを解除したいデバイスの [設定] →「ペアリングを解除」

Bluetooth機能でデータを送受信する

- あらかじめ本端末のBluetooth機能をONにし、検出可能にしてください。

Bluetooth機能でデータを送信する

連絡先（vcf形式の連絡先データ）、静止画、動画などのファイルを、他のBluetoothデバイス（パソコンなど）に送信できます。

- 送信は各アプリケーションの「共有」「送信」などのメニューから行ってください。

Bluetooth機能でデータを受信する

1 「ファイル転送」画面が表示されたら、「承認」

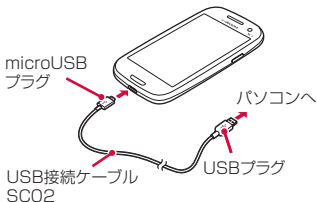
- ステータスバーに ⬇ が表示され、データの受信が開始されます。
- 通知パネルで受信状態を確認できます。
- 受信が完了したら通知パネルを開き、「Bluetooth共有：受信」をタップすると、受信したデータの一覧が表示されます。表示／再生したいデータをタップすると、受信したデータを確認することができます。

パソコン接続

USB接続ケーブル SC02で接続する

本端末とパソコンを付属のUSB接続ケーブル SC02で接続すると、パソコンの「Samsung Kies」（P.307）とデータを同期したり、本端末をメディアデバイスとして認識（P.308）させたりできます。

1 **本端末の外部接続端子に、USB接続ケーブル SC02のmicroUSBプラグを差し込み、本端末をパソコンに接続**

- microUSBプラグは、⭠⭢ の印刷面を上にして水平に差し込みます。

お知らせ

- USB接続ケーブル SC02のUSBプラグはパソコンのUSBコネクタに直接接続してください。USB HUBやUSB延長ケーブルを介して接続すると、正しく動作しないことがあります。
- データ転送中にUSB接続ケーブル SC02を取り外さないでください。データが破損する恐れがあります。
- 接続可能なOSは、Windows XP、Windows Vista（32/64bit）、Windows 7（32/64bit）です。
- 本端末をパソコンから取り外すときは、パソコン側のタスクトレイで本端末の安全な取り外しを行ってください。安全な取り外しを行わないと、本端末に保存されているデータが破損する恐れがあります。

Samsung Kiesを利用する

Samsung Kiesを利用して、連絡先、音楽、動画などのデータを本端末と同期したり、本端末のソフトウェアを更新したりできます。

- Samsung KiesはSamsungのホームページからダウンロードして、パソコンにインストールします。
  詳細については、Samsungのホームページをご覧ください。
  http://www.samsung.com/jp/support/usefulsoftware/KIES/JSP

1 **本端末とパソコンをUSB接続ケーブル SC02で接続**

- 接続方法については、「USB接続ケーブル SC02で接続する」（P.306）をご参照ください。

2 **パソコンで「Samsung Kies」を起動**

- Samsung Kiesの使いかたについては、ヘルプメニューの「Kiesチュートリアル」をご覧ください。

メディアデバイスとして使用する

本端末とパソコンを付属のUSB接続ケーブル SC02で接続すると、本端末がメディアデバイス（MTP）として認識され、音楽や動画などのメディアファイルを転送できます。

1 **本端末とパソコンをUSB接続ケーブル SC02で接続**

- 接続方法については、「USB接続ケーブル SC02で接続する」（P.306）をご参照ください。

2 **通知パネルを開く →「メディアデバイスとして接続」と表示されていることを確認**

- 「カメラとして接続」と表示されている場合は、「カメラとして接続」→「メディアデバイス（MTP）」にチェックを付けます。

3 **パソコンを操作して本端末とパソコン間でデータを転送**

カメラデバイスとして使用する

本端末とパソコンを付属のUSB接続ケーブル SC02で接続してカメラ（PTP）モードにすると、本端末で撮影した静止画や動画をパソコンに転送できます。

- カメラ（PTP）モードは、MTP非対応のパソコンなどにデータを転送する場合に使用します。

1 **本端末とパソコンをUSB接続ケーブルSC02で接続**

- 接続方法については、「USB接続ケーブル SC02で接続する」（P.306）をご参照ください。

2 **通知パネルを開く→「メディアデバイスとして接続」→「カメラ（PTP）」にチェックを付ける**

3 **パソコンを操作して本端末とパソコン間でデータを転送**

AllShare Play

AllShare Playでは、オンラインストレージや他のデバイスとファイルを共有することができます。

- AllShare Playを利用するには、Samsungアカウントが必要です。
- デバイスによっては一部のファイルを再生できない場合があります。

AllShare Playを設定する

1 ホーム画面で ⠿ →「AllShare Play」

- 初めて起動したときは、表示される画面で「開始」をタップします。
- モバイルネットワーク接続に関する通知画面が表示された場合は「OK」をタップします。
- Samsungアカウントを設定していない場合は「サインイン」をタップしてSamsungアカウントにサインインしてください。

2 ▭ →「設定」→ 項目を設定

項目	説明
登録済みストレージ	オンラインストレージを管理します。
登録済みデバイス	デバイスを管理します。
Webサービスを設定	各種ウェブサービスにサインインします。

項目	説明
デバイスから写真を自動アップロード	本端末で撮影した静止画や動画をオンラインストレージに自動的にアップロードする機能の設定を行います。
動画の画質設定	デバイスに最適な品質で動画を再生するかどうかを設定します。
AllShare Playをロック	AllShare Playをロックします。
言語	言語を選択します。
サービス情報	AllShare Playの詳細情報を表示します。
お問い合わせ	お問い合わせ先にメールを送信できます。

本端末にあるファイルをオンラインストレージや他のデバイスにアップロードする

1 ホーム画面で ⊞ →「AllShare Play」

2 「登録済みデバイス」から本端末をタップ

3 ファイルの種類のタブをタップ → アップロードするファイルの □ をタップ

- アップロードするファイルにチェックが付きます。

4 ➡ → アップロード先をタップ

- アップロードを開始します。
- アップロードを中止する場合は、通知パネルを開き、⊗ をタップします。

オンラインストレージや他のデバイスにあるファイルを本端末で再生する

1 ホーム画面で →「AllShare Play」

2「登録済みストレージ」または「登録済みデバイス」から、ファイルを再生するストレージまたはデバイスをタップ

- ストレージやデバイスが表示されない場合は、 →「更新」をタップして再度検索します。

3 本端末でファイルの再生操作を行う

お知らせ

- ネットワーク接続や相手機器の状態によっては、再生が中断される場合があります。

プリンターを利用する

Wi-Fi機能を利用してEPSON製対応プリンターで印刷できます。

- あらかじめ無線LAN（Wi-Fi）およびプリンター側の設定を行ってください。
- 本端末とプリンターは、同一のWi-Fiネットワークに接続されている必要があります。

プリンターで印刷する

1 印刷可能なアプリケーションの画面で ［メニュー］ →「印刷」

- 印刷プレビュー画面が表示されます。確認画面が表示された場合は、「OK」をタップします。
- 初回印刷時はプリンターの選択画面が表示されます。使用するプリンターを選択し、手順3へ進んでください。

2 ［設定］をタップ

- プリンターの設定画面が表示されます。

3 各項目を設定 → 画面上部の ［＜ 印刷］ をタップ

- 印刷プレビュー画面に戻ります。

4 ［印刷］をタップ

- 印刷をキャンセルするには、［×］をタップします。

お知らせ

- 本端末に対応しているプリンターについては、以下のホームページをご覧ください。
http://www.epson.jp/products/colorio/printer/
- プリンターの種類によって、設定画面に表示される項目は異なります。

アプリケーション

dメニュー

dメニューでは、ドコモのおすすめするサイトや便利なアプリケーションに簡単にアクセスすることができます。

1 ホーム画面で ⊞ →「dメニュー」
- ブラウザが起動し、「dメニュー」が表示されます。

お知らせ

- dメニューのご利用には、パケット通信（LTE/3G/GPRS）もしくはWi-Fiによるインターネット接続が必要です。
- dメニューへの接続およびdメニューで紹介しているアプリケーションのダウンロードには、別途パケット通信料がかかります。なお、ダウンロードしたアプリケーションによっては自動的にパケット通信を行うものがあります。
- dメニューで紹介しているアプリケーションには、一部有料のアプリケーションが含まれます。

dマーケット

dマーケットでは、自分に合った便利で楽しいコンテンツを手に入れることができます。

- dマーケットの詳細については、ドコモのホームページをご覧ください。

1 ホーム画面で →「dマーケット」

- 初めて起動したときは使用許諾契約書が表示されるので、内容をよく読み、「同意する」にチェックを付けて「利用開始」をタップします。

Playストア

- Google Playのご利用には、Googleアカウントの設定が必要です（P.104）。

アプリケーションをインストールする

1 **ホーム画面で →「Playストア」**

- 初めて起動したときは利用規約が表示されるので、内容をよく読み、「同意する」をタップします。

2 **ダウンロードしたいアプリケーションを検索し、タップ → 詳細を確認**

3 **無料アプリケーションの場合は「インストール」→「同意してダウンロード」、有料アプリケーションの場合は金額欄をタップ →「次へ」→ 画面の指示に従って操作**

- ダウンロードとインストールが完了すると、ステータスバーに が表示されます。
- 多くの機能または大量のデータにアクセスするアプリケーションには特にご注意ください。ダウンロードの操作を行うと、本端末でのこのアプリケーションの使用に関する責任を負うことになります。

お知らせ

- アプリケーションのインストールは安全であることを確認の上、自己責任において実施してください。ウイルスへの感染や各種データの破壊などが発生する可能性があります。
- 万が一、お客様がインストールを行ったアプリケーションなどにより各種動作不良が生じた場合、当社では責任を負いかねます。この場合、保証期間内であっても有料修理となります。
- お客様がインストールを行ったアプリケーションなどにより自己または第三者への不利益が生じた場合、当社では責任を負いかねます。
- アプリケーションによっては、自動的にパケット通信を行うものがあります。パケット通信は、切断するかタイムアウトにならない限り、接続されたままです。
- 購入したアプリケーションに満足しない場合、規定の時間内であれば返金要求ができます。なお、返金要求は各アプリケーションに対して最初の一度のみとなります。
- Google Playの詳細については、Google Playの画面で [メニュー] →「ヘルプ」をタップしてご覧ください。
- アプリケーションのアンインストールについては、「アプリケーションのアンインストール」(P.145)をご参照ください。

Samsung Apps

Samsung Appsを利用して、Samsungのおすすめする豊富なアプリケーションを簡単にダウンロードすることができます。

Samsung Appsを開く

1 ホーム画面で ⊞ →「Samsung Apps」

- 初めて起動したときは免責条項が表示されるので、内容をよく読み、「同意する」をタップします。

2 利用したいアプリケーションを検索してダウンロード

お知らせ

- Samsung Appsは国や地域によってはご利用になれない場合があります。詳細については、Samsung Appsサイト内のサポートページをご覧ください。

おサイフケータイ

お店などの読み取り機に本端末をかざすだけで、お支払いやクーポン券などとして使える「おサイフケータイ対応サービス」や、家電やスマートポスターなどにかざして情報にアクセスできる「かざしてリンク対応サービス」がご利用いただける機能です。さらに、ネットワークを使って電子マネーの入金や残高、ポイントの確認などができます。また、紛失時の対策として、おサイフケータイの機能をロックすることができるので、安心してご利用いただけます。

- おサイフケータイの詳細については、『ご利用ガイドブック（spモード編）』をご覧ください。
- おサイフケータイ対応サービスをご利用いただくには、サイトまたはアプリケーションでの設定が必要です。
- 本端末の故障により、ICカード内データ（電子マネーやポイントのバリューを含む）が消失・変化してしまう場合があります（修理時など、本端末をお預かりする場合は、データが残った状態でお預かりすることができませんので、原則データをお客様自身で消去していただきます）。データの再発行や復元、一時的なお預かりや移し替えなどのサポートは、おサイフケータイ対応サービス提供者にご確認ください。重要なデータについては、必ずバックアップサービスのあるおサイフケータイ対応サービスをご利用ください。
- 故障・機種変更など、いかなる場合であっても、ICカード内データが消失・変化、その他おサイフケータイ対応サービスに関して生じた損害について、当社としては責任を負いかねます。

- 本端末の盗難、紛失時は、すぐにご利用のおサイフケータイ対応サービス提供者に対応方法をお問い合わせください。
- おサイフケータイをご利用いただく場合は電池パックSC07を取り付けてください。電池パックSC07にはFeliCaアンテナが搭載されています。
- 本端末はiCお引っこしサービスには対応しておりません。

「おサイフケータイ対応サービス」を利用する

おサイフケータイ対応サービスをご利用いただくには、おサイフケータイ対応サイトよりおサイフケータイ対応アプリをダウンロード後、設定を行ってください。なお、サービスによりおサイフケータイ対応アプリのダウンロードが不要なものもあります。

1 **ホーム画面で ⠿ →「おサイフケータイ」**
- サービス情報を取得してサービス一覧を更新します。
- 「初期設定」(P.104)でおサイフケータイの初期設定を行わなかった場合は初期設定画面が表示されるので、画面の指示に従って操作してください。

2 **利用したいサービスをタップ**

3 **サービスに関する設定を行う**

4 **マークを読み取り機にかざす**
- 読み取り機と通信できます。

お知らせ

- おサイフケータイ対応アプリを起動せずに、読み取り機とのデータの読み書きができます。
- 本端末の電源を切っていても利用できますが、電池パックを取り付けていない場合は利用できません。電池パックを取り付けていても、本端末の電源を長時間入れなかったり、電池残量が少なかったりする場合は、利用できなくなることがあります。

「かざしてリンク対応サービス」を利用する

かざしてリンク対応サービスをご利用いただくには、アプリケーションが必要な場合があります。なお、「ICタグ･バーコードリーダー」アプリ（P.140）を利用して、ICチップが内蔵された機器、またはスマートポスターなどに マークをかざして利用できます。

読み取り機やICチップが内蔵された機器など、対向機にかざす際の注意事項

マークを読み取り機にかざすことで、通信を行うことができます。

読み取り機にかざすときは次のことに注意してください。

- マークを対向機にかざす際に、強くぶつけないようにご注意ください。
- マークは対向機の中心に平行になるようにかざしてください。
- マークを対向機にかざす際はゆっくりと近づけてください。
- マークを対向機の中心にかざしても読み取れない場合は、本端末を少し浮かす、または前後左右にずらしてかざしてください。
- マークと対向機の間に金属物があると読み取れないことがあります。また、ケースやカバーに入れたことにより、通信性能に影響を及ぼす可能性がありますのでご注意ください。

おサイフケータイの機能をロックする

「おサイフケータイ ロック設定」を利用すると、おサイフケータイの機能やサービスの利用を制限できます。おサイフケータイのロックは、本端末の画面ロック、SIMカードロックとは異なります。

1 **ホーム画面で → 「おサイフケータイ」**

2 **「ロック設定」→ 新しいパスワードを入力 → 再度パスワードを入力 → 「OK」**

- パスワードをすでに設定している場合は、「ロック設定」→ パスワードを入力 →「OK」をタップします。

ロックを解除する場合

「ロック設定」→ パスワードを入力 →「OK」をタップします。

パスワードを変更する場合

「ロック設定」→「PW変更」→ パスワードを入力 → 新しいパスワードを入力 → 再度新しいパスワードを入力 →「OK」をタップします。

トルカ

トルカとは、ケータイに取り込むことができる電子カードです。店舗情報やクーポン券などとして、読み取り機やサイトから取得できます。取得したトルカは「トルカ」アプリに保存され、「トルカ」アプリを利用して表示や検索、更新ができます。

- トルカの詳細については、『ご利用ガイドブック（spモード編）』をご覧ください。

1 ホーム画面で ⠿ →「トルカ」

- 初めて起動したときは利用許諾契約が表示されるので、内容をよく読み、「同意する」をタップします。

お知らせ

- トルカを取得、表示、更新する際には、パケット通信料がかかる場合があります。
- ｉモード端末向けに提供されているトルカは、取得、表示、更新ができない場合があります。
- IP（情報サービス提供者）の設定によっては、次の機能がご利用になれない場合があります。
  - 読み取り機からの取得
  - 更新
  - トルカの共有
  - microSDカードへの移動／コピー
  - 地図表示
- IPの設定によって、トルカ（詳細）からの地図表示ができるトルカでもトルカ一覧からの地図表示ができない場合があります。
- おサイフケータイ ロック設定中は、読み取り機からトルカを取得できません。

- 「重複チェック」にチェックを付けている場合は、保存済みトルカと同じトルカを読み取り機から重複して取得できません。同じトルカを重複して取得したいときは、トルカ一覧画面で →「設定」→「重複チェック」のチェックを外してください。
- メールを利用してトルカを送信する際は、トルカ（詳細）取得前の状態で送信されます。
- ご利用のメールアプリによっては、メールで受信したトルカを保存できない場合があります。
- ご利用のブラウザによっては、トルカを取得できない場合があります。
- トルカをmicroSDカードに移動、コピーする際は、トルカ（詳細）取得前の状態で移動、コピーされます。
- おサイフケータイの初期設定を行っていない状態では、読み取り機からトルカを取得できない場合があります。

ワンセグ

ワンセグは、モバイル機器向けの地上デジタルテレビ放送サービスで、映像・音声と共にデータ放送を受信することができます。また、より詳細な番組情報の取得や、クイズ番組への参加、テレビショッピングなどを気軽に楽しめます。
「ワンセグ」サービスの詳細については、下記ホームページでご確認ください。
社団法人　デジタル放送推進協会：
http://www.dpa.or.jp/

ワンセグのご利用にあたって

ワンセグは、テレビ放送事業者（放送局）などにより提供されるサービスです。映像、音声の受信には通信料がかかりません。なお、NHKの受信料については、NHKにお問い合わせください。
データ放送領域に表示される情報は「データ放送」「データ放送サイト」の２種類があります。
「データ放送」は映像・音声と共に放送波で表示され、「データ放送サイト」はデータ放送の情報から、テレビ放送事業者（放送局）などが用意したサイトに接続し表示します。
「データ放送サイト」などを閲覧する場合は、パケット通信料がかかります。
サイトによっては、ご利用になるために情報料が必要なものがあります。

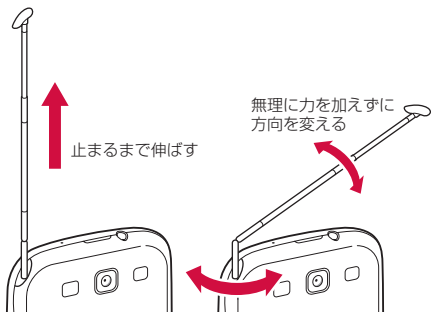
放送波について

ワンセグは、放送サービスの1つであり、Xiサービスおよび FOMA サービスとは異なる電波（放送波）を受信しています。そのため、XiサービスおよびFOMA サービスの圏外／圏内にかかわらず、放送波が届かない場所や放送休止中などの時間帯は受信できません。
また、地上デジタルテレビ放送サービスのエリア内であっても、次のような場所では、受信状態が悪くなったり、受信できなくなったりする場合があります。

- 放送波が送信される電波塔から離れている場所
- 山間部やビルの陰など、地形や建物などによって電波がさえぎられる場所
- トンネル、地下、建物内の奥まった場所など電波の弱い場所および届かない場所

受信状態を良くするためには、ワンセグアンテナを十分伸ばしてください。また、アンテナの向きを変えたり、場所を移動したりすることで受信状態が良くなることがあります。

ワンセグアンテナについて

ワンセグアンテナの方向を変える際は、無理に力を加えないでください。

お知らせ

- ワンセグアンテナをご使用の際は、ワンセグアンテナを最後まで引き出してください。ワンセグアンテナを最後まで引き出していない状態で無理な力を加えると、破損の原因となります。
- ワンセグアンテナをしまうときは、ワンセグアンテナの根元を持って止まるまで引っ込めます。ワンセグアンテナの先端を持って引っ込めないでください。

ワンセグを視聴する

1 ホーム画面で ⠿ →「ワンセグ」

- 視聴画面（P.332）が表示されます。
- 操作画面（P.333）が表示された場合は、テレビ映像プレビュー、チャンネル、「全画面表示」のいずれかをタップすると、視聴画面に切り替わります。
- 初めて起動したときやチャンネルエリアが登録されていない場合は、チャンネルエリアの設定を行います（P.341）。

お知らせ

- 電波状態によっては、映像や音声が途切れたり、止まったりすることがあります。
- ワンセグ視聴時、「伏せて消音／一時停止」（P.77）「手のひらで消音／一時停止」（P.78）機能で音声を自動的にミュートすることはできませんが、▯を使用することで、手動で音声をミュートにできます。
- マナーモード（サイレント、バイブ）に設定していても、音量（P.255）の設定によっては音声が再生されることがありますので、▯で音量を調節してください。

Bluetoothヘッドセットに転送する

1 **視聴画面で [メニューキー] →「BTヘッドセットに転送」**

- Bluetooth機能がOFFの状態では、ONに設定するようメッセージが表示されます。「OK」をタップして、Bluetooth機能をONにします。

2 **接続するデバイスをタップ**

- デバイスが検出されない場合は「スキャン」→接続するデバイスをタップします。

3 **必要な場合は、ペアリングのためのパスコード（PIN）を入力 →「OK」**

お知らせ

- SCMS-T対応のBluetoothヘッドセットでのみ、動作します。

視聴画面について

視聴画面

① **テレビ映像**
- 左右にフリックすると、チャンネルを切り替えます。
- ロングタッチすると、番組の詳細情報を表示します。

② **字幕**
- [メニュー] →「設定」→「画面設定」→「字幕」にチェックを付けると、字幕が表示されます。

③ **データ放送**

④ **電波状態／チャンネル／番組名**

⑤ **ポップアップTV画面**
- タップするとポップアップTV画面になります。他のアプリケーションを操作しながらワンセグを視聴できます。

⑥ **テレビ操作パネル**

- ＜／＞ でチャンネルを切り替えます。
- チャンネルの数字をタップすると、操作画面の「CHリスト」タブを表示します。
- 09 で音量を調節します。

⑦ **データ放送操作パネル**

- ▲／▼ で項目にカーソルを合わせ、「選択」をタップして項目を選択します。リンク先のデータ放送が表示されます。
- 「戻る」をタップすると、リンクの履歴を戻ります。

■ **視聴画面でのキー操作**

- （電源／画面ロックキー）で、画面をロックします。画面ロック中は が表示されます。
- （音量キー）で、音量を調節します。

■ **ポップアップTV画面での操作**

- ポップアップTV画面をドラッグすると、お好みの場所に移動できます。
- ポップアップTV画面をダブルタップすると、視聴画面に戻ります。
- ポップアップTV画面をタップ → ✕ をタップすると、ワンセグを終了します。

操作画面について

1 **視聴画面でチャンネルの数字をタップ**

2 **画面上部のタブをタップ**

CHリストタブ

操作画面（CHリストタブ）

① **タブ**
- タップすると、各タブに切り替わります。

② **テレビ映像プレビュー**
- タップすると、視聴画面を表示します。

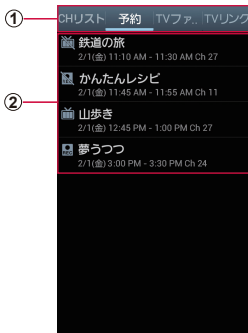
③ **チャンネル／番組名**

④ **チャンネルリスト**
- チャンネルをタップすると、視聴画面を表示します。
- チャンネルをロングタッチ →「削除」をタップすると、チャンネルリストから削除できます。

⑤ **番組表**
- タップすると、視聴中チャンネルの番組一覧を表示します。

⑥ **全画面表示**
- タップすると、視聴画面を表示します。

■ CHリストタブでのキー操作
- ▯（音量キー）で、音量を調節します。

予約タブ

操作画面（予約タブ）

① タブ
- タップすると、各タブに切り替わります。

② 予約一覧
REC：録画予約（成功した予約を含む）
📺：視聴予約（成功した予約を含む）
REC：失敗した録画予約
📺：失敗した視聴予約
- 未実行の予約をタップすると、予約内容を変更できます。
- 未実行の予約をロングタッチ→「削除」→「ＯＫ」をタップすると、予約を削除できます。
- 実行済みの予約をタップすると、結果の確認と一覧からの削除ができます。

TVファイルタブ

操作画面（TVファイルタブ）

TVファイル再生画面

① **タブ**
- タップすると、各タブに切り替わります。

② **TVファイルリスト**
- TVファイルをタップすると、再生します。

③ **映像**
- 左右にフリックすると、TVファイルを切り替えます。

④ **再生時間、スライダー**
- 映像画面をタップすると表示されます。
- ◯ でTVファイルの再生位置を任意の時間まで操作できます。

⑤ **字幕**

⑥ **データ放送**

⑦ **チャンネル／番組名**

⑧ **ポップアップTV画面**
- タップするとポップアップTV画面になります。他のアプリケーションを操作しながらTVファイルを再生できます。

⑨ **再生操作パネル**
- ⏮／⏭ でTVファイルを切り替えます。
- ▶／⏸ でTVファイルの再生／一時停止を操作します。
- 🔊09 で音量を調節します。

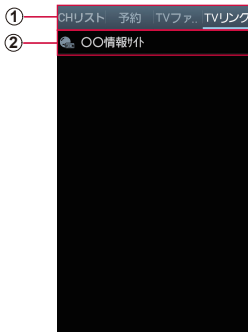
⑩ **データ放送操作パネル**
- ▲／▼ で項目にカーソルを合わせ、「選択」をタップして項目を選択します。リンク先のデータ放送が表示されます。
- 「戻る」をタップすると、リンクの履歴を戻ります。

■ TVファイル再生画面でのキー操作

- ◯（電源／画面ロックキー）で、画面をロックします。画面ロック中は ◯ が表示されます。
- ◯（音量キー）で、音量を調節します。

■ ポップアップTV画面での操作

- ポップアップTV画面をドラッグすると、お好みの場所に移動できます。
- ポップアップTV画面をダブルタップすると、TVファイル再生画面に戻ります。
- ポップアップTV画面をタップ → ☒ をタップすると、ワンセグを終了します。

TV リンクタブ

操作画面（TVリンクタブ）

① **タブ**
- タップすると、各タブに切り替わります。

② **TV リンク**
- 登録したサイトに接続します（P.343）。

ワンセグを録画する

1 視聴画面で [メニュー] →「録画」
- 録画中はテレビ映像の左上に ●REC が表示されます。
- 録画を停止するには、「停止」をタップします。

お知らせ

- 電波状態によっては、映像や音声が途切れたり、止まったりすることがあります。
- 録画中はチャンネル切替はできません。
- 録画中に他のアプリケーションを起動すると、正常に録画できない場合があります。

録画した番組を再生する

1 視聴画面で [メニュー] →「TV ファイル」

2 再生する番組をタップ

視聴中の画像をキャプチャする

1 視聴画面で [メニュー] →「キャプチャ」
- キャプチャした画像は操作画面の「TV ファイル」タブで確認することができます。

ワンセグの録画や視聴を予約する

番組表から予約する

1 視聴画面でチャンネルの数字をタップ
- 操作画面の「CHリスト」タブが表示されます。

2 「番組表」→ 予約する番組をタップ
- 画面上部のチャンネル名をタップすると、チャンネルを変更できます。
- 番組をタップすると、番組の詳細情報を確認できます。

3 「予約」→「録画予約」／「視聴予約」

手動で予約する

1 視聴画面でチャンネルの数字をタップ
- 操作画面の「CHリスト」タブが表示されます。

2 「予約」タブ

3 [メニュー] →「マニュアル予約」

4 新規番組予約画面で各項目を入力

5 [✓] をタップ

予約を削除する

1 視聴画面でチャンネルの数字をタップ
- 操作画面の「CHリスト」タブが表示されます。

2 「予約」タブ

3 削除する予約をロングタッチ

4 「削除」→「OK」

チャンネルを設定する

エリア情報を設定する

1 視聴画面でチャンネルの数字をタップ
- 操作画面の「CHリスト」タブが表示されます。

2 [メニューキー] →「エリア情報設定」→ 登録するエリアを選択

3 地域を選択 → 都道府県を選択 → ローカルエリアを選択
- チャンネルが検索され、選択したエリアにチャンネルリストが登録されます。

4 「OK」

エリア情報を切り替える

1 **視聴画面でチャンネルの数字をタップ**

- 操作画面の「CHリスト」タブが表示されます。

2 **[メニュー] →「エリア切替」→ 切り替えるエリアを選択**

- 切替先のエリアにチャンネルリストが登録されていない場合は、エリア情報の設定を行います（P.341）。

エリア情報を削除する

1 **視聴画面でチャンネルの数字をタップ**

- 操作画面の「CHリスト」タブが表示されます。

2 **[メニュー] →「エリア情報設定」→ 削除するエリアをロングタッチ**

3 **「設定リセット」**

TV リンクを利用する

TV リンクを登録する

1 データ放送を操作して、TV リンク登録可能な項目を選択

- TVリンクの登録方法は、番組によって異なります。

お知らせ

- リンク先によっては、TVリンクを登録できないことがあります。

TV リンクを表示する

1 視聴画面でチャンネルの数字をタップ

- 操作画面の「CHリスト」タブが表示されます。

2 「TV リンク」タブ

3 TV リンクを選択

- 登録したサイトに接続します。

TV リンクを削除する

1 視聴画面でチャンネルの数字をタップ

- 操作画面の「CHリスト」タブが表示されます。

2 「TV リンク」タブ

3 削除するTV リンクをロングタッチ

4 「削除」→「OK」

ワンセグを設定する

1 視聴画面で［メニュー］→「設定」

2 項目を設定

項目		説明
画面設定	フレーム補間	フレーム補間を行うかどうかを設定します。
	字幕	字幕を表示するかどうかを設定します。
オーディオ設定	オーディオ効果	オーディオ効果を5種類から選択します。
	音声言語	複数の音声を放送している番組で聞く音声を設定します。
	5.1チャンネル	5.1チャンネルオーディオで視聴するかどうかを設定します。
保存先設定		録画やキャプチャしたデータの保存先を設定します。
TVオフタイマー設定		自動的にワンセグを終了するまでの時間を設定します。
データ放送	録画設定	映像とテキストの両方を録画するか、映像のみを録画するかを設定します。

項目		説明
データ放送	画像保存先設定	画像の保存先を設定します。
	通信接続確認	通信接続確認を行うかどうかを設定します。
	位置情報確認	位置情報確認を行うかどうかを設定します。
	製造番号通知	製造番号の通知を行うかどうかを設定します。
	放送局データ削除	放送局のデータを削除します。

カメラ

著作権・肖像権について

本端末を利用して撮影または録音したものを著作権者に無断で複製、改変、編集などすることは、個人で楽しむなどの目的を除き、著作権法上禁止されていますのでお控えください。また、他人の肖像を無断で使用、改変などすると、肖像権の侵害となる場合がありますのでお控えください。なお、実演や興行、展示物などでは、個人で楽しむなどの目的であっても、撮影または録音が禁止されている場合がありますのでご注意ください。

お客様が本端末を利用して公衆に著しく迷惑をかける不良行為等を行う場合、法律、条例（迷惑防止条例等）に従い処罰されることがあります。

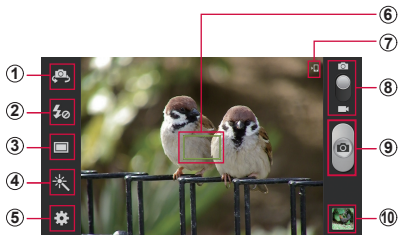
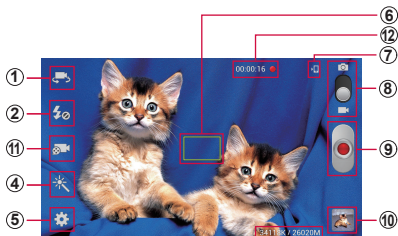
カメラ付き携帯電話を利用して撮影や画像送信を行う際は、プライバシーなどにご配慮ください。

カメラをご利用になる前に

- カメラは非常に精密度の高い技術で作られていますが、常に明るく見えたり、暗く見えたりする点や線が存在する場合があります。また、特に光量が不足している場所での撮影では、白い線やランダムな色の点などのノイズが発生しやすくなりますが、故障ではありませんので、あらかじめご了承ください。
- カメラを起動したとき、画面に縞模様が出ることがありますが、故障ではありませんので、あらかじめご了承ください。

- カメラで撮影した静止画や動画は、実際の被写体と色味や明るさが異なる場合があります。
- 太陽やランプなどの強い光源を撮影しようとすると、画面が暗くなったり、撮影画像が乱れたりする場合があります。
- レンズに指紋や油脂などが付くと、鮮明な静止画／動画を撮影できなくなります。撮影する前に、柔らかい布などでレンズをきれいに拭いてください。
- 撮影するときは、本端末が動かないようにしっかり手に持って撮影してください。撮影時に本端末が動くと、撮影画像がぶれる原因になります。
- 撮影するときは、レンズに指や髪などがかからないようにしてください。
- カメラ利用時は電池の消費が多くなります。電池残量が少ない状態で撮影を行った場合、画面が暗くなったり、撮影画像が乱れたりすることがありますのでご注意ください。
- 静止画の連続撮影や動画の長時間撮影など、カメラを長時間起動していると本端末が温かくなり、カメラが自動的に終了することがありますが、故障ではありません。しばらく時間をおいてからご使用ください。
- 撮影した直後などは、microSDカードや電池パックを強制的に取り外さないでください。正常に保存されなかったり、撮影したデータが破損する可能性があります。microSDカードや電池パックを取り外す場合は、電源を切ってから行ってください。
- マナーモード（サイレント、バイブ）設定中でも静止画撮影のシャッター音やフォーカス音、動画撮影の開始音や終了音は鳴りますのでご注意ください。

撮影画面の見かた

1 ホーム画面で ⊞ →「カメラ」

静止画撮影画面

動画撮影画面

① 外側カメラと内側カメラの切替
② フラッシュの設定
③ 静止画の撮影モード切替
④ エフェクトの設定
⑤ 設定
⑥ フォーカス
⑦ 保存先
⑧ 静止画撮影モードと動画撮影モードの切替
⑨ シャッター
⑩ サムネイル
- タップすると、ギャラリーが起動します。

⑪ 動画の録画モード切替
⑫ 動画の撮影時間
⑬ 動画の撮影したデータ容量（バイト）／撮影可能容量（バイト）

お知らせ

- カメラを起動した状態で約２分間何も操作をしないと、カメラは終了します。
- 撮影モードの「ベストフェイス」「顔検出」「美肌モード」「スマイル撮影」、シーン設定の「ポートレート」は顔検出機能に対応しています。

撮影前の設定をする

1 **ホーム画面で ⠿ →「カメラ」**

2 **静止画／動画撮影画面で ⚙ → 必要な項目を設定**

- 項目によっては同時に設定できない場合があります。

項目	説明
ショートカットを編集	よく利用する設定メニューのショートカットを左端に4つまで追加することができます。
連写※1	連続して撮影します。 • 連写を「ON」に設定してシャッターをロングタッチすると、最大で20枚の写真を撮影します。撮影した画像はすべて保存されます。
自分撮り※1／自分録り※2	内側カメラで撮影を行います。
フラッシュ	撮影時にフラッシュを使用するかどうかを設定します。

<table>
<tr><th colspan="2">項目</th><th>説明</th></tr>
<tr><td rowspan="6">撮影モード
※1</td><td>通常撮影</td><td>通常の静止画を撮影します。</td></tr>
<tr><td>ベストフォト</td><td>1回のシャッターで8枚の写真を撮影します。撮影した画像の中から保存する画像を選択できます。
・撮影した画像の保存先は「本体」に切り替わります。
・撮影後、8枚のサムネイルから保存する画像をロングタッチして [icon] を表示 →「保存」をタップします。</td></tr>
<tr><td>ベストフェイス</td><td>1回のシャッターで5枚の写真を撮影します。検出した被写体ごとにベストフェイスを選択し、合成した画像を保存できます。
・撮影後、検出した被写体をタップ → サムネイルからベストフェイスの画像をロングタッチして [icon] を表示 → すべての被写体でこの操作を繰り返す →「保存」をタップします。</td></tr>
<tr><td>顔検出</td><td>被写体の顔を検出して撮影します。</td></tr>
<tr><td>パノラマ</td><td>最大8枚の静止画を撮影／連結するパノラマ写真を撮影します。</td></tr>
<tr><td>共有ショット</td><td>撮影した画像をWi-Fi Directで接続中の相手と共有します。</td></tr>
</table>

項目		説明
撮影モード※1	HDR	HDR（高ダイナミックレンジ）モードで撮影します。 • HDR画像と通常画像の両方が保存されます。
	メンバーに画像共有	撮影した画像の被写体を検出して、電話帳に登録されている相手の場合はEメールを送信できます。
	美肌モード	人物の顔を検出し、肌を明るく撮影します。
	スマイル撮影	被写体の笑顔を検出して撮影します。
	低照度	薄暗い場所で明るく撮影します。
録画モード※2	通常	通常の動画を撮影します。
	Eメール用制限	Eメール添付に適切なサイズで撮影します。
エフェクト		画像に特殊な効果をかけて撮影します。
シーン設定※1		ポートレート撮影や夜景撮影など、シーンに応じたモードを設定します。
露出補正		露出補正を設定します。
フォーカス※1		フォーカスを設定します。
タイマー		セルフタイマーを設定します。

項目	説明
解像度	撮影する解像度（サイズ）を選択します。
ホワイトバランス	撮影時の光の状況を選択して、画像の色合いを補正します。
ISO※1	ISO感度を設定します。
測光※1	測光方法を設定します。
アウトドアモード	明るい屋外で撮影するときに使用します。
コントラスト※1	コントラストの自動調整機能のON／OFFを設定します。
補助グリッド	撮影画面に補助グリッドを表示するかどうかを設定します。
手振れ補正	手振れ補正機能のON／OFFを設定します。
GPSタグ	位置情報を付加するかどうかを設定します。
ファイル名の自動生成	ファイル名を自動生成するかどうかを設定します。 • 「GPSタグ」を「ON」にすると設定できます。
左右反転して保存	撮影した静止画／動画を左右反転して保存します。 • 「自分撮り」／「自分録り」を「ON」にすると設定できます。

項目	説明
画質設定※1	静止画撮影時の画質を設定します。
動画の画質※2	動画撮影時の画質を設定します。
保存先	撮影した静止画／動画の保存先を選択します。
リセット	カメラの設定をリセットします。

※1　静止画の設定時にのみ表示されます。
※2　動画の設定時にのみ表示されます。

3 **設定が終了したら、ディスプレイの空き部分や [戻る] をタップ**

静止画を撮影する

1 ホーム画面で →「カメラ」

- 静止画撮影画面が表示されます。

2 被写体にカメラを向ける

- を押すか、ディスプレイ上で2本の指の間隔を広げる／狭めるとズーム調節できます。

3 をタップ

- シャッター音が鳴り、撮影されます。
- 撮影した静止画は自動的に保存されます。
- 撮影時に をロングタッチすると、オートフォーカス枠にある被写体にピントが固定され、指を離すと撮影されます。ただし、「連写」(P.350)を「ON」に設定している場合、本機能は使用できません。

お知らせ

- 撮影した静止画はJPEG形式で保存されます。

動画を撮影する

1 **ホーム画面で ▦ →「カメラ」**

- 静止画撮影画面が表示されます。

2 **▯ の ● を ▭ にドラッグ**

- 動画撮影モードに切り替わります。

3 **被写体にカメラを向ける → ◉**

- 開始音が鳴り、動画撮影が始まります。
- ▯ を押すか、ディスプレイ上で2本の指の間隔を広げる／狭めるとズーム調節できます。
- ◎ をタップすると、動画撮影中に静止画も撮影できます。ただし、「手振れ補正」（P.353）を「ON」に設定している場合、本機能は使用できません。
- 撮影を一時停止するには ▯ をタップします。停止中に ◉ をタップすると、撮影を再開できます。

4 **撮影を停止するときは、◉**

- 終了音が鳴り、撮影した動画が自動的に保存されます。

お知らせ

- 動画を撮影する前に、メモリに十分な空きがあることを確認してください。

ギャラリー

本端末やmicroSDカードに保存されている静止画や動画を閲覧したり、整理したりできます。
対応しているファイル形式は以下のとおりです。ただし、静止画や動画によっては以下のファイル形式であっても表示／再生できない場合があります。

種類	ファイル形式
静止画	JPEG、PNG、GIF、BMP、WBMP、AGIF
動画	MP4/3GP/3GPP/3GPP2、WMV/ASF、AVI、MKV、DivX、FLV、ISMV、WebM

1 ホーム画面で ⠿ →「ギャラリー」

- アルバムの一覧画面が表示されます。
- 📷 をタップするとカメラが起動します。

2 アルバムをタップ

- データの一覧画面が表示されます。

項目	説明
📷	カメラが起動します。
▶	スライドショーを開始したり、スライドショーの設定を行います。
⊕	アルバムを作成します。

3 データをタップ

項目	説明
★	データをお気に入りに設定します。
(共有アイコン)	データをオンラインサービスで共有、Bluetooth機能やメールなどで送信、他のアプリケーションで使用します。
(削除アイコン)	データを削除します。

静止画を表示する

1 データの一覧画面で表示する静止画をタップ

- 静止画が拡大表示されます。
- 静止画を切り替えるには画面を左右にスクロールします。

動画を再生する

1 データの一覧画面で再生する動画をタップ

2 ▶ → プレイヤーを選択 → 「常に使用」／「今回のみ使用」

- 再生が開始されます。
- 「メディアプレイヤー」で再生した場合、画面に表示されるアイコンや操作説明については、「メディアプレイヤーを利用する」（P.362）をご参照ください。
- 「動画」で再生した場合、画面に表示されるアイコンや操作説明については、「動画を利用する」（P.364）をご参照ください。

ギャラリーのメニュー

アルバムの一覧画面／データの一覧画面で [メニュー] をタップすると以下の項目が表示されます。

■ アルバムの一覧画面

項目	説明
スライドショー	スライドショーを開始したり、スライドショーの設定を行います。
タグバディ	気象情報、場所、人物、日付などタグ付けされた情報を画像に重ねて表示するかどうかを設定します。 • 人物の情報（フェイスタグ）は静止画のみに対応しています。 • タグバディの情報は、カメラの「GPS タグ」を「ON」にして撮影した画像にのみ表示されます。
新規アルバム	アルバムを作成します。
表示設定	選択したテーマでアルバム／データを表示します。

項目	説明
アルバムを選択	アルバムをタップして複数選択し、まとめて操作します。 ・「XX件選択」→「全て選択」をタップすると、すべてのアルバムを選択できます。 ・ をタップすると、アルバムをオンラインサービスで共有、Bluetooth機能やメールなどで送信、他のアプリケーションで使用します。 ・ をタップすると、アルバムを削除します。 ・ をタップすると、スライドショーの開始や設定、アルバムの名前の変更ができます。
近くのデバイスをスキャン	Wi-Fi機能を利用して静止画や動画を共有します。→ P.247
設定	アカウントの同期設定を行います。

■ データの一覧画面

項目	説明
アイテムを選択	データをタップして複数選択し、まとめて操作します。 • 「XX件選択」→「全て選択」をタップすると、すべてのデータを選択できます。 • [共有アイコン] をタップすると、データをオンラインサービスで共有、Bluetooth機能やメールなどで送信、他のアプリケーションで使用します。 • [削除アイコン] をタップすると、データを削除します。 • [メニューキー] をタップすると、スライドショーの開始や設定、移動、コピーなどの操作、データの詳細の確認ができます。
タグバディ	気象情報、場所、人物、日付などタグ付けされた情報を画像に重ねて表示するかどうかを設定します。 • 人物の情報（フェイスタグ）は静止画のみに対応しています。 • タグバディの情報は、カメラの「GPSタグ」を「ON」にして撮影した画像にのみ表示されます。

お知らせ

- データの一覧画面で静止画／動画をタップ → [メニューキー] をタップしても、各種操作のメニューを表示できます。

プレイヤー

メディアプレイヤーを利用する

本端末やmicroSDカードに保存してある音楽や動画を再生できます。
再生できるファイル形式は以下のとおりです。ただし、音楽や動画によっては以下のファイル形式であっても再生できない場合があります。

種類	ファイル形式
音楽	AAC、AMR、AWB、WMA、3GP、MP4/M4A、MP3、FLAC、OGG、WAV、ISMA、MID/XMF/MXMF、RTTL/RTX、OTA、IMY
動画	MP4/3GP/3GPP/3GPP2、WMV/ASF、AVI、MKV、DivX、FLV、ISMV、WebM

1 ホーム画面で ⠿ →「メディアプレイヤー」

2 画面下部のカテゴリを選択

- タップしたカテゴリに応じた結果が表示されます。
- 「MUSICストア」「VIDEOストア」をタップした場合には、dマーケットが起動し、音楽や動画などのコンテンツを購入することができます。

3 再生したい音楽または動画をタップ

- 音楽や動画の再生が開始されます。

項目	説明
■	現在の再生位置を表示します。左右にドラッグすると再生位置を変更できます。 ※ 音楽再生時は、画面をタップするとアイコンが表示されます。
※1／※2	データの一覧画面を表示します。
※1／※1	本端末の向きに合わせて縦横表示を自動的に切り替えるかどうかを設定します（自動的に切り替える／自動的に切り替えない）。
▶／‖	再生／一時停止します。
«／»	タップするとデータの先頭／次のデータにスキップします。
※2／※2／※2	リピートモードを設定します（リピートなし／全曲リピート／その曲をリピート）。
※2／※2	シャッフル機能を設定します（シャッフルしない／シャッフルする）。
■	音量の大きさを表示します。左右にドラッグすると音量を調節できます。

※1　動画再生画面でのみ表示されます。
※2　音楽再生画面でのみ表示されます。

お知らせ

- 本端末と外部機器をＨＤＭＩ接続する場合は、メディアプレイヤーのオーディオエフェクト設定内容が適用されません。

動画を利用する

本端末やmicroSDカードに保存してある動画を再生できます。
再生できるファイル形式は以下のとおりです。ただし、動画によっては以下のファイル形式であっても再生できない場合があります。

ファイル形式
MP4/3GP/3GPP/3GPP2、WMV/ASF、AVI、MKV、DivX、FLV、ISMV、WebM

1 ホーム画面で ⊞ →「動画」

2 「サムネイル」／「リスト」／「フォルダ」

3 動画をタップ

- 再生が開始されます。
- 画面をタップするとアイコンが表示されます。

項目	説明
📷	動画から静止画を撮影します。撮影した画像は、ホーム画面で ⊞ →「ギャラリー」→「Screenshots」をタップすると確認できます。
🔈／🔇	音量を調節します。

項目	説明
	縦横表示を切り替えます。 ※「画面の自動回転」(P.79) がOFFに設定されている場合に表示されます。
	現在の再生位置を表示します。左右にドラッグすると再生位置を変更できます。
／／	動画の表示サイズを切り替えます。
	再生画面を小さくします。他のアプリケーションを操作しながら動画を再生できます。 ※ 本機能は、「動画」で動画を再生する場合のみ動作します。
／	再生／一時停止します。
／	タップするとデータの先頭／次のデータにスキップします。ロングタッチすると巻き戻し／早送りします。
	再生画面で を押すとロック画面に切り替わり、画面をタップしても動作しないようにできます。

お知らせ

- 動画再生中は をタップすると「前画面に戻るには、戻るキーをもう一度押してください。」と表示されます。メッセージが表示された状態で をタップすると一覧画面に戻ります。

動画のメニュー

一覧画面／再生画面で [メニュー] をタップすると以下の項目が表示されます。

■ 一覧画面

項目	説明
共有	動画をオンラインサービスで共有したり、Bluetooth機能やメールなどで送信します。
削除	動画を削除します。
検索	動画を検索します。
ソート	一覧表示の順番を変更します。
近くのデバイスをスキャン	Wi-Fi機能を利用して動画を共有します。→ P.247
次の動画を自動再生	すべての動画を自動的に再生するかどうかを設定します。

■ 再生画面

項目	説明
近くのデバイスをスキャン	Wi-Fi機能を利用して動画を共有します。→ P.247
共有	動画をオンラインサービスで共有したり、Bluetooth機能やメールなどで送信します。
チャプタープレビュー	チャプターをサムネイル表示します。
トリミング	動画のトリミングを行います。

項目	説明
タグバディ	気象情報、位置情報、日付などタグ付けされた情報を動画に重ねて表示するかどうかを設定します。 • タグバディの情報は、カメラの「GPSタグ」を「ON」にして撮影した画像にのみ表示されます。
気象情報タグを追加／気象情報タグを編集	気象情報タグを設定します。
Bluetooth経由	Bluetoothデバイスへ音声を出力します。
動画の自動停止	再生を自動で終了する時間を設定します。
設定	再生スピードやSoundAliveなどの設定を行います。
詳細	データの詳細を表示します。

音楽を利用する

本端末やmicroSDカードに保存してある音楽を再生できます。
再生できるファイル形式は以下のとおりです。ただし、楽曲によっては以下のファイル形式であっても再生できない場合があります。

ファイル形式
AAC、AMR、AWB、WMA、3GP、MP4/M4A、MP3、FLAC、OGG、WAV、ISMA、MID/XMF/MXMF、RTTL/RTX、OTA、IMY

1 ホーム画面で ⊞ →「音楽」

- 初めて起動したときは「全て」画面が表示されます。

2 画面上部のタブをタップ → 再生したいデータをタップ

- 再生が開始されます。

種類	説明
アーティスト名／曲名／アルバム名	タップすると詳細情報が表示されます。
／	音量を調節します。
／	シャッフル機能を設定します（シャッフルする／シャッフルしない）。
／／	リピートモードを設定します（全曲リピート／その曲をリピート／リピートなし）。
	ミュージックスクエアを表示します。 • ミュージックスクエアでは、楽曲の特徴を分析して自動的にプレイリストを作成します。画面上のスクエアをタップすると、よく似た特性を持つ楽曲のプレイリストを再生します。 • プレイリストが自動で作成されない場合は、 →「ライブラリーを更新」をタップしてください。

種類	説明
	現在の再生位置を表示します。左右にドラッグすると再生位置を変更できます。
／	再生／一時停止します。
／	タップするとデータの先頭／次のデータにスキップします。ロングタッチすると巻き戻し／早送りします。
	SoundAliveを設定します。
／	一覧画面／再生画面を表示します。

お知らせ

- マイク付ステレオヘッドセット（試供品）を接続している場合（P.157）、スイッチを押すと「音楽」が起動して音楽が再生されます。「音楽」が起動しているときは、スイッチを押すたびに再生／一時停止の切り替えができます。また、音量キーで音量を調節できます。
- 音楽の再生中に画面ロックを設定しても再生は継続されます。操作する場合は、／を押して ロック解除画面を表示し、画面ロックを解除してください。バックグラウンドで音楽を再生している場合は、通知パネルを開くと、音楽の再生／一時停止／前後スキップを操作できます。

プレイリストを作成する

1 ホーム画面で ⠿ →「音楽」→「プレイリスト」

2 ▭ →「プレイリストを作成」

3 プレイリスト名を入力 →「OK」

4 「曲を追加」または ▭ →「追加」
- 楽曲の一覧が表示されます。

5 追加したい楽曲にチェックを付ける →「完了」
- 作成したプレイリストに楽曲が追加されます。

プレイリストを編集する

1 ホーム画面で ⠿ →「音楽」→「プレイリスト」

2 編集したいプレイリストをタップ
- プレイリストの内容が表示されます。

3 ▭ → 操作する項目をタップ

クイックリストに曲を追加する

再生中の曲をクイックリストに登録できます。気に入った曲の再生を止めずに登録したい場合などに便利です。

1 ホーム画面で → 「音楽」

2 画面上部のタブをタップ → 追加したいデータをタップ

3 → 「クイックリストに追加」

- 登録した曲は「プレイリスト」の「クイックリスト」に追加されます。

プレイリストとして保存する場合

クイックリスト画面で → 「プレイリストとして保存」 → プレイリスト名を入力 → 「OK」をタップします。

音楽のメニュー

タブ画面／再生画面で をタップすると以下の項目が表示されます。

■ タブ画面

項目	説明
プレイリストに追加	楽曲をプレイリストに追加します。
プレイリストを作成	プレイリストを新規作成します。
Bluetooth経由	Bluetoothデバイスと接続して再生します。

項目	説明
共有	楽曲をWi-Fi Directなどで共有したり、Bluetooth機能やメールなどで送信します。
削除	楽曲を削除します。
タイトルを編集	プレイリスト名を編集します。
サムネイル表示／リスト表示	楽曲の表示形式を切り替えます。
検索	楽曲を検索します。
ヘルプ	ミュージックスクエアのヘルプを表示します。
ライブラリーを更新	ミュージックスクエアのライブラリーを更新します。
水平軸を変更	ミュージックスクエアの水平軸の種類を変更します。
近くのデバイスをスキャン	Wi-Fi機能を利用して音楽を共有します。→ P.247
設定	SoundAliveや再生スピードなどの設定を行います。
終了	音楽を終了します。

※ 利用できる機能はタブ画面によって異なります。

■ 再生画面

項目	説明
クイックリストに追加	楽曲をクイックリストに追加します。 • クイックリストに追加されている楽曲の場合は、「クイックリストへ移動」と表示されます。タップするとクイックリストの一覧表示に切り替わります。
Bluetooth経由	Bluetoothデバイスと接続して再生します。
共有	楽曲をWi-Fi Directなどで共有したり、Bluetooth機能やメールなどで送信します。
プレイリストに追加	楽曲をプレイリストに追加します。
詳細	楽曲の詳細情報を表示します。
登録	楽曲を「着信音」「個別着信音」「アラーム音」に設定します。
近くのデバイスをスキャン	Wi-Fi機能を利用して音楽を共有します。→ P.247
設定	SoundAliveや再生スピードなどの設定を行います。
終了	音楽を終了します。

GPS ／ナビ

位置情報を有効にする

位置情報を利用するアプリケーションを使用するには、あらかじめGPS機能をONにしておく必要があります。また、Wi-Fi ／モバイルネットワークやモーションセンサーを利用して、より正確に位置情報を検出できるように設定できます。

1 **ホーム画面で [メニュー] →「本体設定」→「位置情報サービス」**

2 **検出する方法にチェックを付ける**

項目	説明
無線ネットワークを使用	Wi-Fiまたはモバイルネットワークで位置情報を特定するかどうかを設定します。
GPS機能を使用	より精度の高い位置情報を検出できます。ただし本端末の電池消費量が大きくなります。
位置情報履歴	検出した位置情報の履歴を保存します。
位置情報とGoogle検索	Googleに位置情報データの使用を許可するかどうかを設定します。

GPSのご利用にあたって

- GPSシステムのご利用には十分ご注意ください。システムの不具合などにより損害が生じた場合、当社では一切の責任を負いかねますのであらかじめご了承ください。
- 本端末の故障、誤動作、あるいは停電などの外部要因（電池切れを含む）によって、測位（通信）結果の確認などの機会を逸したために生じた損害などの純粋経済損害につきましては、当社は一切その責任を負いかねますのであらかじめご了承ください。
- 本端末は、航空機、車両、人などの航法装置として使用できません。そのため、位置情報を利用して航法を行うことによる損害が発生しても、当社は一切その責任を負いかねますのであらかじめご了承ください。
- 高精度の測量用ＧＰＳとしては使用できません。そのため、位置の誤差による損害が発生しても、当社は一切その責任を負いかねますのであらかじめご了承ください。
- GPSは米国国防総省により運営されているため、米国の国防上の都合によりGPSの電波の状態がコントロール（精度の劣化や電波の停止など）される場合があります。また、同じ場所･環境で測位した場合でも、人工衛星の位置によって電波の状態が異なるため、同じ結果が得られないことがあります。
- ワイヤレス通信製品（携帯電話やデータ検出機など）は、衛星信号を妨害する恐れがあり、信号受信が不安定になることがあります。
- 各国･地域の法制度などにより、取得した位置情報（緯度経度情報）に基づく地図上の表示が正確ではない場合があります。

■受信しにくい場所

GPSは人工衛星からの電波を利用しているため、以下の条件では、電波を受信できない、または受信しにくい状況が発生しますのでご注意ください。

- 建物の中や直下
- 地下やトンネル、地中、水中
- かばんや箱の中
- ビル街や住宅密集地
- 密集した樹木の中や下
- 高圧線の近く
- 自動車、電車などの室内
- 大雨、雪などの悪天候
- 本端末の周囲に障害物（人や物）がある場合

Googleマップを利用する

Googleマップを利用して、現在地や別の場所を検索したり、目的地への道案内情報を取得したりできます。

- Googleマップを利用するには、データ接続可能な状態（LTE／3G／GPRS）にあるか、Wi-Fi接続が必要です。
- Googleマップは、すべての国や地域を対象としているわけではありません。

Googleマップを開く

1 ホーム画面で ⠿ →「マップ」

Googleマップで検索する

車や電車、徒歩でのルート検索を行う場合は、Googleマップの「経路」機能を利用します。

1 ホーム画面で ⠿ →「マップ」

2 ◈ →「目的地：」欄に地名などを入力

- ◢ をタップすると、目的地を「連絡先」「地図上の場所」「マイプレイス」から選択して指定できます。
- 出発地を変更する場合は、「現在地」欄をタップして地名などを入力するか、◢ をタップして「現在地」「連絡先」「地図上の場所」「マイプレイス」から選択して指定します。

3 移動方法（ 🚗 ／ 🚌 ／ 🚶 ）のアイコンをタップ

- 🚌 をタップした場合は、優先する交通機関を「すべての交通機関」「バス」「電車」から、検索条件を「最適な経路」「乗換が少ない」「徒歩が少ない」から選択します。

4 「ナビ」／「経路を検索」

ナビを利用する

目的地までの運転経路を検索し、ナビゲーションを利用できます。

1 **ホーム画面で ⠿ →「ナビ」**

- 初めて起動したときはご利用の注意画面が表示されるので、内容をよく読み、「同意する」をタップします。

2 **「目的地をキーボードで入力」→「目的地」欄に地名などを入力 → 候補地の一覧から目的地をタップ**

- 経路が表示されます。
- 目的地を音声で入力したり、連絡先に設定されている住所で検索したりすることもできます。

ローカルを利用する

Googleマップを利用して、現在地周辺のレストランや観光スポットなどを検索できます。

1 **ホーム画面で ⠿ →「ローカル」**

2 **検索したいカテゴリをタップ → 確認したい情報をタップ**

- 検索したいカテゴリがない場合は、画面上部の 🔍 をタップし、キーワード入力欄に検索したいカテゴリや店名などを入力 → 🔍 をタップします。
- カテゴリを追加する場合は ▭ →「検索を追加」→ カテゴリなどを入力 → ＋ をタップします。

時計

アラーム、世界時計、ストップウォッチ、タイマー、卓上時計を利用できます。

1 ホーム画面で ⊞ →「時計」

2 画面上部のタブをタップ

- 各機能の画面に切り替わります。

アラームを利用する

1 「アラーム」画面で「アラームを作成」

2 時刻、繰り返し設定、アラームの種類、音量、アラーム音、スヌーズ、事前お知らせ、名前を設定 →「保存」

3 アラームを止めるには、⊗ を表示される円の外側までドラッグ

- スヌーズを設定した場合は、zZ を表示される円の外側までドラッグすると設定した時間の経過後に再度アラームが鳴動します。

お知らせ

- スヌーズとは、いったんアラームを止めてもしばらくするとアラームが鳴るようにする機能です。
- 登録したアラームを削除するには、「アラーム」画面で →「削除」→ 削除するアラームにチェックを付ける →「削除」をタップします。アラームをロングタッチ →「削除」をタップしても削除できます。
- 登録したアラームをOFFにするには、（緑色）／（黄色）をタップして（灰色）にします。
- 本端末をマナーモード（サイレント、バイブ）に設定している場合のアラーム音やバイブレーションを設定するには、「アラーム」画面で →「設定」→ 項目を設定します。

世界時計を利用する

登録した都市／国の日付と時刻を一覧で確認できます。

1 「世界時計」画面で「都市を追加」

2 登録する都市／国をタップ

都市／国を時差で並べ替えて検索する場合

→「タイムゾーン別」をタップします。都市名順に戻すには →「都市名順」をタップします。

都市／国を世界地図で検索する場合

をタップします。都市／国の一覧に戻すには をタップします。
世界地図から都市／国を登録する場合は、都市／国をタップ → をタップします。

お知らせ

- 登録した都市／国を削除するには、「世界時計」画面で →「削除」→ 削除する都市／国にチェックを付ける →「削除」をタップします。都市／国をロングタッチ →「削除」をタップしても削除できます。
- 登録した都市／国にサマータイムを設定するには、都市／国をロングタッチ →「サマータイム設定」→ 項目を選択します。サマータイムを設定すると、都市名／国名の前に が表示されます。

ストップウォッチを利用する

1 **「ストップウォッチ」画面で「スタート」**

- 測定が開始されます。

ラップタイムを計測する場合

「ラップ」をタップします。

2 **測定を止めるには「ストップ」**

- 測定を再開するには「リスタート」、測定をやり直すには「リセット」をタップします。

タイマーを利用する

1 **「タイマー」画面で時間、分、秒を設定 →「スタート」**

- タイマーが開始されます。
- タイマーを一時停止するには「ストップ」、設定をリセットするには「リセット」をタップします。
- 停止中に「リスタート」をタップすると、タイマーを再開できます。

2 **アラーム音を止めるには、⊗を表示される円の外側までドラッグ**

卓上時計を利用する

現在の時間や日付などを確認することができます。

1 「卓上時計」

- ／をタップすると、画面を拡大／縮小することができます。画面を拡大すると、画面下部に「アラーム」「音楽」「ギャラリー」「ブラウザ」「YouTube」のアイコンが表示されます。

Sプランナー

カレンダーを表示してイベントやタスクを登録できます。また、Googleアカウントを登録すると、Googleカレンダーと同期することもできます。

1 ホーム画面で → 「Sプランナー」

2 をタップ

- Googleカレンダーの同期に関する画面が表示された場合は、確認後「完了」をタップします。

イベント登録画面

3 「イベント登録」または「タスク登録」

4 項目を設定 →「保存」

Ｓメモ

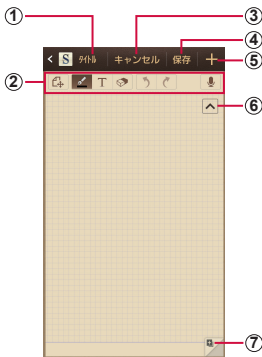
メモを作成したり、絵を描くことができます。撮影した写真または絵をメモに追加したり、録音したデータをメモに保存することもできます。

メモを作成する

1 ホーム画面で ⠿ →「Ｓメモ」

・ Ｓメモ一覧画面が表示されます。

2 ＋✍ または ＋T をタップするか、一覧から使用するテンプレートを選択 → 画面をタップ

・ 編集モードになります。

Ｓメモ作成画面（表示例）

① **タイトル**
- タイトルを入力します。

② **ツールバー**

：入力内容を保存し、表示モードにします。
：ペンの種類、太さ、色を選択します。
：キーパッドを利用してメモを作成します。
：消しゴムのサイズを変更したり、メモを全消去します。
：元に戻します。
：やり直します。
：メモに添付する音声を録音します。

③ **キャンセル**
- 「ＯＫ」をタップすると、作成中のメモを破棄してＳメモ一覧画面に戻ります。

④ **保存**
- 作成中のメモを保存してＳメモ一覧画面に戻ります。

⑤ **新規作成**
- 作成中のメモを保存して、新しいメモを作成します。

⑥ **ツールバーの表示／非表示**

：ツールバーを表示します。
：ツールバーを非表示にします。

⑦ **新しいページ**
- 新しいメモページを作成します。メモが空欄の場合は作成できません。

3 メモを作成 →「保存」または

お知らせ

- 特定のメモをお気に入りとしてマークするには、Ｓメモ一覧画面でマークするメモをタップ → をタップします。

Ｓメモのメニュー

Ｓメモ一覧画面／Ｓメモ作成画面で ▭ をタップすると以下の項目が表示されます。

■Ｓメモ一覧画面

項目	説明
検索	Ｓメモを検索します。
削除	Ｓメモを削除します。
ソート	一覧表示の順番を変更します。
リスト表示／サムネイル表示	データの表示形式を切り替えます。
共有	Ｓメモをオンラインサービスで共有したり、Bluetooth機能やメールなどで送信します。
エクスポート	作成したＳメモをギャラリーの画像やPDFとしてエクスポートします。
同期	ＳメモをGoogleドキュメントやEvernoteと同期します。
フォルダ作成	新しいフォルダを作成します。
移動	Ｓメモを移動します。
コピー	Ｓメモをコピーします。
ロック	他の人が内容確認や編集できないようにPINロックをかけます。
ロック解除	ＳメモのPINロックを解除します。

<table>
<tr><th colspan="2">項目</th><th>説明</th></tr>
<tr><td colspan="2">印刷</td><td>対応のプリンターを利用して、Sメモを印刷します。→P.313</td></tr>
<tr><td rowspan="5">設定</td><td>自動同期</td><td>自動同期を行うかどうかを設定します。</td></tr>
<tr><td>PINを変更</td><td>PINコードを入力しないと使用できないように設定します。</td></tr>
<tr><td>画面のタイムアウト</td><td>画面の表示が消えるまでの時間を設定します。</td></tr>
<tr><td>手書き文字言語の更新</td><td>手書き文字-テキスト変換が可能な言語の更新を行います。
• お買い上げ時は、記号、数字、英語、韓国語、日本語の手書き文字-テキスト変換のみ可能です。
• 日本語の場合、2012年11月現在、ひらがな、カタカナのみ変換できます。</td></tr>
<tr><td>自動的にツールバーを非表示</td><td>ツールバーの表示／非表示を自動的に行うかどうかを設定します。</td></tr>
<tr><td colspan="2">チュートリアル</td><td>Sメモの使いかたに関する説明を表示します。</td></tr>
</table>

■ Sメモ作成画面

項目	説明
名前を変更	作成したSメモの名前を変更します。
共有	Sメモをオンラインサービスで共有したり、Bluetooth機能やメールなどで送信します。
手書き文字-テキスト変換	手書きした文字や記号、数字をテキストに変換します。 • お買い上げ時は、記号、数字、英語、韓国語、日本語の手書き文字-テキスト変換のみ可能です。 • 日本語の場合、2012年11月現在、ひらがな、カタカナのみ変換できます。
エクスポート	作成したSメモをギャラリーの画像やPDFとしてエクスポートします。
名前を付けて保存	作成したSメモに名前を付けて保存します。
画像を追加	画像を追加します。
タグを追加	Sメモにタグ情報を付けます。
お気に入りとして追加	お気に入りとしてマークします。
背景を変更	背景のフォーマットを変更します。
Sプランナーにリンク	Sプランナーを起動し、作成中のSメモをイベントやタスクとして登録したり、登録済みのSメモを確認します。

項目	説明
ロック／ロック解除	他の人が内容確認や編集できないようにPINロックをかけます。
登録	連絡先の画像やホーム画面／画面ロック時の壁紙として登録します。
印刷	対応のプリンターを利用して、Sメモを印刷します。→P.313

ボイスレコーダー

音声を録音する

1 ホーム画面で →「ボイスレコーダー」

2 をタップ

- 録音が開始されます。
- 録音を一時停止するには 、続けて録音するには をタップします。
- 録音をキャンセルするには →「ＯＫ」をタップします。
- 録音中に をタップするとそれまでに録音した内容が保存され、ボイスレコーダーが終了します。

3 をタップ

- 録音が終了し、録音した内容が保存されます。

音声を再生する

1 ホーム画面で →「ボイスレコーダー」

2 をタップ

- 録音したデータの一覧画面が表示されます。

3 再生したいデータをタップ

- 再生が開始されます。
- 再生を一時停止するには 、続けて再生するには 、終了するには をタップします。
- 音声のトリミングを行う場合は、音声の再生中に →「ＯＫ」→ トリミングする位置までスライダーをドラッグ → → トリミングしたデータの保存方法を選択 →「ＯＫ」をタップします。
- 音量を調節する場合は をタップします。

ボイスレコーダーのメニュー

一覧画面／再生画面で をタップすると以下の項目が表示されます。

項目			説明
共有			データをGroup CastやWi-Fi Directで共有したり、Bluetooth機能やメールなどで送信します。
削除			データを削除します。
設定※	一般	保存先	保存先を選択します。
		録音品質	録音の品質を設定します。
	ファイル名	ファイル名の自動生成	ファイル名を自動生成するかどうかを設定します。
		標準ファイル名	標準ファイル名を設定します。
終了			ボイスレコーダーを終了します。

※ 一覧画面でのみ表示されます。

電卓

四則演算（＋、－、×、÷）やパーセント計算、関数計算などができます。

1 **ホーム画面で →「電卓」**

- 本端末を横向きにすると、関数電卓に切り替わります。
- をタップすると履歴が表示されます。

電卓のメニュー

電卓画面で をタップすると以下の項目が表示されます。

項目	説明
履歴を消去	履歴を消去します。
関数電卓※／簡易電卓※	関数電卓／簡易電卓に切り替えます。
テキストサイズ	文字サイズを設定します。

※「画面の自動回転」（P.79）がOFFに設定されている場合に表示されます。

ドコモバックアップ

microSDカードなどの外部記録媒体を利用して、電話帳、spモードメール、ブックマークなどのデータの移行やバックアップができます。

- バックアップまたは復元中に本端末の電池パック、microSDカードを取り外さないでください。データが破損する場合があります。
- 他の端末の電話帳項目名（電話番号など）が本端末と異なる場合、項目名が変更されたり削除されたりすることがあります。また、電話帳に登録可能な文字は端末ごとに異なるため、コピー先で削除されることがあります。
- バックアップ対象の電話帳は、docomoアカウントの電話帳と本端末に登録されている電話帳です。
- 電話帳をmicroSDカードにバックアップする場合、名前が登録されていないデータはコピーできません。
- microSDカードの空き容量が不足しているとバックアップが実行できない場合があります。その場合は、microSDカードから不要なファイルを削除して容量を確保してください。
- 電池残量が不足しているとバックアップまたは復元が実行できない場合があります。その場合は、本端末を充電後に再度バックアップまたは復元を行ってください。
- 本端末のメモリ構成上、microSDカードを取り付けていない場合、静止画・動画などのデータは本端末に保存されます。本アプリケーションでは静止画・動画などのデータのうち本端末に保存されているもののみバックアップされます。microSDカードに保存されているデータはバックアップされません。

バックアップする

電話帳、spモードメール、メディアファイルなどのデータのバックアップを行います。

1 ホーム画面で ⊞ →「ドコモバックアップ」→「microSDカードへ保存」

- 初めて起動したときは利用許諾契約書が表示されるので、内容をよく読み、「同意する」をタップします。

2 「バックアップ」→ バックアップするデータにチェックを付ける →「バックアップ開始」→「OK」

3 ドコモアプリパスワードを入力 →「OK」

- 選択したデータがmicroSDカードに保存されます。

4 「トップに戻る」

バックアップファイルを本端末に復元する

電話帳、spモードメール、メディアファイルなどのデータの復元を行います。

1 ホーム画面で ⊞ →「ドコモバックアップ」→「microSDカードへ保存」

2 「復元」→ 復元するデータ種別の「選択」→ 復元するデータにチェックを付ける →「選択」

3 復元方法を選択 →「復元開始」→「OK」

4 ドコモアプリパスワードを入力 →「OK」

- 選択したデータが本端末に復元されます。

5 「トップに戻る」

Googleアカウントや本端末に登録されている電話帳をdocomoアカウントにコピーする

Googleアカウントの電話帳や、Samsungが提供する「連絡先」アプリで本端末に登録した連絡先をdocomoアカウントにコピーします。

1. ホーム画面で ⊞ →「ドコモバックアップ」→「microSDカードへ保存」
2. 「電話帳アカウントコピー」→ コピーする電話帳の「選択」→「上書き」／「追加」
   - コピーしたデータがdocomoアカウントに保存されます。
3. 「OK」

スケジュールを設定して自動的にバックアップする

1. ホーム画面で ⊞ →「ドコモバックアップ」→「microSDカードへ保存」
2. 「定期バックアップ設定」→「スケジュール追加」→「スケジュールをONにする」にチェックを付ける
3. 「選択」→ バックアップするデータにチェックを付ける →「選択」
4. 繰り返し種別を選択 → 実行時間を設定 →「決定」

5 「設定」→ ドコモアプリパスワードを入力 →「OK」→「OK」

YouTube

YouTubeは無料のオンライン動画ストリーミングサービスです。動画を再生したり投稿したりすることができます。

動画を再生する

1 ホーム画面で ⊞ →「YouTube」

2 再生したい動画をタップ

- 動画が再生されます。
- 画面をタップすると、以下のアイコンが表示されます。
  - ⏸ ／ ▶ ：タップして一時停止／再生開始
  - ● ：左右にドラッグして巻き戻し／早送り
  - HD ／ HQ ：タップして高画質再生のＯＮ／ＯＦＦを設定（横表示のみ）

動画を投稿する

本端末から自分で撮影した動画を投稿できます。

- YouTubeに動画を投稿するには、Googleアカウントまたは YouTubeアカウントでYouTubeにログインする必要があります。

1 ホーム画面で ⊞ →「YouTube」

2 YouTubeのトップ画面でアカウントをタップ → ⬆ → 動画を選択

- YouTubeのトップ画面が表示されていない場合は、画面上部の YouTube をタップします。
- 動画のアップロード画面が表示されます。

YouTubeにログインしていない場合

YouTubeのトップ画面で「ログイン」→ アカウントを選択 →「OK」をタップします。アカウントを追加してYouTubeにログインする場合は、アカウントの選択画面で「アカウント追加」→「OK」→ 画面の指示に従って既存のアカウントにログイン／新しいアカウントを設定します。

3 必要な項目を入力／設定 →「アップロード」

- 動画がアップロードされます。

辞典

3か国語の辞書（日・英・韓）を利用して語句を検索することができます。
お買い上げ時は以下の辞書が搭載されています。

- 旺文社英和辞典
- 旺文社和英辞典
- ニューエース韓日辞典
- ニューエース日韓辞典

1 ホーム画面で → 「辞典」

2 キーワード入力欄に検索する語句を入力

辞書画面

① **現在使用中の辞書**

② **辞書の変更**

：辞書の種類を切り替えます。

／：辞書の「日本語-英語」／「英語-日本語」を切り替えます。

／：辞書の「日本語-韓国語」／「韓国語-日本語」を切り替えます。

③ **検索候補一覧**

④ **キーワード入力欄**

⑤ **音声検索**

⑥ **単語と本文**

- 本文をタップするか、画面を左にドラッグすると、検索候補一覧を非表示にすることができます。再び検索候補一覧を表示したい場合、画面を右にドラッグします。

⑦ **特殊機能ツールバー**

：本文の選択部分にマーキングを付けます。
：本文の文字サイズを変更します。
：表示中の単語にメモを追加します。
：表示中の単語をフラッシュカードに登録します。

⑧ **本文の表示内容を切り替え**

辞典のメニュー

辞書画面で をタップすると以下の項目が表示されます。

項目	説明
検索※	辞書画面に戻ります。
フラッシュカード	登録した単語帳を表示します。
履歴	検索の履歴を表示します。
設定	フォントのカスタマイズができます。
ヘルプ	辞典アプリの使用方法や表記ルール、製品情報の確認ができます。

※ フラッシュカード画面と履歴画面で表示されます。

Polaris Office

本端末でOffice文書などを表示／編集したり、新規に作成したりできます。
Dropboxのアカウントをお持ちの場合は、ファイルをオンライン上で管理できます。
対応している種類とバージョンは以下のとおりです。

- パスワード付きのファイルは閲覧のみ可能です。

種類	バージョン	
	作成・編集	閲覧
Microsoft Word	MS Word 97-2007（.doc、.docx）	MS Word 97-2010（.doc、.docx、.dot、.dotx）
Microsoft Excel	MS Excel 97-2007（.xls、.xlsx）	MS Excel 97-2010（.xls、.xlsx、.xlt、.xltx、.csv）
Microsoft PowerPoint	MS PowerPoint 97-2007（.ppt、.pptx）	MS PowerPoint 97-2010（.ppt、.pptx、.pps、.ppsx、.pot、.potx）
Adobe PDF	－	V1.2-V1.7（.pdf）
Hansoft Hangul	－	HWP 97-3.0、2002-2010（.hwp）

種類	バージョン	
	作成・編集	閲覧
Text	(.txt)	(.txt、.asc、.rtf)
Zip	―	(.zip)

ファイルを新規作成する

1 ホーム画面で → 「Polaris Office 4.0」
- Polaris Office画面が表示されます。
- 初めて起動したときはユーザー登録画面が表示されます。登録する場合はメールアドレスを入力→「登録」、登録しない場合は「スキップ」をタップしてください。

2 → 作成するファイルの種類を選択

3 ファイルを作成

4 → ファイル名を入力 → 保存先を選択 → 「保存する」
- をタップすると、Polaris Office画面に戻ります。

ファイルを表示／編集する

1 ホーム画面で ⠿ →「Polaris Office 4.0」

項目	説明
最近使用したファイル	最近使用したファイルから検索します。
ブラウザ	保存先からファイルを検索します。
クラウド	オンラインストレージに保存したファイルを検索します。
フォームタイプ	ファイルの種類で検索します。
お気に入り	お気に入りに追加したファイルから検索します。

2 表示／編集するファイルをタップ

海外利用

国際ローミング（WORLD WING）の概要

国際ローミング（WORLD WING）とは、日本国内で使用している電話番号やメールアドレスはそのままに、ドコモと提携している海外通信事業者のサービスエリアで利用いただけるサービスです。電話、SMSは設定の変更なくご利用になれます。

■ 対応ネットワークについて

本端末は、クラス4になります。3Gネットワークおよび GSM ／ GPRSネットワークのサービスエリアでご利用いただけます。また、3G850MHz ／ GSM850MHzに対応した国・地域でもご利用いただけます。ご利用可能エリアをご確認ください。海外ではXiエリア外のため、3Gネットワークおよび GSM ／ GPRSネットワークをご利用ください。

■ 海外でご利用いただく前に、以下をあわせてご覧ください

- 『ご利用ガイドブック（国際サービス編）』
- ドコモの「国際サービスホームページ」

お知らせ

- 国番号・国際電話アクセス番号・ユニバーサルナンバー用国際識別番号・接続可能な国、地域および海外通信事業者は、『ご利用ガイドブック（国際サービス編）』またはドコモの「国際サービスホームページ」をご確認ください。

ご利用できるサービス

（○：利用可能）

主な通信サービス	3G	3G850	GSM (GPRS)
電話	○	○	○
SMS	○	○	○
メール※	○	○	○
ブラウザ※	○	○	○

※ ローミング時にデータ通信を利用するには、データローミングの設定をONにしてください（P.416）。

お知らせ

- 接続する海外通信事業者やネットワークにより利用できないサービスがあります。

ご利用時の確認

出発前の確認

海外でご利用いただく際は、出発前に日本国内で次の確認をしてください。

■ ご契約について

- WORLD WINGのお申し込み状況をご確認ください。詳細は裏表紙の「総合お問い合わせ先」までお問い合わせください。

■ 充電について

- 海外旅行で充電する際のACアダプタは、別売の「FOMA海外兼用ACアダプタ01」、「FOMA ACアダプタ02」、または「ACアダプタ03」をご利用ください。

■ 料金について

- 海外でのご利用料金（通話料､パケット通信料）は、日本国内とは異なります。
- ご利用のアプリケーションによっては自動的に通信を行うものがありますので、パケット通信料が高額になる場合があります。各アプリケーションの動作については、お客様ご自身でアプリケーション提供元にご確認ください。

事前設定

■ ネットワークサービスの設定について

ネットワークサービスをご契約いただいている場合、海外からも留守番電話サービス・転送でんわサービス・番号通知お願いサービスなどのネットワークサービスをご利用になれます。ただし、一部のネットワークサービスはご利用になれません。

- 海外でネットワークサービスをご利用になるには、「遠隔操作設定」（P.168）を開始にする必要があります。渡航先で「遠隔操作（有料）」（P.170）の設定を行うこともできます。
- 設定／解除などの操作が可能なネットワークサービスの場合でも、利用する海外通信事業者によっては利用できないことがあります。

滞在国での確認

海外に到着後、本端末の電源を入れると自動的に利用可能な通信事業者に接続されます。

■ **接続について**

「ネットワークオペレーター」の設定で「利用可能なネットワーク」を「自動選択」に設定している場合は、最適なネットワークを自動的に選択します。
定額サービス適用対象通信事業者へ接続していただくと、海外でのパケット通信料が一日あたり一定額を上限としてご利用いただけます。なお、ご利用には国内のパケット定額サービスへのご加入が必要です。詳細は『ご利用ガイドブック（国際サービス編）』またはドコモの「国際サービスホームページ」をご確認ください。

■ **ディスプレイの表示について**

ステータスバーには利用中のネットワークの種類が表示されます。

アイコン	ネットワークの種類
R ／ R	国際ローミング中（電波状態弱／強）
G ／ G	GPRS使用可能／通信中
3G ／ 3G	3G（パケット）使用可能／通信中
H ／ H	HSDPA使用可能／通信中

- 接続している通信事業者名は、通知パネルで確認できます。

■ 日付と時刻について

「日付と時刻」の「自動日時設定」「自動タイムゾーン」にチェックを付けている場合は、接続している海外通信事業者のネットワークから時刻・時差に関する情報を受信することで本端末の時刻や時差が補正されます。

- 海外通信事業者のネットワークによっては、時刻・時差補正が正しく行われない場合があります。その場合は、手動でタイムゾーンを設定してください。
- 補正されるタイミングは、海外通信事業者によって異なります。
- 「日付と時刻」（P.291）

■ お問い合わせについて

- 本端末やドコモminiUIMカードを海外で紛失・盗難された場合は、現地からドコモへ速やかにご連絡いただき利用中断の手続きをお取りください。お問い合わせ先については、裏表紙をご覧ください。なお、紛失・盗難されたあとに発生した通話・通信料もお客様のご負担となりますのでご注意ください。
- 一般電話などからご利用の場合は、滞在国に割り当てられている「国際電話アクセス番号」または「ユニバーサルナンバー用国際識別番号」が必要です。

滞在先で電話をかける／受ける

滞在国外（日本含む）に電話をかける

国際ローミングサービスを利用して、滞在国から他の国へ電話をかけることができます。

- 接続可能な国および通信事業者などの情報については、ドコモの『国際サービスホームページ』をご覧ください。

1 ホーム画面で「電話」→「ダイヤル」

2 ＋（「0」をロングタッチ）→ 国番号 → 地域番号（市外局番）→ 相手の電話番号を入力

- 地域番号（市外局番）が「0」で始まる場合には、先頭の「0」を除いて入力してください。ただし、イタリアなど一部の国・地域では「0」が必要な場合があります。

3 [電話アイコン] →「<国名>へ発信」／「そのまま発信」

- 上記の<国名>には、「国際ダイヤルアシスト」の「国番号」で設定した国名が表示されます。例えば、「日本（JPN)」（+81）の場合には「日本（JPN）へ発信」と表示されます。
- 国際ダイヤルアシストの設定については、[メニューキー] →「通話設定」→「海外設定」→「国際ダイヤルアシスト」をタップしてご確認ください（P.169）。

4 通話が終了したら「通話を終了」

滞在国内に電話をかける

日本国内での操作と同様の操作で、相手の一般電話や携帯電話に電話をかけることができます。

1 ホーム画面で「電話」→「ダイヤル」
2 相手の電話番号を入力
3 📞をタップ
4 通話が終了したら「通話を終了」

海外にいるWORLD WING利用者に電話をかける

電話をかける相手が海外での「WORLD WING」利用者の場合は、滞在国内に電話をかける場合でも、日本への国際電話として電話をかけてください。

- 滞在先にかかわらず日本経由での通信となるため、日本への国際電話と同じように「+」と「81」(日本の国番号)を先頭に付け、先頭の「0」を除いた電話番号を入力して電話をかけてください。

滞在先で電話を受ける

日本国内での操作と同様の操作で電話を受けることができます。

お知らせ

- 国際ローミング中に電話がかかってきた場合は、いずれの国からの電話であっても日本からの国際転送となります。発信側には日本までの通話料がかかり、着信側には着信料がかかります。
- 相手が発信者番号を通知して電話をかけてきた場合でも、海外通信事業者によっては、発信者番号が通知されない場合があります。また、相手が利用しているネットワークによっては、相手の発信者番号とは異なる番号が通知される場合があります。
- 海外での利用時には、「着信拒否」（P.175）が動作しない可能性があります。

相手からの電話のかけかた

■ 日本国内から滞在先に電話をかけてもらう場合

日本国内にいるときと同様に電話番号をダイヤルして、電話をかけてもらいます。

■ 日本以外の国から滞在先に電話をかけてもらう場合

滞在先にかかわらず日本経由で電話をかけるため、国際アクセス番号および「81」（日本の国番号）をダイヤルしてもらう必要があります。

発信国の国際アクセス番号-81-90（または80）-XXXX-XXXX

海外のネットワーク接続に関する設定

海外で本端末を使用する場合は、滞在先で接続できる通信事業者のネットワークに切り替える必要があります。お買い上げ時は、接続できるネットワークを自動的に検出して切り替えるように設定されていますが、手動で設定を変更することもできます。

ネットワークモードを設定する

1 ホーム画面で [メニュー] →「本体設定」→「その他の設定」→「モバイルネットワーク」→「ネットワークモード」

2 使用するネットワークモードをタップ

項目	説明
LTE／3G／GSM（自動）	LTEネットワーク、3Gネットワーク、GSM／GPRSネットワークを自動で選択して使用します。
LTE／3G	LTEネットワークまたは3Gネットワークを使用します。
GSMのみ	GSM／GPRSネットワークのみを使用します。

お知らせ

- 海外では、LTEネットワークは検出されません。

接続できる通信事業者を確認して手動で設定する

1 ホーム画面で ▭ →「本体設定」→「その他の設定」→「モバイルネットワーク」→「ネットワークオペレーター」

- 検索された通信事業者名のリストが表示されます。
- 情報画面が表示された場合は「OK」をタップします。
- 「ネットワークを検索」をタップして、再検索することもできます。
- 「ネットワークモード」（P.414）の設定により、表示される通信事業者は異なります。

2 接続する通信事業者名をタップ

お知らせ

- ネットワーク状況や電波状態などによっては、検索結果が表示されない場合があります。
- 接続する通信事業者を手動で設定した場合、本端末がサービスエリア外に移動しても別の接続可能な通信事業者には自動的に接続されません。ただし、FOMAネットワークエリア内に移動した場合は、接続する通信事業者を手動で設定していても自動的にFOMAネットワークに接続されます。
- 接続する通信事業者を手動で設定した場合は、日本に帰国後、「自動選択」に設定することをおすすめします。

接続できる通信事業者を自動的に選択する

1 ホーム画面で [メニュー] →「本体設定」→「その他の設定」→「モバイルネットワーク」→「ネットワークオペレーター」

- 情報画面が表示された場合は「OK」をタップします。

2 「自動選択」

- 情報画面が表示された場合は「OK」をタップします。

データローミングを設定する

1 ホーム画面で [メニュー] →「本体設定」→「その他の設定」→「モバイルネットワーク」

2 「データローミング」にチェックを付ける

3 「OK」

帰国後の確認

日本に帰国後は自動的にドコモのネットワークに接続されます。接続できなかった場合は、以下の設定を行ってください。

- 「モバイルネットワーク」の「ネットワークモード」を「LTE／3G／GSM（自動）」に設定してください（P.414）。
- 「モバイルネットワーク」の「ネットワークオペレーター」を「自動選択」に設定してください（P.416）。

オプション・関連機器のご紹介

本端末にさまざまな別売のオプション機器を組み合わせることで、パーソナルからビジネスまでさらに幅広い用途に対応できます。なお、地域によってはお取り扱いしていない商品もあります。詳しくは、ドコモショップなど窓口へお問い合わせください。また、オプションの詳細については、各機器の取扱説明書などをご覧ください。

- 電池パックSC07
- リアカバー SC09
- ACアダプタSC04
- HDMI変換ケーブル SC03
- USB接続ケーブル SC02
- FOMA充電microUSB変換アダプタSC01
- FOMA海外兼用ACアダプタ01※1※2
- FOMA ACアダプタ02※1※2
- FOMA DCアダプタ01 ／ 02※1
- 車載ハンズフリーキット01※3
- FOMA乾電池アダプタ01※1
- ワイヤレスイヤホンセット03※3
- 骨伝導レシーバマイク02※3
- FOMA補助充電アダプタ02※1
- キャリングケースL 01

- キャリングケース 02
- ポケットチャージャー 01 ／ 02
- ACアダプタ03
- 海外用AC変換プラグCタイプ01
- microUSB接続ケーブル01
- DCアダプタ03
- ドライブネットクレイドル01

※1 本端末と接続するには、FOMA充電microUSB変換アダプタSC01が必要です。
※2 海外で使用する場合は、渡航先に適合した変換プラグアダプタが必要です。
※3 本端末とBluetooth通信で接続できます。

お知らせ

- 本端末と外部機器を接続する場合は、HDMIケーブル（市販品）に必ずHDMI変換ケーブル SC03を接続してからご使用ください。

試供品

- 試供品は無料修理保証の対象外です。
- 試供品の仕様および外観は、性能向上のため予告なく変更することがあります。

microSDカード（2GB）

■ ご使用上のお願い

- 取り付けかた／取り外しかたをご確認ください（P.57）。無理に取り付け／取り外しを行うと、故障の原因となります。
- 本製品をご使用の際は、必ずデータのバックアップを作成してください。本製品に記録されたデータの破壊、消失については、故障や損害の内容／原因にかかわらず、Samsung Electronicsは一切その責任を負いませんので、あらかじめご了承ください。
- 本製品には寿命があります。長期間または繰り返しご使用になると、データの書き込みや読み込みなどのご使用ができなくなったり、遅くなったりする場合があります。
- 本製品にラベルやシールなどを貼った状態で、機器に取り付けないでください。機器への取り付け／取り外しができなくなったり、接触不良が発生したりする原因となります。
- 本製品を廃棄する場合は、地方自治体の規則に従って処理してください。

■ 免責事項

次の項目に該当する場合について、Samsung Electronicsは一切の責任を負いかねますので、あらかじめご了承ください。

- 本製品の使用または使用不能から生じた損害、逸失利益、および第三者からの請求
- 本製品の取り扱いにおいて、取扱説明書の記載内容を守らないことにより生じた損害
- 本製品のご使用において発生したデータの消失、破損
  - Samsung Electronicsでは、データの復旧／回復作業は行っておりません。
- 接続機器、ソフトウェアとの組み合わせによる誤作動などから発生した損害

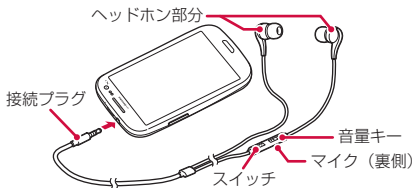
■ 主な仕様

動作電圧	2.7V ～ 3.6V
外形寸法	縦：約15mm、横：約11mm、 厚み：約1mm
質量	約0.29g

マイク付ステレオヘッドセット

■ ご使用方法

1 マイク付ステレオヘッドセットの接続プラグを本端末のヘッドホン接続端子に差し込む

- ホーム画面などを表示中にスイッチを押すと、以下の操作ができます。
  - 音楽の再生／一時停止
  - 電話を受ける／終了する
- 音量キーを押すと、音量を調節できます。
- 接続プラグを奥まで確実に差し込んでください。途中で止まっていると音が聞こえない場合があります。
- マイク付ステレオヘッドセットのコードが本人や周囲の人、物にからまないよう注意してご使用ください。

- 使い終わったら、接続プラグを本端末のヘッドホン接続端子から水平に引き抜きます。

■ イヤピースのサイズが合わないときは

マイク付ステレオヘッドセットには、あらかじめ取り付けられているイヤピース以外に、サイズの異なる3種類のイヤピースが付属しています。サイズが合わないと感じたときは、交換してください。

■ 主な仕様

コネクタ形状	3.5mmステレオミニプラグ
インピーダンス	32Ω
最大入力	40mW（1.13V）
最大出力	95dB
サイズ	長さ 約1244mm
質量	約14.1g

トラブルシューティング（FAQ）

故障かな？と思ったら

- まずはじめに、ソフトウェアを更新する必要があるかをチェックして、必要な場合にはソフトウェアを更新してください（P.446）。
- 気になる症状のチェック項目を確認しても症状が改善されないときは、裏表紙の「故障お問い合わせ先」または、ドコモ指定の故障取扱窓口までお気軽にご相談ください。

■ 電源

症状	チェックする箇所
本端末の電源が入らない（本端末が使えない）	• 電池パックが正しく取り付けられていますか。 → P.60 • 電池切れになっていませんか。 → P.66

■ 充電

症状	チェックする箇所
充電ができない	・電池パックが正しく取り付けられていますか。 → P.60 ・アダプタの電源プラグやシガーライタープラグがコンセントまたはシガーライターソケットに正しく差し込まれていますか。 ・アダプタ、microUSB接続ケーブル、本端末が正しくセットされていますか。 ・付属のUSB接続ケーブル SC02と本端末が正しくセットされていますか。 ・付属のUSB接続ケーブル SC02をご使用の場合、パソコンの電源が入っていますか。 ・充電しながら通話や通信、その他機能の操作を長時間行うと、本端末の温度が上昇して充電できなくなる場合があります。その場合は、本端末の温度が下がってから再度充電を行ってください。

■ 端末操作

症状	チェックする箇所
操作中・充電中に熱くなる	• 操作中や充電中、また、充電しながら通話などを長時間行った場合などには、本端末や電池パック、アダプタが温かくなることがありますが、安全上問題ありませんので、そのままご使用ください。
電池の使用時間が短い	• 圏外の状態で長時間放置されるようなことはありませんか。圏外時は通信可能な状態にできるよう電波を探すため、より多くの電力を消費しています。 • 電池パックの使用時間は、使用環境や劣化度により異なります。 • 電池パックは消耗品です。充電を繰り返すごとに、1回で使える時間が次第に短くなっていきます。十分に充電しても購入時に比べて使用時間が極端に短くなった場合は、指定の電池パックをお買い求めください。
電源断・再起動が起きる	• 電池パックの端子が汚れていると接触が悪くなり、電源が切れることがあります。汚れたときは、電池パックの端子を乾いた綿棒などで拭いてください。

症状	チェックする箇所
タッチスクリーンをタップしても動作しない	• 画面ロックが設定されていませんか。／を押して画面ロックを解除してください。 → P.70
タッチスクリーンをタップしたときの画面の反応が遅い	• 本端末に大量のデータが保存されているときや、本端末とmicroSDカードの間で容量の大きいデータをやりとりしているときなどに起きる場合があります。 • 保護シートが貼られていませんか。保護シートによって動作が認識されにくくなる場合があります。 • ディスプレイの表面に傷が付いたり、破損したりしている場合は、裏表紙の「故障お問い合わせ先」またはドコモ指定の故障取扱窓口までご相談ください。
ドコモminiUIMカードが認識されない	• ドコモminiUIMカードを正しい向きで挿入していますか。→ P.54
時計がずれる	• 長い間電源を入れた状態にしていると時計がずれる場合があります。「自動日時設定」が設定されているかを確認し、電波のよい場所で電源を入れ直してください。

症状	チェックする箇所
端末動作が不安定	• ご購入後に端末へインストールしたアプリケーションによる可能性があります。セーフモードで起動して症状が改善される場合には、インストールしたアプリケーションをアンインストールすることで症状が改善される場合があります。 ※ セーフモードとはご購入時の状態に近い状態で起動させる機能です。 - セーフモードの起動方法 電源がOFFの状態から ⊖ を押し、docomoのロゴが消えたあと、▯（音量キーの下側）を押し続けてください。 ※ セーフモードが起動するとホーム画面の左下端に「セーフモード」と表示されます。 ※ セーフモードを終了するには、電源を一度OFFにし起動し直してください。 - 必要なデータを事前にバックアップした上でセーフモードをご利用ください。 - お客様ご自身で作成されたウィジェットが消える場合があります。 - セーフモードは通常の起動状態ではないため、通常はセーフモードを終了してご利用ください。 • 開発者向けオプションは開発専用に設計されているため、設定すると端末や端末上のアプリケーションが正常に動作しなくなる場合があります。

症状	チェックする箇所
本端末の動作が遅くなった／プログラムの動作が不安定になった／一部のプログラムを起動できない	• 本端末の端末内部メモリの使用状況を確認し、実行中のプログラムを終了するなどして、メモリの空き容量を確保してください。 → P.119
データが正常に表示されない／タッチスクリーンを正しく操作できない	• 「工場出荷状態に初期化」（P.283）をお試しください。
画面を解除できない	• 画面ロックが設定されていませんか。 → P.268
本端末が応答しない、操作できなくなった	• を1秒以上押し、端末オプション画面で「再起動」をタップするか、を8～10秒間押すと本端末が再起動します。再起動しても問題が解決しないときは「工場出荷状態に初期化」（P.283）をお試しください。
アプリケーションが正しく動作しない（起動できない、エラーが頻繁に起こるなど）	• 無効化されているアプリケーションはありませんか。無効化されているアプリケーションを有効にしてから再度お試しください。 → P.263

■ 通話

症状	チェックする箇所
電話発信キーをタップしても発信できない	・ドコモminiUIMカードが正しく本端末に取り付けられていますか。→ P.54 ・機内モードを設定していませんか。 → P.240
着信音が鳴らない	・マナーモード（サイレント、バイブ）に設定していませんか。 → P.254 ・「着信音」を「サイレント」にしていませんか。 → P.256 ・「音量」の「着信音」の音量を0にしていませんか。 → P.255 ・「自動着信拒否モード」を「全ての着信」または「自動着信拒否番号」に設定していませんか。 → P.170 ・機内モードに設定していませんか。 → P.240 ・留守番電話サービスまたは転送でんわサービスの呼出時間を「0秒」にしていませんか。 → P.167

症状	チェックする箇所
通話ができない（場所を移動しても「圏外」の表示が消えない、電波の状態は悪くないのに発信または着信ができない）	• 電源を入れ直すか、電池パックまたはドコモminiUIMカードを取り付け直してください。 → P.54、P.60、P.69 • 電波の性質により、圏外ではない、電波が強くアンテナマークが4本表示されている状態（ ）でも、発信や着信ができない場合があります。場所を移動してかけ直してください。 • 「自動着信拒否モード」を設定していませんか。→P.170 • 電波の混み具合により、多くの人が集まる場所では電話やメールが混み合い、つながりにくい場合があります。その場合は「しばらくお待ちください」と表示され、話中音が流れます。場所を移動するか、時間をずらしてかけ直してください。
ネットワークに接続できない	• 電波の弱い場所で使用していませんか。 → P.69

■ 画面

症状	チェックする箇所
ディスプレイが暗い	• 画面の表示が消えるまでの時間を設定していませんか。 → P.257 • ディスプレイの明るさを調整していませんか。 → P.260 • 省電力モードを設定していませんか。 → P.262 • 「ディスプレイ」の「画面トーンの自動調整」にチェックが付いていませんか。チェックが付いている場合は表示されている画像によって画面のトーンが調整されます。 → P.257 • 電池残量が少なくなっていませんか。 → P.263

■ 音声

症状	チェックする箇所
通話中、相手の声が聞こえにくい、相手の声が大きすぎる	• 通話音量を変更していませんか。 → P.158、P.161

■ メール

症状	チェックする箇所
メールを自動で受信しない	• 「Eメールを同期」のチェックを外していませんか。チェックを付けてください。 → P.202 • 「同期スケジュール」を「自動で確認しない」に設定していませんか。同期スケジュールを設定してください。 → P.203
添付ファイルが削除されて画像を見ることができない	• 「Eメール受信サイズ」を確認してください。 → P.202

■ カメラ

症状	チェックする箇所
カメラで撮影した静止画や動画がぼやける	• カメラのレンズにくもりや汚れが付着していないかを確認してください。 • 人物を撮影するときは、顔検出機能を設定してください。 → P.351 • 手振れ補正をONにして撮影してください。 → P.353

症状	チェックする箇所
カメラを起動しようとするとエラーメッセージが表示される	• 電池残量を確認してください。 → P.263 • メモリの空き容量を確認してください。 → P.261 • 本端末を再起動してください。 → P.429

■ ワンセグ

症状	チェックする箇所
ワンセグの視聴ができない	• 地上デジタルテレビ放送サービスのエリア外か放送電波の弱い場所にいませんか。 • エリア情報設定をしていますか。 → P.341

■ おサイフケータイ

症状	チェックする箇所
おサイフケータイが使えない	• 電池パックを取り外したり、おまかせロックを起動したりすると、おサイフケータイ ロックの設定にかかわらずおサイフケータイの機能が利用できなくなります。 • おサイフケータイ ロックを設定していませんか。→ P.324 • 本端末の マークがある位置を読み取り機にかざしていますか。 → P.323

■ 海外利用

症状	チェックする箇所
海外で本端末が使えない	**■ アンテナマークが表示されている場合** ・ WORLD WINGのお申し込みをされていますか。 WORLD WINGのお申し込み状況をご確認ください。 **■ 圏外が表示されている場合** ・ 国際ローミングサービスのサービスエリア外か、電波の弱いところにいませんか。 利用可能なサービスエリアまたは海外通信事業者かどうか、『ご利用ガイドブック（国際サービス編）』またはドコモの「国際サービスホームページ」で確認してください。 ・ ネットワークの設定や海外通信事業者の設定を変更してみてください。 「ネットワークモード」を「LTE／3G／GSM（自動）」に設定してください。 → P.414 「ネットワークオペレーター」を「自動選択」に設定してください。 → P.415 ・ 本端末の電源をOFFにした後、再びONにすることで回復することがあります。

症状	チェックする箇所
海外でデータ通信ができない	• データローミング設定をONにしてください。 → P.416
海外で利用中に、突然本端末が使えなくなった	• 利用停止目安額を超えていませんか。「国際ローミングサービス(WORLD WING)」のご利用には、あらかじめ利用停止目安額が設定されています。利用停止目安額を超えてしまった場合、ご利用累積額を精算してください。
海外で電話がかかってこない	• 「ローミング時着信規制」を「規制開始」に設定していませんか。→ P.169
相手の電話番号が通知されない／相手の電話番号とは違う番号が通知される／連絡先の登録内容や発信者番号通知を利用する機能が動作しない	• 相手が発信者番号を通知して電話をかけてきても、利用しているネットワークや通信事業者から発信者番号が通知されない場合は、本端末に発信者番号は表示されません。また、利用しているネットワークや通信事業者によっては、相手の電話番号とは違う番号が通知される場合があります。

■ データ管理

症状	チェックする箇所
データ転送が行われない	• USB HUBを使用していませんか。USB HUBを使用すると、正常に動作しない場合があります。
microSDカードに保存したデータが表示されない	• microSDカードを取り付け直してください。 → P.57
画像が表示されない	• 未対応の画像データの場合は「マイファイル」に ▢ が表示されます。
端末をパソコンに接続しても動作しない	• Windows XPをお使いの場合は、Windows XP Service Pack 3以上にしてください。 • Samsung Kies 2.0以上またはWindows Media Player 10以上をパソコンにインストールしてください。

■ Bluetooth機能

症状	チェックする箇所
Bluetoothデバイスと接続ができない／サーチしても見つからない	• Bluetoothデバイス（市販品）側を機器登録待ち受け状態にしてから、本端末側から機器登録を行う必要があります。登録済みのデバイスを削除後、再度登録する場合は、デバイスと本端末の双方で登録されているデバイスを削除してから登録してください。
カーナビやハンズフリー機器などの外部機器を接続した状態で本端末から発信できない	• 相手が電話に出ない、圏外などの状態で複数回発信すると、その番号へ発信できなくなる場合があります。その場合は、本端末の電源を一度切ってから、再度電源を入れ直してください。

エラーメッセージ

エラーメッセージ	説明／対処方法	参照先
XXXX（XXXX）が予期せず中止しました。／XXXX（XXXX）は停止しました。※	本端末や機能にエラーが発生したときに表示されます。「強制終了」／「OK」をタップしてから再度操作してください。	－
機内モードがONです。通話するには、機内モードをOFFにしてください。	ドコモminiUIMカードが正しく取り付けられていない、または機内モードを設定した状態で電話をかけようとしたときに表示されます。ドコモminiUIMカードが正しく取り付けられていることを確認するか、機内モードをOFFにしてから再度操作してください。	P.54 P.240
しばらくお待ちください。／しばらくお待ちください（パケット）。	通話・通信回線においてアクセスが集中しているため、通信規制がかかっているときに表示されます。規制が解除されてから再度操作してください。	－

※ XXXXには、エラーが発生したアプリケーションや機能の名称などが表示されます。

スマートフォンあんしん遠隔サポート

お客様の端末上の画面をドコモと共有することで、端末操作設定に関する操作サポートを受けることができます。

- ドコモminiUIMカード未挿入時、国際ローミング中、機内モードなどではご利用できません。
- スマートフォンあんしん遠隔サポートはお申し込みが必要な有料サービスです。
- 一部サポート対象外の操作・設定があります。
- スマートフォンあんしん遠隔サポートの詳細については、ドコモのホームページをご確認ください。

1 **スマートフォン遠隔サポートセンター**
0120-783-360
受付時間 午前9:00～午後8:00（年中無休）へ電話

2 **ホーム画面で → 「遠隔サポート」**
- 初めてご利用される際には、「ソフトウェア使用許諾書」に同意いただく必要があります。

3 **ドコモからご案内する接続番号を入力**

4 **接続後、遠隔サポートを開始**

保証とアフターサービス

保証について

- 本端末をお買い上げいただくと、保証書が付いていますので、必ずお受け取りください。記載内容および『販売店名・お買い上げ日』などの記載事項をお確かめの上、大切に保管してください。必要事項が記載されていない場合は、すぐにお買い上げいただいた販売店へお申し付けください。無料保証期間は、お買い上げ日より1年間です。
- この製品は付属品を含め、改良のため予告なく製品の全部または一部を変更することがありますので、あらかじめご了承ください。
- 本端末の故障・修理やその他お取り扱いによって電話帳などに登録された内容が変化・消失する場合があります。万が一に備え、電話帳などの内容はご自身で控えをお取りくださるようお願いします。

※ 本端末は、電話帳などのデータをmicroSDカードに保存していただくことができます。

※ 本端末はケータイデータお預かりサービス（お申し込みが必要なサービス）をご利用いただくことにより、電話帳などのデータをお預かりセンターにバックアップしていただくことができます。

アフターサービスについて

調子が悪い場合

修理を依頼される前に、本書の「故障かな？と思ったら」をご覧になってお調べください。
それでも調子がよくないときは、裏表紙の「故障お問い合わせ先」にご連絡の上、ご相談ください。

お問い合わせの結果、修理が必要な場合

ドコモ指定の故障取扱窓口にご持参いただきます。ただし、故障取扱窓口の営業時間内の受付となります。また、ご来店時には必ず保証書をご持参ください。なお、故障の状態によっては修理に日数がかかる場合がございますので、あらかじめご了承ください。

■ 保証期間内は

- 保証書の規定に基づき無料で修理を行います。
- 故障修理を実施の際は、必ず保証書をお持ちください。保証期間内であっても保証書の提示がないもの、お客様のお取り扱い不良（ディスプレイ・コネクタなどの破損）による故障・損傷などは有料修理となります。
- ドコモの指定以外の機器および消耗品の使用に起因する故障は、保証期間内であっても有料修理となります。

■ **以下の場合は、修理できないことがあります。**

- お預かり検査の結果、水濡れ、結露・汗などによる腐食が発見された場合や内部の基板が破損・変形していた場合（外部接続端子・ヘッドホン接続端子・ディスプレイなどの破損や筐体亀裂の場合においても修理ができない可能性があります）

※ 修理を実施できる場合でも保証対象外になりますので有料修理となります。

■ **保証期間が過ぎたときは**

ご要望により有料修理いたします。

■ **部品の保有期間は**

本端末の補修用性能部品（機能を維持するために必要な部品）の最低保有期間は、製造打ち切り後４年間を基本としております。
ただし、故障箇所によっては修理部品の不足などにより修理ができない場合もございますので、あらかじめご了承ください。また、保有期間が経過したあとも、故障箇所によっては修理可能なことがありますので、裏表紙の「故障お問い合わせ先」へお問い合わせください。

お願い

- 本端末および付属品の改造はおやめください。
  - 火災・けが・故障の原因となります。
  - 改造が施された機器などの故障修理は、改造部分を元の状態に戻すことをご了承いただいた上でお受けいたします。ただし、改造の内容によっては故障修理をお断りする場合があります。
    以下のような場合は改造とみなされる場合があります。
    - ディスプレイ部やキーにシールなどを貼る
    - 接着剤などにより本端末に装飾を施す
    - 外装などをドコモ純正品以外のものに交換するなど
  - 改造が原因による故障・損傷の場合は、保証期間内であっても有料修理となります。
- 本端末に貼付されている銘版シールは、はがさないでください。銘版シールには、技術基準を満たす証明書の役割があり、銘版シールが故意にはがされたり、貼り替えられた場合など、銘版シールの内容が確認できないときは、技術基準適合の判断ができないため、故障修理をお受けできない場合がありますので、ご注意願います。
- 各種機能の設定などの情報は、本端末の故障・修理やその他お取り扱いによってクリア（リセット）される場合があります。お手数をおかけしますが、この場合は再度設定を行ってくださるようお願いいたします。
- 修理を実施した場合には、故障箇所に関係なく、Wi-Fi用のMACアドレスおよびBluetoothアドレスが変更される場合があります。

- 本端末の下記の箇所に磁気を発生する部品を使用しています。
  キャッシュカードなど磁気の影響を受けやすいものを近づけますとカードが使えなくなることがありますので、ご注意ください。
  使用箇所：スピーカー、受話口、カメラ、バイブレータ部分（バックキー付近）、ヘッドホン接続端子付近
- 本端末が濡れたり湿気を帯びてしまった場合は、すぐに電源を切って電池パックを外し、お早めに故障取扱窓口へご来店ください。ただし、本端末の状態によって修理できないことがあります。

メモリダイヤル（電話帳機能）およびダウンロード情報などについて

本端末を機種変更や故障修理をする際に、お客様が作成されたデータまたは外部から取り込まれたデータあるいはダウンロードされたデータなどが変化・消失などする場合があります。これらについて当社は一切の責任を負いません。また、当社の都合によりお客様の端末を代替品と交換することにより修理に代えさせていただく場合がありますが、その際にはこれらのデータなどは一部を除き交換後の製品に移し替えることはできません。

ソフトウェア更新

ソフトウェア更新について

インターネット上のダウンロードサイトから本端末の修正用ファイルをダウンロードし、ソフトウェアの更新を行います。ソフトウェア更新には、本端末で直接ネットワークに接続して行う方法と、パソコンにインストールした「Samsung Kies」（P.307）を使って行う方法の2種類があります。

ソフトウェア更新についての注意事項

ソフトウェア更新は本端末に保存されているデータを残したまま行うことができますが、お客様の端末の状態（故障、破損、水濡れ）によってはデータの保護ができない場合がありますので、あらかじめご了承願います。万が一のトラブルに備え、本端末内のお客様情報やデータは、バックアップを取っていただくことをおすすめします。ただし一部バックアップが取れないデータがありますので、あらかじめご了承ください。

- ソフトウェア更新の前に以下の準備を行ってください。
  - 本端末で実行中のすべてのプログラムを終了する（P.119）
  - 本端末を充電（P.66）し、電池残量を十分な状態にする
- ソフトウェア更新中は電池パックを外さないでください。更新に失敗し、操作できなくなることがあります。

- 本端末で直接ネットワークに接続して更新を行う場合は、電波状態の良い所で、移動せずに実行することをおすすめします。電波状態が悪い場合には、ソフトウェア更新を中断することがあります。
- ソフトウェア更新（ダウンロード、更新ファイルのインストール）には時間がかかる場合があります。
- ソフトウェア更新ファイルのインストール中は、電話の発着信を含めすべての機能を利用できません。
- ソフトウェア更新に失敗するなどして一切の操作ができなくなった場合は、大変お手数ですがドコモ指定の故障取扱窓口までお越しいただきますようお願い申し上げます。

本端末だけで更新する

本端末でネットワークに接続して本端末のソフトウェアを更新できます。

1 **ホーム画面で [メニュー] →「本体設定」→「端末情報」→「ソフトウェア更新」**

2 **「更新」**

- 初めて起動したときは利用規約やプライバシー規約が表示されるので、内容をよく読み、「上記の規約条件全てに同意する」にチェックを付けて「確認」をタップします。
- Wi-Fi接続時のみファイルのダウンロードを許可する場合は、「Wi-Fiのみ」にチェックを付けます。

3 画面の指示に従って操作

- アップデートするファイルが正常にダウンロードされた後、アップデートするように操作を行うと、端末が再起動され、アップデートが開始されます。アップデート中には電話などの機能を使用できません。

お知らせ

- ソフトウェアをダウンロードしたあと、インストール続行の確認画面で「後で」をタップするとインストールの実行を一定時間延期できます。延期した場合でも、ホーム画面で [メニュー] →「本体設定」→「端末情報」→「ソフトウェア更新」→「更新」をタップするか、通知パネルの「ソフトウェア更新」をタップすると、インストールを実行できます。
- アップデートの内容によっては、利用できるネットワークが制限される場合があります。

主な仕様

■ 本体

品名		SC-03E
サイズ		高さ：約137mm、幅：約71mm、厚さ：約9.0mm（最厚部：約9.4mm）
質量		約139g（電池パック装着時）
メモリ		ROM 32GB RAM 2GB
連続待受時間	FOMA／3G	静止時（自動）：約490時間
	LTE	静止時（自動）：約430時間
	GSM	静止時（自動）：約420時間
連続通話時間	FOMA／3G	約560分
	GSM	約520分
充電時間	ACアダプタ03（別売）	約170分
	DCアダプタ03（別売）	約190分

画面部分	種類	有機EL （HD Super AMOLED）
	サイズ	約4.8 inch
	発色数	16,777,216色
	ドット数	横720ドット× 縦1280ドット
撮像素子	種類	外側：裏面照射型CMOS 内側：裏面照射型CMOS
	サイズ	外側：1/3.2 inch 内側：1/6.0 inch
カメラ有効画素数		外側：約810万画素 内側：約190万画素
記録画素数（最大時）		外側：約800万画素 内側：約190万画素
デジタルズーム		最大約4.0倍（30段階）
音楽再生	Windows Media Audio (WMA) ファイル	連続再生時間約1800分 （バックグラウンド再生対応）
	MP3ファイル	連続再生時間約1800分 （バックグラウンド再生対応）
ワンセグ連続視聴時間		約350分
無線LAN		IEEE802.11a/b/g/n準拠 (IEEE802.11n周波数帯： 2.4GHz ／ 5GHz)

Bluetooth機能	対応バージョン※1	Bluetooth標準規格 Ver. 4
	出力	Bluetooth標準規格 Power Class 1
	見通し通信距離※2	約10m以内
	対応プロファイル※3	Object Push Profile（OPP） Headset Profile（HSP） Hands-Free Profile（HFP） Advanced Audio Distribution Profile（A2DP） Audio/Video Remote Control Profile（AVRCP） Serial Port Profile（SPP） Phone Book Access Profile（PBAP） Human Interface Device Profile（HID） Personal Area Networking Porfile（PAN） SIM Access Profile（SAP） Find Me Profile（FMP） Proximity Profile（PXP）

※1 本端末およびすべてのBluetooth機能搭載機器は、BluetoothSIGが定めている方法でBluetooth標準規格に適合していることを確認しており、認証を取得しています。ただし、接続する機器の特性や仕様によっては、操作方法が異なったり、接続してもデータのやりとりができない場合があります。
※2 通信機器間の障害物や、電波状況により変化します。
※3 Bluetooth通信の接続手順を製品の特性ごとに標準化したものです。

- 連続通話時間とは、電波を正常に送受信できる状態で通話に使用できる時間の目安です。
- 連続待受時間とは、電波を正常に受信できる状態での目安です。

  なお、電池の充電状態、機能設定状況、気温などの使用環境、利用場所の電波状態（電波が届かないか弱い場所）などにより、待受時間は約半分程度になる場合があります。
- インターネット接続を行うと通話（通信）・待受時間は短くなります。また、通話やインターネット接続をしなくても電子メールを作成したり、アプリケーションを起動すると通話（通信）･待受時間は短くなります。
- 静止時の連続待受時間とは、電波を正常に受信できる静止状態での平均的な利用時間です。
- 充電時間は、本端末の電源を切って、電池パックが空の状態から充電したときの目安です。本端末の電源を入れて充電した場合、充電時間は長くなります。

■電池パック

品名	電池パックSC07
使用電池	リチウムイオン電池
公称電圧	3.8V
公称容量	2100mAh

ファイル形式

本端末で撮影した静止画と動画は以下のファイル形式で保存されます。

種類	ファイル形式	拡張子
静止画	JPEG	jpg
動画	MP4	mp4

静止画の撮影枚数（目安）

撮影サイズ	SC-03E（本体）※	microSDカード（1GB）
640x480	最大約260,000枚	最大約11,000枚

画質設定：標準で撮影した場合の目安です。
※ お買い上げ時の保存可能枚数です。

動画の撮影時間（目安）

撮影サイズ	SC-03E（本体）※	microSDカード（1GB）
640x480	最大約990分（1件あたり最大約60分）	最大約41分（1件あたり最大約41分）

動画の画質：標準で撮影した場合の目安です。
※ お買い上げ時の録画可能時間です。

携帯電話機の比吸収率（SAR）

この機種［SC-03E］の携帯電話機は、国が定めた電波の人体吸収に関する技術基準および電波防護の国際ガイドラインに適合しています。
この携帯電話機は、国が定めた電波の人体吸収に関する技術基準（※1）ならびに、これと同等な国際ガイドラインが推奨する電波防護の許容値を遵守するよう設計されています。この国際ガイドラインは世界保健機関（WHO）と協力関係にある国際非電離放射線防護委員会（ICNIRP）が定めたものであり、その許容値は使用者の年齢や健康状況に関係なく十分な安全率を含んでいます。
国の技術基準および国際ガイドラインは電波防護の許容値を人体頭部に吸収される電波の平均エネルギー量を表す比吸収率（SAR：Specific Absorption Rate）で定めており、携帯電話機に対するSARの許容値は2.0W/kgです。この携帯電話機の側頭部におけるSARの最大値は0.873W/kgです。個々の製品によってSARに多少の差異が生じることもありますが、いずれも許容値を満足しています。
携帯電話機は、携帯電話基地局との通信に必要な最低限の送信電力になるよう設計されているため、実際に通話している状態では、通常SARはより小さい値となります。一般的には、基地局からの距離が近いほど、携帯電話機の出力は小さくなります。
この携帯電話機は、側頭部以外の位置でも使用可能です。NTTドコモ推奨のキャリングケース等のアクセサリを用いて携帯電話機を身体に装着して使用することで、この携帯電話機は電波防護の国際ガイドラインを満足します（※2）。NTTドコモ推奨のキャリングケース等のアクセサリをご使用にならない場合には、身体から1.5センチ以上の距離に携帯電話機を固定でき、金属部分の含まれていない製品をご使用ください。

世界保健機関は、『携帯電話が潜在的な健康リスクをもたらすかどうかを評価するために、これまで20年以上にわたって多数の研究が行われてきました。今日まで、携帯電話使用によって生じるとされる、いかなる健康影響も確立されていません。』と表明しています。
さらに詳しい情報をお知りになりたい場合には世界保健機関のホームページをご参照ください。
http://www.who.int/docstore/peh-emf/publications/facts_press/fact_japanese.htm

SARについて、さらに詳しい情報をお知りになりたい方は、下記のホームページをご参照ください。

総務省のホームページ
http://www.tele.soumu.go.jp/j/sys/ele/index.htm

一般社団法人電波産業会のホームページ
http://www.arib-emf.org/index02.html

ドコモのホームページ
http://www.nttdocomo.co.jp/product/sar/

SAMSUNGのホームページ
http://www.samsung.com/sar/sarMain.do
→ Location欄で「JAPAN」→ Language欄で「Japanese」→ Phone Model欄で「SC-03E」→「Go」→ search resultsの欄のリンクをクリック

※1 技術基準については、電波法関連省令(無線設備規則第14条の2)で規定されています。
※2 携帯電話機本体を側頭部以外でご使用になる場合のSARの測定法については、平成22年3月に国際規格(IEC62209-2)が制定されました。国の技術基準については、平成23年10月に、諮問第118号に関して情報通信審議会情報通信技術分科会より一部答申されています。

FCC notice

- This device complies with part 15 of the FCC Rules. Operation is subject to the following two conditions:
  (1) This device may not cause harmful interference, and (2) this device must accept any interference received, including interference that may cause undesired operation.
- Changes or modifications not expressly approved by the manufacturer responsible for compliance could void the user's authority to operate the equipment.

■ Information to User

This equipment has been tested and found to comply with the limits of a Class B digital device, pursuant to Part 15 of the FCC Rules. These limits are designed to provide reasonable protection against harmful interference in a residential installation. This equipment generates, uses and can radiate radio frequency energy and, if not installed and used in accordance with the instructions, may cause harmful interference to radio communications.
However, there is no guarantee that interference will not occur in a particular installation; if this equipment does cause harmful interference to radio or television reception, which can be determined by turning the equipment off and on, the user is encouraged to try to correct the interference by one or more of the following measures:

1. Reorient/relocate the receiving antenna.
2. Increase the separation between the equipment and receiver.
3. Connect the equipment into an outlet on a circuit different from that to which the receiver is connected.
4. Consult the dealer or an experienced radio/TV technician for help.

FCC RF exposure information

Your handset is a radio transmitter and receiver. It is designed and manufactured not to exceed the emission limits for exposure to radio frequency (RF) energy set by the Federal Communications Commission of the U.S. Government.
The guidelines are based on standards that were developed by independent scientific organisations through periodic and thorough evaluation of scientific studies. The standards include a substantial safety margin designed to assure the safety of all persons, regardless of age and health.
The exposure standard for wireless handsets employs a unit of measurement known as the Specific Absorption Rate, or SAR. The SAR limit set by the FCC is 1.6 W/kg.
The tests are performed in positions and locations (e.g., at the ear and worn on the body) as required by the FCC for each model. The highest SAR value for this model handset when tested for use at the ear is 0.57 W/kg and when worn on the body, as described in this user guide, is 0.95 W/kg.

Body-worn operation

For body worn operation, this phone has been tested and meets the FCC RF exposure guidelines. Please use an accessory designated for this product or an accessory which contains no metal and which positions the handset a minimum of 1.5 cm from the body.
The use of accessories that do not satisfy these requirements may not comply with FCC RF exposure requirements, and should be avoided.
The FCC has granted an Equipment Authorization for this model handset with all reported SAR levels evaluated as in compliance with the FCC RF emission guidelines. SAR information on this model handset is on file with the FCC and can be found under the Display Grant section of http://transition.fcc.gov/oet/ea/fccid/ after searching on FCC ID A3LSWDSC03E.
Additional information on Specific Absorption Rates (SAR) can be found on the Cellular Telecommunications & Internet Association (CTIA) Website at http://www.ctia.org/.

European RF Exposure Information

Your mobile device is a radio transmitter and receiver. It is designed not to exceed the limits for exposure to radio waves recommended by international guidelines. These guidelines were developed by the independent scientific organization ICNIRP and include safety margins designed to assure the protection of all persons, regardless of age and health.
The guidelines use a unit of measurement known as the Specific Absorption Rate, or SAR. The SAR limit for mobile devices is 2 W/kg and the highest SAR value for this device when tested at the ear was 0.186 W/kg※.
As SAR is measured utilizing the devices highest transmitting power the actual SAR of this device while operating is typically below that indicated above. This is due to automatic changes to the power level of the device to ensure it only uses the minimum level required to reach the network.

Declaration of Conformity

Product details

For the following
Product : GSM WCDMA BT/WiFi Mobile Phone
Model(s) : SC-03E

CE0168ⓘ

Declaration & Applicable standards

We hereby declare, that the product above is in compliance with the essential requirements of the R&TTE Directive (1999/5/EC) by application of:

SAFETY	EN 60950-1 : 2006 + A12 : 2011
SAR	EN 50360 : 2001 / AC 2006 EN 62209 - 1 : 2006 EN 62209 - 2 : 2010 EN 62311 : 2008 EN 62479 : 2010
EMC	EN 301 489-01 V1.9.2 (09-2011) EN 301 489-07 V1.3.1 (11-2005) EN 301 489-17 V2.1.1 (05-2009) EN 301 489-24 V1.5.1 (10-2010)
RADIO	EN 301 511 V9.0.2 (03-2003) EN 301 908-1 V5.2.1 (05-2011) EN 301 908-2 V5.2.1 (07-2011) EN 300 328 V1.7.1 (10-2006) EN 301 893 V1.6.1 (11-2011)

and the Directive (2011/65/EU) on the restriction of the use of certain hazardous substances in electrical and electronic equipment.

The conformity assessment procedure referred to in Article 10 and detailed in Annex[IV] of Directive 1999/5/EC has been followed with the involvement of the following Notified Body(ies):

TÜV SÜD BABT, Forsyth House, Churchfield Road, Walton-on-Thames,
Surrey, KT12 2TD, UK ※
Identification mark: 0168

Representative in the EU

Samsung Electronics Euro QA Lab.
Blackbushe Business Park
Saxony Way, Yateley, Hampshire
GU46 6GG, UK

2012.10.26

(Place and date of issue)

Joong-Hoon Choi / Lab. Manager

(Name and signature of authorized person)

※ This is not the address of Samsung Service Centre. For the address or the phone number of Samsung Service Centre, see the warranty card or contact the retailer where you purchased your product.

輸出管理規制

本製品及び付属品は、日本輸出管理規制（「外国為替及び外国貿易法」及びその関連法令）の適用を受ける場合があります。また米国再輸出規制（Export Administration Regulations）の適用を受けます。本製品及び付属品を輸出及び再輸出する場合は、お客様の責任及び費用負担において必要となる手続きをお取りください。詳しい手続きについては経済産業省または米国商務省へお問合せください。

知的財産権

著作権について

音楽、映像、コンピュータ・プログラム、データベースなどは著作権法により、その著作物および著作権者の権利が保護されています。こうした著作物を複製することは、個人的にまたは家庭内で使用する目的でのみ行うことができます。上記の目的を超えて、権利者の了解なくこれを複製（データ形式の変換を含む）、改変、複製物の譲渡、ネットワーク上での配信などを行うと、「著作権侵害」「著作者人格権侵害」として損害賠償の請求や刑事処罰を受けることがあります。本製品を使用して複製などをなされる場合には、著作権法を遵守の上、適切なご使用を心がけていただきますよう、お願いいたします。また、本製品にはカメラ機能が搭載されていますが、本カメラ機能を使用して記録したものにつきましても、上記と同様の適切なご使用を心がけていただきますよう、お願いいたします。

肖像権について

他人から無断で写真を撮られたり、撮られた写真を無断で公表されたり、利用されたりすることがないように主張できる権利が肖像権です。肖像権には、誰にでも認められている人格権と、タレントなど経済的利益に着目した財産権（パブリシティ権）があります。したがって、勝手に他人やタレントの写真を撮り公開したり、配布したりすることは違法行為となりますので、適切なカメラ機能のご使用を心がけてください。

商標について

本書に記載している会社名、製品名は、各社の商標または登録商標です。

- 「Xi」「Xi ／クロッシィ」「FOMA」「ｉモード」「ｉチャネル」「ｉアプリ」「デコメール®」「ｉコンシェル」「マチキャラ」「声の宅配便」「WORLD CALL」「WORLD WING」「公共モード」「おまかせロック」「イマドコサーチ」「イマドコかんたんサーチ」「ケータイお探しサービス」「mopera」「mopera U」「エリアメール」「spモード」「あんしんスキャン」「eトリセツ」「おサイフケータイ」「iCお引っこしサービス」「トルカ」「ケータイデータお預かりサービス」「dマーケット」「dメニュー」「iD」「パケ・ホーダイ」「かざしてリンク」および「おサイフケータイ」ロゴ、「トルカ」ロゴ、「Xi」ロゴはNTTドコモの商標または登録商標です。
- microSDロゴ、microSDHCロゴ、microSDXCロゴはSD-3C, LLCの商標です。

- BluetoothおよびBluetoothロゴは、Bluetooth SIG. Inc.の登録商標であり、ライセンスを受けて使用しています。

Bluetooth®

- Wi-Fi Certified®とそのロゴは、Wi-Fi Allianceの登録商標または商標です。

- 「キャッチホン」は日本電信電話株式会社の登録商標です。
- 「Google」、「Google」ロゴ、「Android」、「Android」ロゴ、「Google Play」、「Google Play」ロゴ、「Gmail」、「Google Calendar」、「Google Maps」、「Google Talk」、「Google Latitude」、「Google＋」、「Picasa」および「YouTube」は、Google Inc.の商標または登録商標です。
- 日本語変換は、オムロンソフトウェア株式会社のiWnnを使用しています。iWnn© OMRON SOFTWARE Co., Ltd. 2008-2012 All Rights Reserved.
- Microsoft®、Windows Media®、ActiveSync®は、米国Microsoft Corporationの、米国またはその他の国における商標または登録商標です。
- 本製品のソフトウェアの一部分に、Independent JPEG Groupが開発したモジュールが含まれています。
- JavaおよびすべてのJava関連の商標およびロゴは、米国およびその他の国における米国Sun Microsystems, Inc.の商標または登録商標です。
- はフェリカネットワークス株式会社の登録商標です。
- FeliCaは、ソニー株式会社が開発した非接触ICカードの技術方式です。
- FeliCaは、ソニー株式会社の登録商標です。

- DivX®、DivX Certified®およびこれらの関連ロゴは、Rovi Corporationおよびその子会社の登録商標であり、ライセンス許諾に基づき使用しています。

DIVXビデオについて: DivX®は、Rovi Corporationの子会社であるDivX, LLC.が開発したデジタルビデオフォーマットです。本製品は、DivXビデオの再生に対応した正規のDivX Certified®（DivX認証）デバイスです。詳細情報およびビデオファイルをDivX形式に変換するためのソフトウェアについては、divx.comをご覧ください。

DIVXビデオオンデマンドについて:DivXビデオオンデマンド（VOD）コンテンツを再生するには、このDivX Certified®（DivX認証）デバイスを登録する必要があります。登録コードは、デバイスセットアップメニューのDivX VODセクションで確認できます。詳細情報と登録方法については、vod.divx.comをご覧ください。

プレミアムコンテンツを含む最高HD 720pのDivX®ビデオ再生対応のDivX Certified®（DivX認証）取得済み。最高HD 1080pのDivX®ビデオも再生できる場合があります。

- ロヴィ、Rovi、Gガイド、G-GUIDE、Gガイドモバイル、G-GUIDE MOBILE、およびGガイド関連ロゴは、米国Rovi Corporationおよび／またはその関連会社の日本国内における商標または登録商標です。

- 「Facebook」は、Facebook,Incの商標または登録商標です。
- DLNA、DLNA CERTIFIEDは、Digital Living Network Allianceの商標です。

- その他本文中に記載されている会社名および商品名は、各社の商標または登録商標です。

その他

- 本書では各OS（日本語版）を次のように略して表記しています。
  - Windows 7は、Microsoft® Windows® 7(Starter、Home Basic、Home Premium、Professional、Enterprise、Ultimate)の略です。
  - Windows Vistaは、Windows Vista®（Home Basic、Home Premium、Business、Enterprise、Ultimate）の略です。
  - Windows XPは、Microsoft® Windows® XP Professional operating systemまたはMicrosoft® Windows® XP Home Edition operating systemの略です。
- 本製品は、MPEG-4 Visual Patent Portfolio Licenseに基づきライセンスされており、お客様が個人的かつ非営利目的において以下に記載する場合においてのみ使用することが認められています。
  - MPEG-4 Visualの規格に準拠する動画（以下、MPEG-4 Video）を記録する場合
  - 個人的かつ非営利的活動に従事する消費者によって記録されたMPEG-4 Videoを再生する場合
  - MPEG-LAよりライセンスを受けた提供者により提供されたMPEG-4 Videoを再生する場合

  プロモーション、社内用、営利目的などその他の用途に使用する場合には、米国法人MPEG LA. LLCにお問い合わせください。

SIMロック解除

本端末はSIMロック解除に対応しています。SIMロックを解除すると他社のSIMカードを使用することができます。

- SIMロック解除は、ドコモショップで受付をしております。
- 別途SIMロック解除手数料がかかります。
- 他社のSIMカードをご使用になる場合、LTE方式では、ご利用いただけません。また、ご利用になれるサービス、機能などが制限されます。当社では、一切の動作保証はいたしませんので、あらかじめご了承ください。
- SIMロック解除に関する詳細については、ドコモのホームページをご確認ください。

索引

あ

か

さ

た

な

は

ま

や

ら

わ

英数字

ご契約内容の確認・変更、各種サービスのお申込、各種資料請求をオンライン上で承っております。
spモードから　dメニュー→「お客様サポートへ」→「各種お申込・お手続き」〔パケット通信料無料〕
パソコンから　My docomo（http://www.mydocomo.com/）⇒ 各種お申込・お手続き
※ spモードからご利用になる場合、「ネットワーク暗証番号」が必要となります。
※ spモードからご利用になる際は、一部有料となる場合があります。
※ パソコンからご利用になる場合は、「docomo ID ／パスワード」が必要となります。
※「ネットワーク暗証番号」および「docomo ID ／パスワード」をお持ちでない方・お忘れの方は裏表紙の「総合お問い合わせ先」にご相談ください。
※ ご契約内容によってはご利用になれない場合があります。
※ システムメンテナンスなどにより、ご利用になれない場合があります。

マナーもいっしょに携帯しましょう

こんな場合は必ず電源を切りましょう

■ 使用禁止の場所にいる場合

航空機内、病院内では、必ず本端末の電源を切ってください。
※ 医用電気機器を使用している方がいるのは病棟内だけではありません。ロビーや待合室などでも、必ず電源を切ってください。

■ 満員電車の中など、植込み型心臓ペースメーカおよび植込み型除細動器を装着した方が近くにいる可能性がある場合

植込み型心臓ペースメーカおよび植込み型除細動器に悪影響を与える恐れがあります。

こんな場合は公共モードに設定しましょう

■ 運転中の場合

運転中の携帯電話を手で保持しての使用は罰則の対象となります。
ただし、傷病者の救護または公共の安全の維持など、やむを得ない場合を除きます。

■ 劇場・映画館・美術館など公共の場所にいる場合

静かにするべき公共の場所で本端末を使用すると、周囲の方への迷惑になります。

使用する場所や声・着信音の大きさに注意しましょう

■ レストランやホテルのロビーなどの静かな場所で本端末を使用する場合は、声の大きさなどに気をつけましょう。

■ 街の中では、通行の妨げにならない場所で使用しましょう。

プライバシーに配慮しましょう

カメラ付き携帯電話を利用して撮影や画像送信を行う際は、プライバシーなどにご配慮ください。

こんな機能が公共のマナーを守ります

かかってきた電話に応答しない設定や、本端末から鳴る音を消す設定など、便利な機能があります。

■ 公共モード（電源OFF）（P.168）
電話をかけてきた相手に、電源を切る必要がある場所にいる旨のガイダンスが流れ、自動的に電話を終了します。

■ バイブ（P.256）
電話がかかってきたことを、振動でお知らせします。

■ マナーモード（サイレント、バイブ）（P.254）
キー確認音・着信音など本端末から鳴る音を消します。
※ ただし、シャッター音は消せません。

そのほかにも、留守番電話サービス（P.167）、転送でんわサービス(P.167)などのオプションサービスが利用できます。

ご不要になった携帯電話などは、自社・他社製品を問わず回収をしていますので、お近くのドコモショップへお持ちください。
※ 回収対象：携帯電話、PHS、電池パック、充電器、卓上ホルダ（自社・他社製品を問わず回収）

海外での紛失、盗難、精算などについて〈ドコモ インフォメーションセンター〉(24時間受付)

ドコモの携帯電話からの場合

滞在国の国際電話アクセス番号 **-81-3-6832-6600*(無料)**

*一般電話などでかけた場合には、日本向け通話料がかかります。
※ SC-03Eからご利用の場合は、+81-3-6832-6600でつながります。(「+」は「0」をロングタッチします。)

一般電話などからの場合〈ユニバーサルナンバー〉

ユニバーサルナンバー用国際識別番号 **-8000120-0151***

*滞在国内通話料などがかかる場合があります。
※ 主要国の国際電話アクセス番号/ユニバーサルナンバー用国際識別番号については、ドコモの「国際サービスホームページ」をご覧ください。

- **紛失・盗難などにあわれたら、速やかに利用中断手続きをお取りください。**

海外での故障について〈ネットワークオペレーションセンター〉(24時間受付)

ドコモの携帯電話からの場合

滞在国の国際電話アクセス番号 **-81-3-6718-1414*(無料)**

*一般電話などでかけた場合には、日本向け通話料がかかります。
※ SC-03Eからご利用の場合は、+81-3-6718-1414でつながります。(「+」は「0」をロングタッチします。)

一般電話などからの場合〈ユニバーサルナンバー〉

ユニバーサルナンバー用国際識別番号 **-8005931-8600***

*滞在国内通話料などがかかる場合があります。
※ 主要国の国際電話アクセス番号/ユニバーサルナンバー用国際識別番号については、ドコモの「国際サービスホームページ」をご覧ください。

- **お客様が購入された端末に故障が発生した場合は、ご帰国後にドコモ指定の故障取扱窓口へご持参ください。**

総合お問い合わせ先
〈ドコモ インフォメーションセンター〉

■ドコモの携帯電話からの場合
（局番なしの）**151**（無料）
※一般電話などからはご利用になれません。

■一般電話などからの場合
0120-800-000
※一部のIP電話からは接続できない場合があります。

受付時間　午前9:00 ～ 午後8:00（年中無休）

故障お問い合わせ先

■ドコモの携帯電話からの場合
（局番なしの）**113**（無料）
※一般電話などからはご利用になれません。

■一般電話などからの場合
0120-800-000
※一部のIP電話からは接続できない場合があります。

受付時間　24時間（年中無休）

●番号をよくご確認の上、お間違いのないようにおかけください。
●各種手続き、故障・アフターサービスについては、上記お問い合わせ先にご連絡いただくか、ドコモホームページにてお近くのドコモショップなどにお問い合わせください。

ドコモホームページ　http://www.nttdocomo.co.jp/

試供品のお問い合わせ先

■サムスン電子ジャパン株式会社
072-830-6075
受付時間 午前9:00～午後5:00（土曜日・日曜日・年末・年始・祝祭日を除く）
●番号をよくご確認の上、お間違いのないようにおかけください。
●試供品については、本書内でご確認ください。

マナーもいっしょに携帯しましょう。
○公共の場所で携帯電話をご利用の際は、周囲の方への心くばりを忘れずに。

販売元　株式会社NTTドコモ
製造元　Samsung Electronics Co.,Ltd.

’12.11（1版）